

インフルエンザワクチンの 副反応報告状況について

副反応報告数

（平成27年10月1日から平成28年4月30日報告分まで：報告日での集計）

（単位：例（人））

接種日	製造販売業者からの報告		医療機関からの報告		
	報告数		報告数	うち重篤	
		うち死亡数			うち死亡数
10/1-10/31	25	0	73	23	0
11/1-11/30	47	2	163	57	4
12/1-12/31	9	0	44	18	0
1/1-1/31	0	0	4	2	0
2/1-2/29	1	0	2	0	0
3/1-3/31	0	0	0	0	0
4/1-4/30	0	0	0	0	0
不明	13	1	2	0	0
合計	95	3	288	100	4
報告頻度	0.0002%	0.000006%	0.0006%	0.0002%	0.00001%

（注意点）

※ 副反応報告については、医薬品との因果関係が不明なものを含め、製造販売業者又は医療機関から報告されたものであり、個別に医薬品との関連性を評価したものではない。

※ 報告頻度（％）は、平成27年10月1日～平成28年4月30日までの期間において、医療機関へのワクチン納入数量から算出した推定接種可能人数（回分）51442374人を基に算出した（平成28年4月30日現在）。

※ 接種との因果関係の有無に関わらず、「接種後の死亡、臨床症状の重篤なもの、後遺症を残す可能性のあるもの」に該当すると判断されるものを報告対象としている。

※ 重篤とは、死亡、障害、それらに繋がるおそれのあるもの、入院相当以上のものをいうが、必ずしも重篤でないものも「重篤」として報告されるケースがある。

※ 非重篤症例には、重篤度が不明の症例も含まれている。

※ 製造販売業者からの副反応報告は、医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律第68条の10に基づき「重篤」と判断された症例について報告されたものである。なお、製造販売業者からの報告には、医療機関から報告された症例と重複している症例が含まれている可能性があり、重複症例は、医療機関報告として計上している。また、その後の調査等によって、報告対象でないことが確認され、報告が取り下げられた症例が含まれる可能性がある。

1.医療機関からの副反応報告のうち、関連性についての内訳

①医療機関から「関連有り」として報告されたもの

(単位:例(人))

接種日	報告数	うち重篤	
			うち死亡数
10/1-10/31	45	12	0
11/1-11/30	101	38	1
12/1-12/31	29	13	0
1/1-1/31	1	0	0
2/1-2/29	2	0	0
3/1-3/31	0	0	0
4/1-4/30	0	0	0
不明	0	0	0
合計	178	63	1
報告頻度	0.0003%	0.0001%	0.000002%

②医療機関から「関連無し」、「評価不能」として報告されたもの(記載なしを含む)

(単位:例(人))

接種日	報告数	うち重篤	
			うち死亡数
10/1-10/31	28	11	0
11/1-11/30	62	19	3
12/1-12/31	15	5	0
1/1-1/31	3	2	0
2/1-2/29	0	0	0
3/1-3/31	0	0	0
4/1-4/30	0	0	0
不明	2	0	0
合計	110	37	3
報告頻度	0.0002%	0.00007%	0.000006%

2.性別内訳

性別	製造販売業者からの報告数		医療機関からの報告数	
男	46	48.4%	134	46.4%
女	46	48.4%	154	53.3%
不明	3	3.2%	0	0%

3.年齢別内訳

年齢	製造販売業者からの報告		医療機関からの報告		
	報告数		報告数	うち重篤	
		うち死亡数			うち死亡数
0～9歳	30	0	87	33	1
10歳～19歳	7	0	22	9	0
20歳～29歳	6	0	22	2	0
30歳～39歳	5	0	31	10	0
40歳～49歳	5	0	29	7	0
50歳～59歳	6	0	15	5	0
60歳～69歳	10	0	22	6	1
70歳～79歳	6	0	39	16	0
80歳以上	15	3	21	12	2
不明	5	0	0	0	0
合計	95	3	288	100	4

(参考)

インフルエンザワクチンの実績

シーズン	推定接種者数	製造販売業者からの報告		医療機関からの報告		
		報告数		報告数	うち重篤	
			うち死亡数			うち死亡数
2014/2015 (平成27年11月27日調査 会資料より)	5238万人	63 (0.0001%)	5 (0.00001%)	244 (0.0005%)	99 (0.0002%)	11 (0.00002%)
2013/2014 (平成26年10月29日調査 会資料より)	5173万人	63 (0.0001%)	2 (0.000004%)	269 (0.0005%)	84 (0.0002%)	9 (0.00002%)

昨シーズンのインフルエンザワクチンの副反応の報告状況との比較

昨シーズンのインフルエンザワクチン及び今シーズンのインフルエンザワクチンの報告数及び症状種類別報告件数は以下のとおり。
医療機関からの報告については、報告医が「重篤」としたものを集計した。

	2014-2015シーズン※			2015-2016シーズン※※		
	3価インフルエンザワクチン			4価インフルエンザワクチン		
	製造販売業者 からの報告	医療機関からの 報告	企業報告と医療機関 重篤症例の総計数	製造販売業者 からの報告	医療機関からの 報告	企業報告と医療機関 重篤症例の総計数
報告数	63	99	162	95	100	195 (うち効能・効果に関連 する事象(インフルエン ザ発症等)1)
症状別総件数	103	145	248	166	178	344
推定接種可能人数(回分)	5238万人			5144万人		
症状名の種類	症状の種類別件数					
胃腸障害						
悪心	1		1	2	2	4
下痢	1		1	1		1
* 口内炎					1	1
* 歯痛				1		1
* 耳下腺腫大	1		1			
腹痛		1	1	2	1	3
嘔気		1	1			
嘔吐	2	1	3	3	3	6
一般・全身障害および投与部位の状態						
* インフルエンザ様疾患	1		1	1		1
* ワクチン接種部位運動障害					1	1
ワクチン接種部位腫脹					1	1
局所腫脹		1	1			
注射部位腫脹	9	6	15	9	10	19
ワクチン接種部位知覚異常					1	1
悪寒		1	1			
* 異常感				1	1	2
* 活動性低下				1		1
* 顔面浮腫					1	1
* 気腫	1		1			
倦怠感	1	1	2	4	1	5
高熱		3	3			
* 死亡	1	2	3	2	1	3
腫脹				1		1
注射部位そう痒感	1	1	2	1	1	2
* 注射部位びらん				1	1	2
注射部位硬結				1	1	2
注射部位紅斑		2	2	5	7	12
注射部位小水疱					1	1
注射部位知覚低下					1	1
注射部位熱感				2		2
注射部位疼痛		1	1	5	3	8
* 突然死	1	1	2			
捻髪音		1	1			
発熱	9	6	15	21	18	39
* 歩行障害				2	1	3
* 歩行不能		1	1			
* 末梢腫脹				1	1	2
* 末梢性浮腫		1	1	1		1
無力症	1		1	1		1
疼痛	2		2		3	3
感染症および寄生虫症						
* 肝膿瘍	1		1			
* 髄膜炎	1		1			
脊髄炎				1	2	3
脳炎		5	5	1		1
* 敗血症	1		1	1		1
* 肺炎	2	2	4	2	2	4
* 鼻咽頭炎		1	1			
蜂巣炎	3	7	10	1	7	8
* 無菌性髄膜炎				1	1	2
肝胆道系障害						
肝機能異常		1	1	2	2	4
肝障害		1	1	1	1	2
* 劇症肝炎	1	1	2			
薬物性肝障害		1	1			
眼障害						
ぶどう膜炎	1		1		1	1
* 眼充血					1	1
* 視力低下				1	1	2
* 複視	1		1			
* 霧視					1	1
筋骨格系および結合組織障害						
* 横紋筋融解症	1	1	2			
顎関節症候群				1		1
* 関節炎	1	1	2		1	1
* 関節可動域低下		1	1			
関節痛				3		3

* 筋骨格硬直	1	2	3			
* 筋骨格障害					1	1
筋骨格痛				1		1
筋肉痛				1		1
筋力低下		1	1		2	2
* 頰部痛				2		2
* 四肢痛	1	1	2			
* 線維筋痛				1		1
* 背部痛	2		2	1		1
血液およびリンパ系障害						
* リンパ節症				1	1	2
血小板減少性紫斑病		2	2		1	1
* 免疫性血小板減少性紫斑病	3	1	4		1	1
血管障害						
ショック	1		1	1	2	3
血管炎				1	1	2
* 鎖骨下静脈血栓症				1		1
* 川崎病		2	2	1		1
* 低血圧					3	3
* 貪食細胞性組織球症		1	1			
呼吸器、胸郭および縦隔障害						
咽頭紅斑					1	1
* 過換気				1		1
咳嗽		1	1	3		3
間質性肺疾患	1	5	6	2	3	5
* 急性呼吸不全		2	2		1	1
* 胸水		1	1		1	1
呼吸困難	1		1	1		1
呼吸不全		1	1	1		1
* 口腔咽頭痛				1	1	2
喉頭浮腫					1	1
湿性咳嗽	1		1			
* 肺障害				1		1
* 鼻漏	1		1			
喘息					3	3
喘鳴	1	3	4	1		1
耳および迷路障害						
* 耳鳴				1		1
社会環境						
* 寝たきり		1	1			
傷害、中毒および処置合併症						
* 転倒		1	1			
心臓障害						
* チアノーゼ				1		1
* 心肺停止		1	1		1	1
* 心不全		1	1			
* 頻脈				1		1
神経系障害						
ギラン・バレー症候群	3	6	9	2	3	5
* くも膜下出血					1	1
* てんかん		3	3			
意識レベルの低下					1	1
意識消失					1	1
意識変容状態		1	1	1	1	2
横断性脊髄炎		1	1			
感覚障害					2	2
感覚鈍麻				2	3	5
顔面麻痺				3	4	7
急性散在性脳脊髄炎	3	4	7		3	3
視神経炎				1		1
自己免疫性脳炎				1		1
失神					1	1
失神寸前の状態		3	3	2		2
尺骨神経麻痺				1		1
* 神経痛性筋萎縮症	1	1	2			
単麻痺		1	1	1		1
頭痛				2	1	3
* 認知症	1		1			
熱性痙攣		2	2	1	2	3
* 脳梗塞				1		1
脳症		3	3	1		1
浮動性めまい	2		2	2	1	3
麻痺				1		1
末梢性ニューロパチー		1	1		4	4
* 味覚異常	1		1			
* 無嗅覚		1	1			
痙攣発作	1	3	4	2	3	5
腎および尿路障害						
ネフローゼ症候群	3	2	5	1	2	3
* 血尿		1	1			
* 腎機能障害		1	1			
* 腎症					1	1
* 蛋白尿		1	1			
精神障害						
* 摂食障害					1	1
先天性、家族性および遺伝性障害						
* 脊髄小脳失調症					1	1
代謝および栄養障害						
食欲減退	1		1	5	1	6
* 脱水				1		1
* 低血糖				1		1
* 糖尿病性ケトアシドーシス	1		1			
内分泌障害						
* 甲状腺機能亢進症					1	1
皮膚および皮下組織障害						
スティーブンス・ジョンソン症候群		1	1	1		1
皮膚粘膜眼症候群		1	1		1	1

	そう痒性皮疹					1	1
*	ヘノッホ・シエンライン紫斑病	2		2	3	2	5
	過敏性血管炎	1		1		1	1
*	急性汎発性発疹性膿疱症	1		1			
	血管浮腫		1	1			
	紅斑				2	1	3
	湿疹	1	2	3			
	全身紅斑	1		1			
	全身性皮疹	1	1	2		1	1
	多形紅斑				4		4
	中毒性皮疹		1	1		4	4
	発疹	1	3	4	1	4	5
	薬疹	4	2	6			
	蕁麻疹	2	1	3	3	1	4
免疫系障害							
	アナフィラキシーショック	4	1	5	3	2	5
	アナフィラキシー反応	2	11	13	5	12	17
	アレルギー性肉芽腫性血管炎		1	1	1	1	2
	過敏症		2	2			
	薬物過敏症					1	1
臨床検査							
*	C-反応性蛋白増加		1	1			
*	トロポニンT増加	1		1			
*	プロカルシトニン増加	1		1			
*	プロトロンビン時間比増加					1	1
*	血圧低下					1	1
	血小板数減少	4	1	5			
*	酸素飽和度低下				1		1
*	体重減少	1		1			
*	白血球数減少	1		1	1		1

※平成26年10月1日から平成27年6月30日報告分まで(平成27年11月27日調査会資料より)

※※平成27年10月1日から平成28年4月30日報告分まで

*:未知の副反応

★効能・効果に関連する事象(インフルエンザ発症等)

医療機関報告、製造販売業者報告間の重複症例は、医療機関報告として計上している。

昨シーズンのインフルエンザワクチンの副反応報告状況との比較

予防接種後副反応報告書の別紙様式1の報告基準に記載のある症状(「その他の反応」は除く)について、副反応報告状況をもとに集計を行った。

	2014-2015シーズン※※			2015-2016シーズン※※		
	3価インフルエンザワクチン			4価インフルエンザワクチン		
	製造販売業者からの報告	医療機関からの報告	企業報告と医療機関重篤症例の総計数	製造販売業者からの報告	医療機関からの報告	企業報告と医療機関重篤症例の総計数
アナフィラキシー*1	6	12	18	8	14	22
急性散在性脳脊髄炎(ADEM)*2	3	4	7		3	3
脳炎・脳症*3		8	8	3		3
けいれん*4	1	5	6	3	5	8
ギラン・バレー症候群*5	3	6	9	2	3	5
血小板減少性紫斑病*6	3	3	6		2	2
血管炎*7	3	1	4	5	5	10
肝機能障害*8	1	4	5	3	3	6
ネフローゼ症候群*9	3	2	5	1	2	3
喘息発作*10					3	3
間質性肺炎*11	1	5	6	2	3	5
皮膚粘膜眼症候群*12		2	2	1	1	2

※平成26年10月1日から平成27年6月30日報告分まで(平成27年11月27日調査会資料より)

※※平成27年10月1日から平成28年4月30日報告分まで

- *1 アナフィラキシーショック、アナフィラキシー反応
- *2 急性散在性脳脊髄炎
- *3 脳炎、自己免疫性脳炎、脳症
- *4 熱性痙攣、痙攣発作
- *5 ギラン・バレー症候群
- *6 血小板減少性紫斑病、免疫性血小板減少性紫斑病
- *7 血管炎、ヘノッホ・シェーンライン紫斑病、過敏性血管炎、アレルギー性肉芽腫性血管炎
- *8 肝機能異常、肝障害、劇症肝炎、薬物性肝障害
- *9 ネフローゼ症候群
- *10 喘息
- *11 間質性肺疾患
- *12 スティーブンス・ジョンソン症候群、皮膚粘膜眼症候群

インフルエンザワクチン 重篤症例一覧
(平成27年10月1日から平成28年4月30日までの報告分)

製造販売業者からの報告

No	年齢	性別	接種日	ワクチン名/ロット番号	同時接種	同時接種ワクチン/ ロット番号	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生 までの日数	重篤度	転帰日	転帰内容
1	71	男	平成27年10月9日	ビケンHA(HA149C)	なし		成人発症スチル病	インフルエンザ様疾患、脱水	平成27年10月10日	1	重篤	平成27年10月16日	回復
2	83	男	平成27年10月13日	ビケンHA(HA151B)	なし		慢性腎臓病、高血圧、良性前立腺肥大症、高尿酸血症	スティーブンス・ジョンソン症候群	平成27年10月14日	1	重篤	平成27年12月2日	軽快
3	90	女	平成27年10月15日	フルービックHAシリンジ(HK24B)	あり	ニューモバックスNP(9MR06R)	骨粗鬆症、高血圧、緊張性膀胱、狭心症、アレルギー性鼻炎、胃食道逆流性疾患	発熱	平成27年10月16日	1	重篤	平成27年10月20日	軽快
4	90	女	平成27年10月15日	ニューモバックスNP(9MR06R)	あり	フルービックHAシリンジ(HK24B)	骨粗鬆症、高血圧、緊張性膀胱、狭心症、アレルギー性鼻炎	発熱、注射部位紅斑、注射部位腫脹、倦怠感、注射部位熱感、食欲減退	平成27年10月16日	1	重篤	平成27年10月20日	軽快
5	82	男	平成27年10月15日	ビケンHA(HA149E)	なし		甲状腺機能亢進症、2型糖尿病、バセドウ病、褥瘡性潰瘍	蜂巣炎	平成27年10月21日	6	重篤	平成28年1月5日	回復
6	46	女	平成27年10月16日	ビケンHA(HA149B)	なし		食物アレルギー	線維筋痛	平成27年10月16日	0	重篤	不明	未回復 (報告日：平成27年12月14日)
7	66	女	平成27年10月19日	インフルエンザHAワクチン*デンカ生研(536-A)	なし		頭蓋内動脈瘤	視神経炎	平成27年10月22日	3	重篤	平成27年11月19日	軽快
8	47	女	平成27年10月20日	インフルエンザHAワクチン*デンカ生研(539-B)	なし		なし	リンパ節症、末梢性浮腫	平成27年10月24日	4	重篤	平成27年10月30日	軽快
9	84	女	平成27年10月20日	ビケンHA(HA152A)	なし		胃潰瘍、B型肝炎、白内障、喘息	倦怠感、注射部位硬結、注射部位腫脹、注射部位疼痛	平成27年11月	-	重篤	平成27年12月1日	回復
10	2	男	平成27年10月20日	ビケンHA(HA149C)	あり	乾燥弱毒生水痘ワクチン(岡株)*阪大微研(VZ154)	喘息	アナフィラキシー反応	平成27年10月20日	0	重篤	平成27年10月20日	回復
11	9	女	平成27年10月21日	ビケンHA	なし		なし	多形紅斑	平成27年10月24日	3	重篤	平成27年11月10日	軽快
12	1	男	平成27年10月24日	ビケンHA(HA153B)	なし		熱性痙攣	熱性痙攣	平成27年10月24日	0	重篤	平成27年10月24日	回復
13	7	男	平成27年10月24日	インフルエンザHAワクチン*デンカ生研(541-A)	なし		なし	注射部位腫脹、注射部位紅斑、注射部位熱感、注射部位疼痛	平成27年10月24日	0	重篤	平成27年10月30日	回復
14	46	女	平成27年10月26日	ビケンHA(HA150A)	なし		高コレステロール血症、浮動性めまい、耳鳴	異常感、耳鳴、浮動性めまい、発熱	平成27年10月26日	0	重篤	平成27年10月27日	軽快
15	2	男	平成27年10月26日	インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」シリンジ(FM038D)	なし		なし	ショック	平成27年10月26日	0	重篤	平成27年10月26日	回復
16	17	女	平成27年10月26日	ビケンHA(HA153B)	なし		アレルギー性結膜炎	発熱、倦怠感、頭痛、感覚鈍麻、嘔吐	平成27年10月26日	0	重篤	平成27年11月18日	未回復 (報告日：平成28年1月8日)
17	89	女	平成27年10月26日	フルービックHAシリンジ(HK25B)	なし		塞栓性脳卒中、認知症、大腿骨骨折、胃食道逆流性疾患	顔面麻痺	平成27年11月7日	12	重篤	平成27年11月25日	回復
18	2	男	平成27年10月27日	インフルエンザHAワクチン*デンカ生研(540-A)	なし		なし	注射部位腫脹、腫脹、紅斑、発熱	平成27年10月28日	1	重篤	平成27年11月10日	回復

No	年齢	性別	接種日	ワクチン名/ロット番号	同時接種	同時接種ワクチン/ ロット番号	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生 までの日数	重篤度	転帰日	転帰内容
19	18	男	平成27年10月28日	インフルエンザHAワクチン＊デンカ生研(534-B)	なし		なし	過換気	平成27年10月28日	0	重篤	平成27年10月28日	回復
20	4	女	平成27年10月28日	ジェービックV	あり	インフルエンザHAワクチン＊デンカ生研	なし	ヘノッホ・シェーンライン紫斑病、末梢腫脹、腹痛	平成27年	-	重篤	不明	軽快
21	18	女	平成27年10月29日	ビケンHA(HA154C)	なし		なし	無力症、背部痛、紅斑	平成27年10月29日	0	重篤	不明	未回復 (報告日：平成27年12月17日)
22	3	男	平成27年10月29日	ビケンHA	なし		21トリソミー、心室中隔欠損症、甲状腺機能低下症、感音性難聴、合指症、肺動脈絞扼術	活動性低下、低血糖、嘔吐、食欲減退	平成27年10月31日	2	重篤	平成27年11月	回復
23	30	女	平成27年10月31日	ビケンHA(HA152E)	なし		なし	肺炎	平成27年10月31日	0	重篤	平成27年11月21日	回復
24	11	男	平成27年10月31日	インフルエンザHAワクチン＊デンカ生研(540-A)	なし		喘息、アレルギー性鼻炎	アナフィラキシーショック	平成27年10月31日	0	重篤	不明	回復
25	3	男	平成27年10月31日	インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」シリンジ(FM040B)	なし		なし	アナフィラキシー反応	平成27年10月31日	0	重篤	平成27年10月31日	回復
26	62	女	平成27年11月1日	インフルエンザHAワクチン＊デンカ生研	なし		なし	蕁麻疹	平成27年11月2日	1	重篤	不明	不明
27	20代	男	平成27年11月2日	インフルエンザHAワクチン＊デンカ生研	なし		先天性心臓疾患	視力低下、感覚鈍麻、発熱	平成27年11月2日	0	重篤	平成27年11月9日	未回復 (報告日：平成27年12月8日)
28	2	女	平成27年11月2日	インフルエンザHAワクチン＊デンカ生研(542-B)	なし		エプスタイン・バーウイルス感染、喘息	多形紅斑	平成27年11月4日	2	重篤	平成27年11月13日	軽快
29	63	男	平成27年11月2日	インフルエンザHAワクチン＊化血研(391A)	なし		なし	鎖骨下静脈血栓症	平成27年11月8日	6	重篤	不明	軽快
30	47	女	平成27年11月2日	ビケンHA(HA149C)	なし		喘息、動脈閉塞性疾患	間質性肺疾患	平成27年11月13日	11	重篤	平成27年12月15日	回復
31	57	女	平成27年11月4日	インフルエンザHAワクチン＊化血研(385B)	なし		なし	関節痛、顎関節症候群、歯痛	平成27年11月6日	2	重篤	平成27年11月24日	回復
32	20	男	平成27年11月4日	ビケンHA(HA150E)	なし		なし	ヘノッホ・シェーンライン紫斑病	平成27年11月5日	1	重篤	不明	不明
33	81	男	平成27年11月4日	ビケンHA	なし		なし	発熱	平成27年11月5日	1	重篤	不明	不明
34	高齢者	女	平成27年11月4日	フルービックHA	なし		乳癌、アルツハイマー型認知症、心房細動、高血圧	痙攣発作	平成27年11月7日	3	重篤	平成27年11月8日	回復
35	3	女	平成27年11月6日	ビケンHA(HA149D)	なし		発育遅延、先天性難聴、食物アレルギー	呼吸不全、痙攣発作	平成27年11月6日	0	重篤	平成27年11月9日	軽快
36	83	女	平成27年11月6日	インフルエンザHAワクチン＊化血研(389A)	なし		高血圧、肝硬変、肝細胞癌	発熱、関節痛	平成27年11月8日	2	重篤	平成27年12月12日	未回復 (報告日：平成28年1月7日)
37	26	女	平成27年11月7日	インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」(FB082B)	なし		なし	顔面麻痺	平成27年11月7日	0	重篤	不明	未回復 (報告日：平成28年2月10日)

No	年齢	性別	接種日	ワクチン名/ロット番号	同時接種	同時接種ワクチン/ ロット番号	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生 までの日数	重篤度	転帰日	転帰内容
38	3	男	平成27年11月7日	インフルエンザHAワクチン＊デンカ生研(542-A)	なし		なし	ネフローゼ症候群	平成27年11月11日	4	重篤	平成27年11月21日	軽快
39	52	女	平成27年11月9日	インフルエンザHAワクチン＊デンカ生研	なし		なし	注射部位紅斑	平成27年11月9日	0	重篤	不明	不明
40	4	女	平成27年11月9日	インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」シリンジ(FM040B)	なし		上気道の炎症	ヘノッホ・シェーンライン紫斑病	平成27年11月10日	1	重篤	平成27年12月21日	回復
41	57	女	平成27年11月9日	インフルエンザHAワクチン＊デンカ生研(542-A)	なし		アレルギー性結膜炎	注射部位腫脹、注射部位紅斑、注射部位疼痛、尺骨神経麻痺	平成27年11月10日	1	重篤	不明	未回復 (報告日：平成27年12月28日)
42	3	女	平成27年11月9日	インフルエンザHAワクチン＊デンカ生研(539-A)	なし		なし	注射部位腫脹、発熱、注射部位びらん	平成27年11月11日	2	重篤	平成27年11月15日	軽快
43	3	男	平成27年11月9日	ビケンHA(HA149C)	なし		低酸素性虚血性脳症、慢性呼吸不全、四肢麻痺、てんかん、胃食道逆流性疾患、胃痙、筋緊張亢進、低カリウム血症、低ナトリウム血症、ビタミン欠乏症、細菌感染	麻痺	平成27年11月17日	8	重篤	平成28年2月8日	軽快
44	66	男	平成27年11月11日	インフルエンザHAワクチン＊化血研	なし		知的能力障害、てんかん、結腸癌、肺炎	発熱、咳嗽、食欲減退	平成27年11月11日	0	重篤	平成27年11月13日	軽快
45	90	女	平成27年11月11日	ビケンHA(HA150E)	なし		喘息	口腔咽頭痛、喘鳴、チアノーゼ、酸素飽和度低下、頻脈、呼吸困難、咳嗽	平成27年11月11日	0	重篤	平成27年11月	回復
46	66	男	平成27年11月11日	インフルエンザHAワクチン＊デンカ生研	なし		知的能力障害、てんかん、結腸癌、肺炎	発熱、咳嗽、食欲減退	平成27年11月11日	0	重篤	平成27年11月13日	軽快
47	75	男	平成27年11月11日	インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」	なし		脳梗塞、不安障害、結腸癌、認知症、誤嚥性肺炎	発熱	平成27年11月11日	0	重篤	不明	不明
48	88	男	平成27年11月11日	ビケンHA(HA153E)	なし		高血圧、心房細動、食道癌、胃食道逆流性疾患、慢性閉塞性肺疾患、末梢性ニューロパチー	敗血症、倦怠感、筋骨格痛	平成27年11月14日	3	重篤	平成27年12月16日	軽快
49	56	男	平成27年11月12日	インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」(FB080B)	なし		なし	ギラン・バレー症候群	平成27年11月13日	1	重篤	平成27年11月18日	回復
50	31	女	平成27年11月13日	インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」シリンジ(FM042G)	なし		なし	蕁麻疹、発熱	平成27年11月13日	0	重篤	平成27年12月21日	回復
51	5	女	平成27年11月13日	インフルエンザHAワクチン＊化血研(391A)	なし		なし	アナフィラキシー反応	平成27年11月13日	0	重篤	平成27年11月14日	回復
52	91	女	平成27年11月13日	ビケンHA(HA153E)	なし		寝たきり、胆管癌、糖尿病、高血圧、喘息、心房細動、認知症	意識変容状態、食欲減退	平成27年11月17日	4	重篤	平成27年11月19日	死亡
53	12	女	平成27年11月14日	ビケンHA(HA152A)	なし		なし	発疹、発熱	平成27年11月14日	0	重篤	平成27年12月14日	軽快
54	56	男	平成27年11月14日	インフルエンザHAワクチン＊化血研(391B)	なし		鼻咽頭炎	肝障害	平成27年11月20日	6	重篤	平成27年12月	回復
55	19	女	平成27年11月15日	ビケンHA(HA149C)	なし		なし	発熱、頭痛、関節痛	平成27年11月17日	2	重篤	平成27年11月19日	軽快
56	39	女	平成27年11月17日	インフルエンザHAワクチン＊デンカ生研(540-B)	なし		交通事故、脳挫傷、寝たきり、胆嚢炎	アナフィラキシーショック	平成27年11月17日	0	重篤	平成27年11月28日	回復

No	年齢	性別	接種日	ワクチン名/ロット番号	同時接種	同時接種ワクチン/ ロット番号	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生 までの日数	重篤度	転帰日	転帰内容
57	3	男	平成27年11月17日	ジェービックV	あり	フルービックHAシリ ンジ(HK25D)	なし	脳症	平成27年11月17日	0	重篤	平成27年11月30日	回復
58	66	女	平成27年11月17日	インフルエンザHAワク チン*化血研	なし		膀胱炎、不眠症、上肢骨折	肝機能異常	平成27年12月3日	16	重篤	平成27年12月22日	軽快
59	66	女	平成27年11月17日	インフルエンザHAワク チン「北里第一三共」	なし		膀胱炎、不眠症、上肢骨折	肝機能異常	平成27年12月3日	16	重篤	平成27年12月22日	軽快
60	75	男	平成27年11月18日	インフルエンザHAワク チン*デンカ生研(540- B)	なし		腰部脊柱管狭窄症	発熱	平成27年11月18日	0	重篤	平成27年11月29日	回復
61	1	男	平成27年10月28日 平成27年11月18日	ビケンHA	なし		アトピー性皮膚炎、食物アレルギー	歩行障害	平成27年11月19日	1	重篤	平成27年11月25日	回復
62	1	男	平成27年11月18日	おたふくかぜ生ワクチ ン「北里第一三共」 (LF035A)	あり	乾燥弱毒生麻しん 風しん混合ワクチン 乾燥弱毒生水痘ワ クチン(岡株)*阪 大微研 インフルエンザHA ワクチン	アトピー性皮膚炎、食物アレルギー、乳アレルギー、喘息	歩行障害	平成27年11月19日	1	重篤	平成27年11月20日	軽快
63	86	男	平成27年11月18日	フルービックHAシリ ンジ(HK29D)	なし		心肥大、喘息、脳梗塞、高脂血 症、変形性関節症	死亡	平成27年11月20日	2	重篤	平成27年11月20日	死亡
64	35	女	平成27年11月19日	インフルエンザHAワク チン*化血研	なし		なし	頸部痛	平成27年11月19日	0	重篤	平成27年11月24日	回復
65	5	男	平成27年11月19日	インフルエンザHAワク チン*化血研(391B)	なし		食物アレルギー	アナフィラキシー反応	平成27年11月19日	0	重篤	平成27年11月20日	軽快
66	35	女	平成27年11月19日	インフルエンザHAワク チン*デンカ生研	なし		なし	発熱、頸部痛	平成27年11月19日	0	重篤	平成27年11月24日	回復
67	40	女	平成27年11月20日	インフルエンザHAワク チン*デンカ生研(551- B)	なし		喘息、パニック障害、浮動性め まい、肺炎、アレルギー性鼻炎、ア レルギー性結膜炎	白血球数減少、浮動性めまい、発熱、悪心	平成27年11月20日	0	重篤	平成27年12月18日	回復
68	64	男	平成27年11月20日	インフルエンザHAワク チン「北里第一三共」シ リンジ(FM041C)	なし		肺の悪性新生物	間質性肺疾患	平成27年11月24日	4	重篤	平成27年12月18日	軽快
69	9	男	平成27年11月24日	インフルエンザHAワク チン「北里第一三共」シ リンジ(FM040C)	なし		蕁麻疹	多形紅斑	平成27年11月24日	0	重篤	平成27年11月28日	軽快
70	6	女	平成27年11月24日	インフルエンザHAワク チン「北里第一三共」シ リンジ(FM041A)	なし		なし	失神寸前の状態	平成27年11月24日	0	重篤	平成27年11月24日	回復
71	4	女	平成27年11月24日	インフルエンザHAワク チン「北里第一三共」シ リンジ(FM041A)	なし		なし	失神寸前の状態	平成27年11月24日	0	重篤	平成27年11月24日	回復
72	70代	男	平成27年11月 平成27年11月	インフルエンザHAワク チン*化血研	なし		認知症、誤嚥性肺炎	発熱	平成27年11月	-	重篤	不明	未回復 (報告日:平 成27年12月 10日)
73	83	女	平成27年	ビケンHA	なし		肺気腫、高血圧、譫妄、不眠症	死亡	平成27年11月20日	-	重篤	平成27年11月20日	死亡
74	70	女	平成27年	ビケンHA	なし		なし	注射部位腫脹、注射部位疼痛	平成27年	-	重篤	不明	不明
75	7ヶ月	男	平成27年12月3日	インフルエンザHAワク チン*化血研(392A)	なし		なし	多形紅斑	平成27年12月3日	0	重篤	平成27年12月12日	回復

No	年齢	性別	接種日	ワクチン名/ロット番号	同時接種	同時接種ワクチン/ ロット番号	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生 までの日数	重篤度	転帰日	転帰内容
76	79	男	平成27年12月5日	インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」(FB081A)	なし		知的能力障害、精神障害者、躁病	嘔吐	平成27年12月5日	0	重篤	平成27年12月10日	回復
77	2	男	平成27年12月7日	インフルエンザHAワクチン＊デンカ生研(552-B)	なし		痙攣発作	顔面麻痺	平成27年12月10日	3	重篤	平成27年12月29日	軽快
78	9	女	平成27年12月10日	フルービックHA (HE53A)	なし		脳炎、脳症、選択的鈍点症	注射部位紅斑、注射部位腫脹、注射部位そう痒感、注射部位疼痛	平成27年12月11日	1	重篤	平成27年12月17日	軽快
79	21	男	平成27年12月10日	インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」シリンジ(FM042A)	なし		てんかん、蕁麻疹、季節性アレルギー	単麻痺	平成27年12月13日	3	重篤	平成27年12月28日	回復
80	20	女	平成27年12月11日	インフルエンザHAワクチン＊化血研(401B)	なし		なし	注射部位腫脹	平成27年12月11日	0	重篤	平成27年12月25日	回復
81	87	男	平成27年12月16日	ビケンHA(HA157B)	なし		脳梗塞、高血圧、認知症	アナフィラキシーショック	平成27年12月16日	0	重篤	平成27年12月22日	回復
82	53	男	平成27年12月19日	フルービックHA (HE53A)	なし		季節性アレルギー	筋肉痛、悪心	平成27年12月19日	0	重篤	平成27年12月25日	軽快
83	12	男	平成27年12月26日	インフルエンザHAワクチン＊化血研(396B)	なし		なし	蕁麻疹	平成27年12月26日	0	重篤	平成28年3月4日	回復
84	3	男	平成28年2月26日	インフルエンザHAワクチン＊デンカ生研	なし		なし	肺炎、発熱	平成28年2月27日	1	重篤	平成28年3月8日	回復
85	不明	男	不明	インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」	なし		なし	発熱、下痢、腹痛	不明	不明	重篤	不明	不明
86	29	不明	不明	ビケンHA	なし		なし	無菌性髄膜炎	不明	4	重篤	不明	不明
87	不明	不明	不明	インフルエンザHAワクチン＊デンカ生研	なし		なし	肺障害	不明	不明	重篤	不明	不明
88	不明	不明	不明	インフルエンザHAワクチン＊デンカ生研	なし		リウマチ性障害	血管炎	不明	不明	重篤	不明	不明
89	5	男	不明	インフルエンザHAワクチン＊デンカ生研(535-B)	なし		食物アレルギー	アナフィラキシー反応	平成27年11月19日	不明	重篤	平成27年11月20日	回復
90	63	男	不明	インフルエンザHAワクチン	なし		HIV感染、CD4リンパ球減少、節外性辺縁帯B細胞リンパ腫(MALT型)	脊髄炎	不明	不明	重篤	不明	軽快
91	8	男	不明	インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」	なし		なし	脳炎	不明	不明	重篤	不明	不明
92	6	女	不明	インフルエンザHAワクチン	なし		なし	自己免疫性脳炎	不明	不明	重篤	不明	軽快
93	不明	女	不明	フルービックHA	あり	テトラビック プレベナー13	なし	川崎病	不明	ハフルービックHA) 1(テトラビック、プレベナー13)	重篤	不明	不明
94	84	女	不明	インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」	なし		喘息	アレルギー性肉芽腫性血管炎、脳梗塞	不明	不明	重篤	不明	不明
95	62	男	不明	インフルエンザHAワクチン＊化血研	なし		なし	ギラン・バレー症候群	不明	不明	重篤	不明	回復

※複数の製造販売業者から重複して報告されている症例が含まれている可能性がある。

インフルエンザワクチン 重篤症例一覧
(平成27年10月1日から平成28年4月30日までの報告分)

医療機関からの報告

No	年齢	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	製造販売業者名	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生までの日数	因果関係 (報告医評価)	重篤度	転帰日	転帰内容
1	1	男	平成27年10月3日	インフルエンザ	534-A	デンカ	なし		なし	免疫性血小板減少性紫斑病	平成27年10月6日	3	評価不能	重い	平成27年10月15日	軽快
2	3	男	平成27年10月5日	インフルエンザ	535-B	デンカ	なし		なし	注射部位腫脹、発熱	平成27年10月5日	0	記載なし	重い	平成27年10月9日	回復
3	78	女	平成27年10月13日	インフルエンザ	HA152D	阪大微研	なし		うっ血性心不全、心房細動、慢性腎臓病、自己免疫性肝炎、甲状腺機能亢進症	プロトロンビン時間比増加、甲状腺機能亢進症	平成27年10月19日	6	関連あり	重い	平成28年1月8日	回復
4	3	女	平成27年10月19日	インフルエンザ	FM038B	北里第一三共	なし		食物アレルギー	アナフィラキシー反応	平成27年10月19日	0	関連あり	重い	平成27年10月20日	回復
5	82	女	平成27年10月19日	インフルエンザ	533-B	デンカ	なし		高血圧、脂質異常症、胃食道逆流性疾患	嘔吐	平成27年10月19日	0	評価不能	重い	平成27年10月27日	回復
6	75	女	平成27年10月20日	インフルエンザ	537-A	デンカ	あり	ニューモバックスNP (MSD、9MR07R)	なし	発熱、摂食障害、アナフィラキシー反応、浮動性めまい	平成27年10月20日	0	評価不能	重い	平成27年11月11日	回復
7	5	男	平成27年10月20日	インフルエンザ	FB080D	北里第一三共	なし		痙攣発作	アナフィラキシー反応	平成27年10月20日	0	関連あり	重い	平成27年10月20日	回復
8	84	女	平成27年10月21日	インフルエンザ	FB080A	北里第一三共	なし		喘息、高血圧、脂質異常症	アレルギー性肉芽腫性血管炎	平成27年10月	-	関連あり	重い	不明	後遺症
9	54	女	平成27年10月22日	インフルエンザ	540-A	デンカ	なし		全身性エリテマトーデス、シェーグレン症候群、緑内障、アレルギー性鼻炎、アレルギー性結膜炎、骨粗鬆症、胃食道逆流性疾患、感覚鈍麻	発熱、口内炎、発疹	平成27年10月22日	0	評価不能	重い	平成27年11月4日	軽快
10	8	男	平成27年10月22日	インフルエンザ	398A	化血研	なし		なし	過敏性血管炎	平成27年10月22日	0	関連あり	重い	平成27年10月29日	回復
11	89	女	平成27年10月23日	インフルエンザ	537-A	デンカ	なし		腰部脊柱管狭窄症、脳梗塞、高血圧、子宮平滑筋腫、手首関節骨折	痙攣発作	平成27年10月24日	1	評価不能	重い	平成27年10月28日	回復
12	71	男	平成27年10月23日	インフルエンザ	533-A	デンカ	なし		高血圧、アルコール性肝疾患	発熱、関節炎、血小板減少性紫斑病	平成27年10月24日	1	評価不能	重い	平成27年10月31日	回復
13	4	女	平成27年10月23日	インフルエンザ	533-B	デンカ	なし		なし	脊髄小脳失調症	平成27年11月1日	9	関連あり	重い	平成27年11月27日	回復
14	6	男	平成27年10月26日	インフルエンザ	539-A	デンカ	なし		喘息	アナフィラキシー反応	平成27年10月26日	0	関連あり	重い	平成27年10月26日	回復
15	10	男	平成27年10月26日	インフルエンザ	FB081B	北里第一三共	なし		なし	注射部位紅斑、注射部位腫脹	平成27年10月27日	1	関連あり	重い	平成27年11月4日	回復
16	83	男	平成27年10月26日	インフルエンザ	533-A	デンカ	なし		パーキンソン病、廃用症候群	発熱、発疹	平成27年10月27日	1	関連あり	重い	平成27年11月9日	軽快
17	78	女	平成27年10月26日	インフルエンザ	535-B	デンカ	なし		アルツハイマー型認知症、高血圧	顔面麻痺	平成27年10月27日	1	評価不能	重い	不明	未回復 (報告日: 平成27年 12月17日)
18	28	男	平成27年10月26日	インフルエンザ	HA151C	阪大微研	なし		なし	末梢神経障害、知覚異常	平成27年10月27日	1	評価不能	重い	平成27年11月5日	未回復 (報告日: 平成27年 11月10日)
19	36	女	平成27年10月26日	インフルエンザ	HA149C	阪大微研	なし		なし	ギラン・バレー症候群	平成27年11月1日	6	関連あり	重い	平成28年1月15日	軽快
20	47	女	平成27年10月27日	インフルエンザ	FB080D	北里第一三共	なし		出血性胃潰瘍、アトピー性皮膚炎	顔面麻痺	平成27年10月27日	0	評価不能	重い	不明	未回復 (報告日: 平成28年3 月31日)

No	年齢	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	製造販売業者名	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生までの日数	因果関係 (報告医評価)	重篤度	転帰日	転帰内容
21	68	女	平成27年10月27日	インフルエンザ	HA153A	阪大微研	なし		高血圧、ヘリコバクター性胃炎	中毒性皮疹	平成27年10月29日	2	評価不能	重い	平成27年11月4日	軽快
22	18	女	平成27年10月29日	インフルエンザ	HA149E	阪大微研	なし		アトピー性皮膚炎	アナフィラキシーショック	平成27年10月29日	0	関連あり	重い	平成27年10月29日	回復
23	9	男	平成27年11月2日	インフルエンザ	537-B	デンカ	なし		なし	アナフィラキシー反応	平成27年11月2日	0	関連あり	重い	平成27年11月4日	回復
24	91	女	平成27年11月2日	インフルエンザ	HK25D	阪大微研	なし		持続性抑うつ障害、甲状腺機能低下症、胃癌	間質性肺疾患	平成27年11月3日	1	関連あり	重い	平成28年1月20日	軽快
25	70	女	平成27年11月2日	インフルエンザ	HA150A	阪大微研	なし		なし	間質性肺疾患	平成28年1月12日	71	記載なし	重い	平成28年1月29日	軽快
26	77	男	平成27年11月4日	インフルエンザ	542-A	デンカ	なし		高血圧	感覚鈍麻、感覚障害	平成27年11月10日	6	関連なし	重い	不明	不明
27	81	女	平成27年11月4日	インフルエンザ	539-B	デンカ	なし		脊椎圧迫骨折、C型肝炎	中毒性皮疹	平成27年11月5日	1	関連あり	重い	平成27年12月4日	回復
28	76	女	平成27年11月5日	インフルエンザ	543-B	デンカ	なし		てんかん、慢性気管支炎、脳出血	喘息、発熱	平成27年11月7日	2	関連あり	重い	平成27年11月10日	回復
29	72	男	平成27年11月5日	インフルエンザ	HA150B	阪大微研	なし		椎間板障害、高血圧、高脂血症、良性前立腺肥大症	ギラン・バレー症候群	平成27年11月11日	6	関連あり	重い	不明	軽快
30	52	女	平成27年11月5日	インフルエンザ	FB080B	北里第一三共	なし		メニエール病、食物アレルギー	疼痛、感覚障害	平成27年11月11日	6	関連あり	重い	平成27年11月18日	後遺症
31	22	女	平成27年11月5日	インフルエンザ	397C	化血研	なし		大腸炎	発疹、顔面麻痺、リンパ節症	平成27年11月6日	1	記載なし	重い	平成27年11月26日	軽快
32	32	女	平成27年11月5日	インフルエンザ	397C	化血研	なし		便秘	中毒性皮疹	平成27年11月9日	4	記載なし	重い	平成27年11月13日	軽快
33	39	女	平成27年11月5日	インフルエンザ	HK26D	阪大微研	なし		喘息、光線過敏性反応、椎間板突出、尿管結石症、乳房障害	間質性肺疾患	平成27年11月5日	0	関連あり	重い	平成27年12月2日	軽快
34	86	男	平成27年11月6日	インフルエンザ	387A	化血研	なし		高血圧、変形性膝関節症、前立腺肥大	アナフィラキシー意識消失、心肺停止	平成27年11月6日	0	評価不能	重い	平成27年11月6日	死亡
35	76	女	平成27年11月6日	インフルエンザ	542-B	デンカ	なし		なし	顔面神経麻痺	平成27年11月8日	2	評価不能	重い	平成27年11月17日	不明
36	5	男	平成27年11月6日	インフルエンザ	546-A	デンカ	なし		なし	ヘノーホ・シェーンライン紫斑病	平成27年11月7日	1	関連あり	重い	平成27年11月27日	回復
37	4	男	平成27年11月6日	インフルエンザ	533-B	デンカ	なし		なし	注射部位紅斑、注射部位腫脹、発熱	平成27年11月7日	1	評価不能	重い	平成27年11月19日	回復
38	81	女	平成27年11月6日	インフルエンザ	FB082B	北里第一三共	なし		関節リウマチ、心室細動、尿路感染	急性呼吸不全、低血圧、肺炎、胸水	平成27年11月6日	0	記載なし	重い	平成27年11月6日	回復
39	1	男	平成27年11月7日	インフルエンザ	HA152C	阪大微研	なし		食物アレルギー、アトピー性皮膚炎	蜂巣炎	平成27年11月8日	1	関連あり	重い	平成27年11月13日	回復
40	6	女	平成27年11月7日	インフルエンザ	386B	化血研	なし		なし	発熱、蜂巣炎	平成27年11月7日	0	関連あり	重い	平成27年11月26日	軽快
41	13	男	平成27年11月7日	インフルエンザ	548-B	デンカ	なし		なし	発熱、頭痛、悪心、肝機能異常	平成27年11月7日	0	関連あり	重い	平成27年11月26日	軽快
42	60	女	平成27年11月9日	インフルエンザ	HA154E	阪大微研	なし		口唇腫脹、甲状腺機能亢進症、子宮平滑筋腫、胃腺腫、高血圧、脂質異常症、腎炎、慢性腎臓病、副甲状腺機能亢進症	アナフィラキシー反応	平成27年11月9日	0	評価不能	重い	平成27年11月9日	軽快

No	年齢	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	製造販売業者名	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生までの日数	因果関係 (報告医評価)	重篤度	転帰日	転帰内容
43	45	女	平成27年11月10日	インフルエンザ	FM040C	北里第一三共	なし		なし	アナフィラキシー反応	平成27年11月10日	0	関連あり	重い	平成27年11月11日	回復
44	39	女	平成27年11月11日	インフルエンザ	HA150B	阪大微研	なし		統合失調症、アレルギー性鼻炎、口腔アレルギー症候群、てんかん、便秘	感覚鈍麻、筋力低下	平成27年11月11日	0	関連あり	重い	平成27年11月12日	回復
45	55	女	平成27年11月11日	インフルエンザ	HA153B	阪大微研	なし		IgA腎症、乳癌、白癬感染、高血圧、季節性アレルギー、皮膚乾燥、そう痒症、湿疹、高脂血症、腎性骨異常栄養症、副甲状腺機能亢進症、腎性貧血、骨粗鬆症	全身性皮疹	平成27年11月13日	2	記載なし	重い	平成27年11月30日	回復
46	76	男	平成27年11月11日	インフルエンザ	547-B	デンカ	なし		高血圧	急性散在性脳脊髄炎	平成27年11月	-	関連あり	重い	不明	未回復 (報告日: 平成28年4 月25日)
47	73	男	平成27年11月11日	インフルエンザ	FB082A	北里第一三共	なし		高血圧、脳梗塞	ネフローゼ症候群、くも膜下出血	平成27年11月18日	7	関連あり	重い	不明	後遺症
48	3	男	平成27年11月12日	インフルエンザ	537-B	デンカ	なし		熱性痙攣	死亡	平成27年11月12日	0	評価不能	重い	平成27年11月13日	死亡
49	2	男	平成27年11月12日	インフルエンザ	544-A	デンカ	なし		なし	蜂巣炎	平成27年11月14日	2	関連あり	重い	平成27年11月16日	回復
50	35	女	平成27年11月12日	インフルエンザ	FM041B	北里第一三共	なし		なし	末梢性ニューロパチー	平成27年	-	関連あり	重い	不明	不明
51	79	女	平成27年11月12日	インフルエンザ	HA157C	阪大微研	なし		アルツハイマー型認知症、椎間板突出、糖尿病、高血圧、脂質異常症	末梢性ニューロパチー	平成27年11月13日	1	関連あり	重い	不明	未回復 (報告日: 平成28年4 月25日)
52	91	男	平成27年11月13日	インフルエンザ	HA153B	阪大微研	なし		高血圧、尿路感染、脳梗塞、慢性胃炎、不眠症、誤嚥性肺炎	発熱	平成27年11月13日	0	記載なし	重い	平成27年11月14日	回復
53	4	男	平成27年11月13日	インフルエンザ	389A	化血研	なし		なし	蜂巣炎	平成27年11月14日	1	関連あり	重い	平成27年11月17日	軽快
54	54	女	平成27年11月13日	インフルエンザ	550-B	デンカ	なし		なし	そう痒性皮疹	平成27年11月16日	3	関連あり	重い	不明	軽快
55	4	男	平成27年11月14日	インフルエンザ	393B	化血研	なし		乳児喘息	アナフィラキシー反応	平成27年11月14日	0	関連あり	重い	平成27年11月20日	回復
56	18	女	平成27年11月14日	インフルエンザ	HA155E	阪大微研	なし		なし	上肢が挙上出来なくなっている、接種直後に広範囲に腫張した	平成27年11月25日	11	関連あり	重い	不明	不明
57	7	男	平成27年11月14日	インフルエンザ	FM040B	北里第一三共	なし		なし	血管炎、腎症、ヘノーボ・シェーンライン紫斑病	平成27年11月17日	3	評価不能	重い	不明	未回復 (報告日: 平成26年4 月22日)
58	4	女	平成27年11月17日	インフルエンザ	395A	化血研	なし		なし	蕁麻疹、低血圧	平成27年11月17日	0	関連あり	重い	平成27年11月17日	回復
59	2	男	平成27年11月17日	インフルエンザ	HE50A	阪大微研	なし		食物アレルギー	熱性痙攣	平成27年11月17日	0	評価不能	重い	不明	不明
60	11	女	平成27年11月17日	インフルエンザ	544-A	デンカ	なし		なし	疼痛	平成27年11月17日	0	関連あり	重い	不明	未回復 (報告日: 平成28年4 月13日)
61	68	男	平成27年11月19日	インフルエンザ	533-B	デンカ	なし		脳梗塞、急性心筋梗塞、蘇生後脳症、褥瘡性潰瘍、低アルブミン血症、胸水	血圧低下、顔面浮腫	平成27年11月19日	0	関連あり	重い	平成27年12月16日	死亡
62	43	女	平成27年11月19日	インフルエンザ	386A	化血研	なし		なし	口腔咽頭痛、咽頭紅斑	平成27年11月19日	0	関連あり	重い	平成27年11月20日	軽快

No	年齢	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	製造販売業者名	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生までの日数	因果関係 (報告医評価)	重篤度	転帰日	転帰内容
63	14	男	平成27年11月19日	インフルエンザ	393A	化血研	なし		水痘、ムンプス	脊髄炎	平成27年11月28日	9	記載なし	重い	不明	未回復 (報告日: 平成28年4 月15日)
64	38	男	平成27年11月20日	インフルエンザ	536-A	デンカ	なし		なし	末梢性ニューロパシー	平成27年11月20日	0	関連あり	重い	不明	未回復 (報告日: 平成28年1 月27日)
65	7	男	平成27年11月21日	インフルエンザ	HA154D	阪大微研	なし		食物アレルギー	急性散在性脳脊髄炎	平成27年11月24日	3	関連あり	重い	平成27年12月15日	軽快
66	82	女	平成27年11月24日	インフルエンザ	548-A	デンカ	なし		セフェム系抗生剤アレルギー歴	喘息発作	平成27年11月26日	2	関連あり	重い	平成27年11月27日	軽快
67	42	女	平成27年11月24日	インフルエンザ	HA155E	阪大微研	なし		てんかん、知的能力障害	痙攣発作	平成27年11月26日	2	評価不能	重い	平成27年12月4日	回復
68	66	男	平成27年11月24日	インフルエンザ	546-A	デンカ	なし		糖尿病、高血圧	脊髄炎	平成27年11月24日	0	関連あり	重い	平成28年2月26日	後遺症
69	4	男	平成27年11月25日	インフルエンザ	393A	化血研	なし		なし	注射部位紅斑、注射部位腫脹、発熱	平成27年11月26日	1	関連あり	重い	不明	不明
70	75	男	平成27年11月25日	インフルエンザ	HA157B	阪大微研	なし		脳梗塞、パーキンソニズム、アルツハイマー型認知症、洞結節機能不全、本態性高血圧症	低血圧	平成27年11月25日	0	評価不能	重い	平成27年11月25日	回復
71	3	男	平成27年11月26日	インフルエンザ	385B	化血研	なし		アレルギー性鼻炎	注射部位腫脹、発熱、注射部位小水疱、注射部位びらん	平成27年11月26日	0	関連あり	重い	平成27年12月1日	回復
72	3	男	平成27年11月27日	インフルエンザ	HA157C	阪大微研	なし		なし	肝障害、腹痛、嘔吐、発疹	平成27年11月27日	0	評価不能	重い	平成27年12月19日	軽快
73	6	男	平成27年11月27日	インフルエンザ	385A	化血研	なし		心室中隔欠損症、右胸心、喘息	アナフィラキシー反応	平成27年11月27日	0	関連あり	重い	平成27年11月28日	回復
74	45	男	平成27年11月28日	インフルエンザ	FM041B	北里第一三共	なし		尿管結石症	注射部位疼痛、筋力低下、注射部位知覚低下	平成27年12月1日	3	関連あり	重い	不明	未回復 (報告日: 平成28年2 月10日)
75	1	男	平成27年11月30日	インフルエンザ	397A	化血研	なし		なし	蜂巣炎	平成27年12月1日	1	関連あり	重い	不明	回復
76	6	男	平成27年11月30日	インフルエンザ	HA156D	阪大微研	なし		肺炎	蜂巣炎、注射部位腫脹、注射部位紅斑、注射部位疼痛、発熱、注射部位そう痒感	平成27年11月30日	0	関連あり	重い	平成27年12月28日	回復
77	76	女	平成27年11月30日	インフルエンザ	551-A	デンカ	なし		高血圧、高脂血症	注射部位腫脹、疼痛、筋骨格障害	平成27年11月30日	0	関連あり	重い	不明	後遺症
78	87	女	平成27年11月30日	インフルエンザ	396B	化血研	なし		慢性関節リウマチ	倦怠感、気分不良、食欲不振、歩行困難、発熱、意識レベルの低下、急性散在性脳脊髄炎	平成27年12月7日	7	記載なし	重い	平成27年12月13日	死亡
79	41	女	平成27年12月1日	インフルエンザ	543-B	デンカ	なし		なし	顔面、体幹の中毒疹	平成27年12月3日	2	関連あり	重い	不明	不明
80	59	男	平成27年12月1日	インフルエンザ	386C	化血研	なし		喘息、高脂血症、身体症状症、てんかん	発熱、肺炎	平成27年12月1日	0	評価不能	重い	平成27年12月13日	回復
81	9	男	平成27年12月1日	インフルエンザ	389A	化血研	なし		痙攣発作	痙攣発作	平成27年12月3日	2	関連あり	重い	平成27年12月3日	回復
82	34	男	平成27年12月2日	インフルエンザ	FM039A	北里第一三共	なし		過敏性腸症候群	アナフィラキシーショック	平成27年12月2日	0	関連あり	重い	平成27年12月2日	軽快
83	15	女	平成27年12月2日	インフルエンザ	541-A	デンカ	なし		なし	ショック	平成27年12月2日	0	評価不能	重い	平成27年12月3日	回復
84	85	男	平成27年12月3日	インフルエンザ	393A	化血研	なし		浮動性めまい	ギラン・バレー症候群	平成27年12月8日	5	関連あり	重い	不明	後遺症

No	年齢	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	製造販売業者名	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生までの日数	因果関係 (報告医評価)	重篤度	転帰日	転帰内容
85	17	男	平成27年12月4日	インフルエンザ	397C	化血研	なし		なし	失神	平成27年12月4日	0	関連あり	重い	平成27年12月4日	回復
86	30	男	平成27年12月4日	インフルエンザ	HE51A	阪大微研	なし		なし	アナフィラキシー反応、発熱	平成27年12月4日	0	関連あり	重い	平成27年12月5日	回復
87	42	女	平成27年12月4日	インフルエンザ	HA157A	阪大微研	なし		なし	アナフィラキシー反応	平成27年12月4日	0	関連あり	重い	平成27年12月4日	回復
88	7	男	平成27年12月5日	インフルエンザ	549-A	デンカ	なし		なし	ネフローゼ症候群	平成27年12月5日	0	評価不能	重い	平成27年12月28日	軽快
89	32	女	平成27年12月7日	インフルエンザ	HA152A	阪大微研	なし		鼻咽頭炎	薬物過敏症、感覚鈍麻、悪心、嘔吐	平成27年12月7日	0	記載なし	重い	不明	不明
90	1	男	平成27年12月12日	インフルエンザ	FM038E	北里第一三共	なし		なし	注射部位腫脹、発熱、注射部位紅斑	平成27年12月13日	1	関連あり	重い	平成27年12月22日	回復
91	32	女	平成27年12月16日	インフルエンザ	543-A	デンカ	なし		なし	眼充血、視力低下、霧視、ぶどう膜炎	平成28年1月5日	20	評価不能	重い	平成28年4月6日	軽快
92	64	女	平成27年12月17日	インフルエンザ	FB082D	北里第一三共	なし		高血圧、胃食道逆流性疾患、慢性胃炎、季節性アレルギー	肝機能異常	平成28年1月4日	18	関連あり	重い	平成28年1月14日	軽快
93	6	女	平成27年12月5日 平成27年12月19日	インフルエンザ	FM038C	北里第一三共	なし		なし	ショック	平成27年12月19日	0	関連あり	重い	平成27年12月20日	回復
94	1	男	平成27年12月24日	インフルエンザ	HA158B	阪大微研	なし		熱性痙攣	喉頭浮腫、熱性痙攣	平成27年12月24日	0	関連あり	重い	平成27年12月26日	回復
95	8ヶ月	男	平成27年12月24日	インフルエンザ	HA158B	阪大微研	あり	テトラビック(阪大微研、4K11B)	なし	喘息、注射部位紅斑、注射部位硬結、注射部位腫脹	平成27年12月24日	0	関連あり	重い	平成27年12月26日	回復
96	67	女	平成27年12月28日	インフルエンザ	547-A	デンカ	なし		なし	皮膚粘膜眼症候群	平成28年1月1日	4	関連あり	重い	平成28年2月1日	軽快
97	3	女	平成28年1月9日	インフルエンザ	390B	化血研	なし		なし	蜂巣炎	平成28年1月10日	1	記載なし	重い	平成28年1月18日	軽快
98	75	男	平成28年1月19日	インフルエンザ	390B	化血研	なし		なし	発熱、意識変容状態	平成28年1月23日	4	評価不能	重い	平成28年2月5日	不明
99	75	男	平成27年10月13日	ニューモバックスNp	9MR06R	MSD	あり	インフルエンザ(デンカ、524-B)	高血圧、便秘、良性前立腺肥大症、レヴィ小体型認知症	注射部位紅斑、注射部位腫脹、注射部位疼痛、発熱、紅斑、末梢腫脹	平成27年10月13日	0	関連あり	重い	平成27年10月19日	回復
100	11	女	平成27年11月6日	おたふくかぜ	G520	武田薬品工業	あり	インフルエンザ(デンカ、540-B)	なし	無菌性髄膜炎	平成27年11月24日	18	関連あり	重い	不明	軽快

※複数の製造販売業者から重複して報告されている症例が含まれている可能性がある。

インフルエンザワクチン 非重篤症例一覧
(平成27年10月1日から平成28年4月30日までの報告分)

医療機関からの報告

No	年齢	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	製造販売業者名	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生までの日数	因果関係 (報告医評価)	重篤度 (報告医評価)	転帰日	転帰内容
1	64	女	平成27年10月2日	インフルエンザ	535-B	デンカ	なし		なし	両手掌に発疹	平成27年10月2日	0	記載なし	重くない	平成27年10月14日	回復
2	71	女	平成27年10月5日	インフルエンザ	534-A	デンカ	なし		なし	接種側上肢のしびれ	平成27年10月7日	2	記載なし	重くない	平成27年11月10日	未回復
3	45	男	平成27年10月6日	インフルエンザ	HA150E	阪大微研	なし		なし	右腋窩下に皮疹、ワクチンによる薬疹	平成27年10月6日	0	評価不能	重くない	平成27年10月28日	軽快
4	85	男	平成27年10月8日	インフルエンザ	534-A	デンカ	なし		なし	薬剤性全身性蕁麻疹	平成27年10月11日	3	関連あり	重くない	平成27年10月24日	軽快
5	68	男	平成27年10月14日	インフルエンザ	HK24C	阪大微研	なし		なし	皮膚発赤	平成27年10月14日	0	関連あり	重くない	不明	不明
6	4	女	平成27年10月15日	インフルエンザ	HK24C	阪大微研	なし		H24(実際はH23年冬シーズン)から毎年、当院でインフルエンザワクチンを2回打ち 今回5年目(9回目) 今迄副反応なし	両下眼瞼の浮腫	平成27年10月16日	1	関連あり	重くない	不明	回復
7	55	男	平成27年10月15日	インフルエンザ	534-A	デンカ	なし		なし	四肢腹部を中心とした小丘疹(じんま疹様)	平成27年10月15日	0	関連あり	重くない	平成27年10月19日	軽快
8	2	女	平成27年10月16日	インフルエンザ	536-A	デンカ	あり	MR(阪大微研、MR240)	H26.10月 flv接種にて発熱の既往	接種部腫脹	平成27年10月17日	1	関連あり	重くない	不明	不明
9	35	女	平成27年10月16日	インフルエンザ	539-A	デンカ	なし		なし	熱発、全身倦怠感、頭痛、嘔気、関節痛	平成27年10月16日	0	評価不能	重くない	平成27年10月17日	軽快
10	72	女	平成27年10月17日	インフルエンザ	FB080A	北里第一三共	なし		なし	発赤3.5×6cm(左上腕)	平成27年10月19日	2	関連あり	重くない	平成27年10月26日	軽快
11	28	女	平成27年10月19日	インフルエンザ	FB080A	北里第一三共	なし		なし	蕁麻疹	平成27年10月21日	2	評価不能	重くない	平成27年10月27日	軽快
12	71	女	平成27年10月19日	インフルエンザ	534-B	デンカ	なし		なし	翌日、かゆくなり、直径20cmほど発赤、腫脹	平成27年10月20日	1	関連あり	重くない	平成27年10月27日	回復
13	35	女	平成27年10月20日	インフルエンザ	HA152B	阪大微研	なし		なし	発疹	平成27年10月24日	4	関連あり	重くない	不明	軽快
14	45	女	平成27年10月21日	インフルエンザ	HA152D	阪大微研	なし		なし	じんましん	平成27年10月22日	1	評価不能	重くない	平成27年10月29日	軽快
15	8	男	平成27年10月23日	インフルエンザ	HA149D	阪大微研	なし		なし	体調不良	平成27年10月24日	1	関連あり	重くない	不明	回復
16	77	女	平成27年10月24日	インフルエンザ	535-A	デンカ	なし		なし	腫脹、発熱、全身関節痛、Rt殿部疼痛	平成27年10月25日	1	関連あり	重くない	平成27年11月2日	軽快
17	8	男	平成27年10月24日	インフルエンザ	HA150C	阪大微研	なし		1ヶ月以内の病気:かぜ、喘息ぎみ	接種部位の腫脹	平成27年10月25日	1	関連あり	重くない	平成27年10月31日	軽快
18	12	男	平成27年10月24日	インフルエンザ	HA149A	阪大微研	なし		なし	血管迷走神経反射疑い	平成27年10月24日	0	関連あり	重くない	平成27年10月24日	回復
19	68	男	平成27年10月26日	インフルエンザ	538-A	デンカ	なし		精神科で向精神薬の内服あり。ロラゼパム(0.5)、リフレックス(15)、ゾルピデム(5)	全身性皮フ丘疹、痒疹	平成27年10月27日	1	関連あり	重くない	平成27年11月2日	回復
20	70	男	平成27年10月26日	インフルエンザ	HA152E	阪大微研	なし		脳幹梗塞、高血圧症	発熱、嘔吐	平成27年10月26日	0	関連あり	重くない	平成27年10月26日	軽快
21	48	男	平成27年10月27日	インフルエンザ	FB080C	北里第一三共	なし		なし	右大腿部の痛み、ねむけ	平成27年10月28日	1	関連なし	重くない	平成27年10月29日	軽快

No	年齢	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	製造販売業者名	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生までの日数	因果関係 (報告医評価)	重篤度 (報告医評価)	転帰日	転帰内容
22	4	男	平成27年10月27日	インフルエンザ	FM039C	北里第一三共	なし		H24年11月、けいれん	肘をこえる腫脹、圧痛	平成27年10月28日	1	関連あり	重くない	不明	未回復
23	5	女	平成27年10月27日	インフルエンザ	543-B	デンカ	なし		なし	接種部腫脹	平成27年10月28日	1	関連あり	重くない	不明	不明
24	2	女	平成27年10月27日	インフルエンザ	FB080A	北里第一三共	なし		なし	あせも様の発疹が、腹部と背中全体にみられる。両鼠径部が紅斑し、ヘソの上部に横に赤く線状に紅斑みられた	平成27年10月27日	0	関連あり	重くない	平成27年10月29日	回復
25	30	女	平成27年10月27日	インフルエンザ	HK24B	阪大微研	なし		なし	尋麻疹	平成27年10月28日	1	関連あり	重くない	平成27年11月11日	未回復
26	29	女	平成27年10月27日	インフルエンザ	534-B	デンカ	なし		B肝 2015.10.13 A肝 2015.10.20	右前腕に脱力感出現、右握力の低下、右前腕拳上で痛みある	平成27年10月27日	0	関連あり	重くない	平成27年10月28日	回復
27	71	女	平成27年10月27日	インフルエンザ	FB081D	北里第一三共	なし		高血圧、高脂血症	下痢、血便排泄	平成27年10月27日	0	評価不能	重くない	平成27年11月4日	回復
28	71	男	平成27年10月27日	インフルエンザ	538-B	デンカ	なし		なし	複合性局所疼痛症候群疑い、CRPS Type I	平成27年10月28日	1	評価不能	重くない	不明	軽快
29	40	男	平成27年10月28日	インフルエンザ	540-A	デンカ	なし		過去の副作用歴 ハロスボア	左上腕注射部位から上8cm下は肘下5cmまで腫れと熱感軽度、発赤もあり	平成27年10月30日	2	評価不能	重くない	平成27年11月2日	軽快
30	4	男	平成27年10月29日	インフルエンザ	HA150B	阪大微研	あり	ジェービックV(阪大微研、JR249)	なし	上腕腫脹発赤掻痒	平成27年10月29日	0	関連あり	重くない	平成27年11月12日	回復
31	37	女	平成27年10月29日	インフルエンザ	HA150A	阪大微研	なし		なし	末梢神経障害	平成27年10月29日	0	関連あり	重くない	平成27年11月2日	軽快
32	61	女	平成27年10月29日	インフルエンザ	385A	化血研	なし		なし	薬疹	平成27年10月30日	1	関連あり	重くない	不明	未回復
33	83	男	平成27年10月29日	インフルエンザ	FM039C	北里第一三共	なし		発作性心房細動、皮脂欠乏性湿疹	中毒疹	平成27年10月31日	2	記載なし	重くない	平成27年11月2日	軽快
34	81	男	平成27年10月29日	インフルエンザ	536-B	デンカ	なし		クモ膜下出血後遺症で入院中。気管切開あり経鼻経管栄養で維持している。	40.1℃の発熱	平成27年10月30日	1	記載なし	重くない	平成27年11月17日	回復
35	54	女	平成27年10月29日	インフルエンザ	541-B	デンカ	なし		なし	肘や肩(左:注射側)の関節痛、肘を中心にしびれる、重い物を持つとだるくなる、拳上等しづらい	平成27年11月初旬頃	—	評価不能	重くない	不明	不明
36	47	女	平成27年10月29日	インフルエンザ	540-A	デンカ	なし		不明	発熱	平成27年10月29日	0	評価不能	重くない	平成27年10月31日	回復
37	8	女	平成27年10月30日	インフルエンザ	389B	化血研	なし		毎年インフルエンザワクチンを2回接種しており、副反応なかった。	一過性意識消失	平成27年10月30日	0	関連あり	重くない	平成27年10月30日	回復
38	4	女	平成27年10月30日	インフルエンザ	FM038B	北里第一三共	なし		尋麻疹	注射部を中心に腋窩～手指先まで発赤と浮腫あり、腋窩まで腫脹	平成27年10月31日	1	関連あり	重くない	平成27年11月4日	回復
39	56	男	平成27年10月30日	インフルエンザ	544-A	デンカ	なし		なし 不明	しびれ感	平成27年11月12日	13	関連あり	重くない	不明	不明
40	4	女	平成27年10月30日	インフルエンザ	HA153A	阪大微研	なし		なし	アナフィラキシー、咳、喘鳴、じんま疹、注射部位腫脹	平成27年10月30日	0	関連あり	重くない	平成27年11月1日	軽快
41	49	女	平成27年10月30日	インフルエンザ	FB080D	北里第一三共	なし		なし	末梢神経障害の疑い	平成27年10月31日	1	関連あり	不明	不明	不明
42	12	男	平成27年10月31日	インフルエンザ	542-A	デンカ	なし		ワクチンはれやすい	関節が曲がらなくなる程腕がはれた(接種側)	平成27年11月1日	1	関連あり	重くない	不明	軽快
43	6	男	平成27年10月31日	インフルエンザ	536-A	デンカ	なし		10月10日ごろ上気道炎。接種時咳残る。	39℃以上の発熱	平成27年11月1日	1	評価不能	重くない	平成27年11月2日	軽快

No	年齢	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	製造販売業者名	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生までの日数	因果関係 (報告医評価)	重篤度 (報告医評価)	転帰日	転帰内容
44	2	男	平成27年10月31日	インフルエンザ	HA152B	阪大微研	なし		1週間前から鼻汁あったが当日は回復傾向を認めており全身状態は良好であった。分娩時、出生時、乳児検診などで軽い肺気腫があった。分娩時緊急帝王切開であった。近親者(母)が三種混合を受けて具合が悪くなった。	発熱、発疹、顔面腫脹	平成27年10月31日	0	関連あり	重くない	平成27年11月2日	軽快
45	25	女	平成27年10月31日	インフルエンザ	539-B	デンカ	なし		花粉症	左上腕部発赤、腫脹出現、上肢、下肢皮疹出現	平成27年10月31日	0	関連あり	重くない	不明	不明
46	23	女	平成27年10月31日	インフルエンザ	HA152B	阪大微研	なし		なし	39.6℃まで発熱、悪寒、だるい感じ	平成27年10月31日	0	関連あり	重くない	平成27年11月3日	回復
47	4	女	平成27年10月31日	インフルエンザ	不明	デンカ	なし		1歳 胃腸炎 脱水で入院	血小板減少性紫斑病	平成27年11月5日	5	記載なし	重くない	平成27年11月13日	回復
48	41	女	平成27年10月31日	インフルエンザ	FM040B	北里第一三共	なし		なし	左頭部～左上肢伸側にかけての電撃痛、左前腕、左手尺骨神経領域での重たい不快感	平成27年10月31日	0	評価不能	重くない	不明	未回復
49	4	男	平成27年10月31日	インフルエンザ	390A	化血研	あり	ジェービックV(阪大微研、JR248)	玉子アレルギー	蜂巣炎、発熱、ワクチン接種部位の痛み、腫脹、肘関節の屈曲が一時的困難、熱感	平成27年10月31日	0	関連あり	重くない	平成27年11月2日	軽快
50	2	男	平成27年11月2日	インフルエンザ	HE50A	阪大微研	なし		なし	発赤、腫脹	平成27年11月2日	0	関連あり	重くない	不明	回復
51	44	女	平成27年11月2日	インフルエンザ	541-B	デンカ	なし		なし	発赤、腫脹、掻痒感、左肩～指先まで倦怠感	平成27年11月2日	0	関連あり	重くない	平成27年11月9日	軽快
52	6	女	平成27年11月2日	インフルエンザ	537-B	デンカ	なし		記載はないが喘息の既往あり。熱性痙攣	アナフィラキシー疑い	平成27年11月2日	0	評価不能	重くない	平成27年11月4日	回復
53	71	男	平成27年11月2日	インフルエンザ	FB081D	北里第一三共	なし		なし	じん麻疹	平成27年11月2日	0	関連あり	重くない	平成27年11月3日	回復
54	66	女	平成27年11月2日	インフルエンザ	HA149C	阪大微研	なし		高脂血症、不眠症でプラバスタチンNa、リーゼ内服	両手の痺れと腫脹	平成27年11月7日	5	評価不能	重くない	平成27年11月16日	軽快
55	29	男	平成27年11月4日	インフルエンザ	386B	化血研	なし		不明	接種部位の発赤、腫脹、二重硬結:9×8:4×4	平成27年11月4日	0	記載なし	重くない	平成27年11月9日	軽快
56	24	女	平成27年11月4日	インフルエンザ	HE52A	阪大微研	なし		なし	接種した腕の肩、腋下に赤い発疹	平成27年11月4日	0	評価不能	重くない	平成27年11月5日	回復
57	72	男	平成27年11月4日	インフルエンザ	FB082B	北里第一三共	なし		糖尿病、糖尿病性神経障害性疼痛、末梢神経障害性疼痛、副作用(メキンパール、サインバルタ)手足の熱感、体の不調(体調不良)早期糖尿病性腎症、陈旧性脳梗塞、レチコロン500μg、デバス0.5mg、アマリール0.5mg、バイアスピリン100mg、リオレサル5mg、プロテカジン10mg	末梢神経障害	平成27年11月8日	4	評価不能	記載なし	不明	不明
58	16	男	平成27年11月4日	インフルエンザ	386A	化血研	なし		甲殻類アレルギー有	アナフィラキシー	平成27年11月4日	0	関連あり	重くない	平成27年11月5日	回復
59	63	男	平成27年11月4日	インフルエンザ	FB080B	北里第一三共	なし		なし	筋肉痛、感覚障害	平成27年11月5日	1	評価不能	重くない	平成27年11月8日	回復
60	35	女	平成27年11月4日	インフルエンザ	541-A	デンカ	なし		なし	発熱、頭痛、嘔気、発疹	平成27年11月5日	1	関連あり	重くない	平成27年11月15日	回復
61	23	女	平成27年11月4日	インフルエンザ	HK26A	阪大微研	なし		5～10才頃に一度ひきつけをおこしたことがある	頭痛、全身倦怠感	平成27年11月4日	0	評価不能	重くない	平成27年11月30日	不明
62	5	男	平成27年11月5日	インフルエンザ	390A	化血研	なし		なし	じん麻疹	平成27年11月5日	0	関連あり	重くない	平成27年11月5日	軽快
63	4	男	平成27年11月5日	インフルエンザ	386B	化血研	なし		なし	接種4時間後に10cm大の腫大、翌朝20cm大の腫大(かゆみあり)	平成27年11月5日	0	記載なし	重くない	不明	不明
64	41	女	平成27年11月5日	インフルエンザ	537-B	デンカ	なし		なし	左上肢から指の末梢神経障害	平成27年11月7日	2	関連あり	重くない	不明	不明

No	年齢	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	製造販売業者名	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生までの日数	因果関係 (報告医評価)	重篤度 (報告医評価)	転帰日	転帰内容
65	43	女	平成27年11月5日	インフルエンザ	537-B	デンカ	なし		なし	接種側上肢のしびれ	平成27年11月5日	0	評価不能	重くない	平成27年11月12日	後遺症 (症状:しびれ残存)
66	25	女	平成27年11月6日	インフルエンザ	HK24C	阪大微研	なし		なし	肘までの腫脹、発赤、倦怠感、 KT37.7、夕方頃よりKT38.3	平成27年11月8日	2	評価不能	重くない	平成27年11月9日	未回復
67	4	男	平成27年11月6日	インフルエンザ	HA152C	阪大微研	なし		タマゴアレルギー	発疹、かゆみ	平成27年11月6日	0	評価不能	重くない	平成27年11月6日	軽快
68	26	女	平成27年11月6日	インフルエンザ	HK24C	阪大微研	なし		なし	発熱、全身倦怠感、関節痛、上腕全体の腫脹	平成27年11月7日	1	関連あり	重くない	平成27年11月10日	軽快
69	4	女	平成27年11月6日	インフルエンザ	543-B	デンカ	なし		軽微な感冒症状あり。クラバモックス内服後に 発疹出現(1回のみのエピソードであり、因果関係は不明)	接種部腫脹	平成27年11月7日	1	関連あり	重くない	平成27年11月9日	軽快
70	68	男	平成27年11月6日	インフルエンザ	HA149E	阪大微研	なし		なし	発疹	平成27年11月7日	1	評価不能	重くない	平成27年11月14日	未回復
71	5	女	平成27年11月6日	インフルエンザ	390B	化血研	なし		なし	全身かゆみと発疹が出て、手がかゆい	平成27年11月6日	0	関連あり	重くない	平成27年11月7日	軽快
72	33	女	平成27年11月6日	インフルエンザ	535-A	デンカ	なし		なし	末梢神経障害	平成27年11月13日	7	評価不能	記載なし	不明	不明
73	32	女	平成27年11月6日	インフルエンザ	533-B	デンカ	なし		なし	接種後すぐに左上腕から肘まで腫 脹、痛みあり、夜間、激しい咳、胸・背 部痛、呼吸苦、咳喘息、肋骨にズレ	平成27年11月6日	0	関連あり	重くない	平成28年1月20日	軽快
74	56	男	平成27年11月7日	インフルエンザ	FB082B	北里第一三共	なし		なし	発熱38℃～38.8℃	平成27年11月8日	1	関連あり	重くない	平成27年11月9日	回復
75	11	男	平成27年11月7日	インフルエンザ	HA156B	阪大微研	なし		なし	アナフィラキシー	平成27年11月7日	0	評価不能	重くない	平成27年11月7日 午後0時	回復
76	8	男	平成27年11月7日	インフルエンザ	HA156B	阪大微研	なし		なし	アナフィラキシー	平成27年11月7日	0	評価不能	重くない	平成27年11月7日	回復
77	23	男	平成27年11月7日	インフルエンザ	391B	化血研	なし		なし	発熱	平成27年11月7日	0	関連あり	重くない	平成27年11月10日	回復
78	85	女	平成27年11月9日	インフルエンザ	545-A	デンカ	なし		なし	嘔吐	平成27年11月9日	0	評価不能	重くない	平成27年11月10日	軽快
79	3	女	平成27年11月9日	インフルエンザ	386C	化血研	なし		なし	注射部位を中心に上腕より肘をこえ て発赤、腫脹が出現	平成27年11月10日	1	関連あり	重くない	平成27年11月11日	軽快
80	26	女	平成27年11月9日	インフルエンザ	HA152E	阪大微研	なし		不明	接種後4時間で全身にじんま疹出現	平成27年11月9日	0	関連あり	重くない	平成27年11月11日	軽快
81	78	男	平成27年11月9日	インフルエンザ	385B	化血研	なし		なし	両眼結膜炎、眼瞼皮フ炎	平成27年11月10日	1	関連あり	重くない	平成27年11月16日	回復
82	37	女	平成27年11月9日	インフルエンザ	386B	化血研	なし		なし	肘をこえる局所の腫脹	不明	不明	関連あり	重くない	平成27年11月14日	回復
83	8	男	平成27年11月9日	インフルエンザ	391A	化血研	なし		脳性マヒ、今までのインフルエンザ接種でH20年 しこりが少し出た程度でした。	顔面神経麻痺(左)の疑い	平成27年11月13日	4	関連あり	重くない	平成27年11月24日	未回復
84	5	男	平成27年11月10日	インフルエンザ	HA152A	阪大微研	なし		2才時にインフルエンザワクチン後に2回とも発 熱と接種部位の発赤腫脹があったため、その後 は同ワクチンは接種していなかった。今年2回イ ンフルエンザウイルス肺炎で入院したため、副 反応は予想されるものの予防のためワクチンを 希望された。	蜂巣炎	平成27年11月10日	0	関連あり	重くない	平成27年11月11日	未回復
85	37	女	平成27年11月10日	インフルエンザ	536-B	デンカ	なし		・アトピー性皮膚炎 ・花粉症 ・トラムセット(めまい、立ちくらみあり)	嘔吐	平成27年11月10日	0	関連あり	重くない	平成27年11月11日	回復
86	27	男	平成27年11月10日	インフルエンザ	不明	化血研	なし		なし	発熱	平成27年11月11日	1	記載なし	重くない	平成27年11月12日	回復

No	年齢	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	製造販売業者名	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生までの日数	因果関係 (報告医評価)	重篤度 (報告医評価)	転帰日	転帰内容
87	3	男	平成27年11月10日	インフルエンザ	548-B	デンカ	なし		なし	左上肢全体の腫脹	平成27年11月10日	0	関連あり	重くない	平成27年11月17日	軽快
88	35	女	平成27年11月10日	インフルエンザ	FB081B	北里第一三共	なし		なし	顔面・口唇の浮腫、眼球充血	平成27年11月10日	0	記載なし	重くない	平成27年11月11日	回復
89	23	女	平成27年11月10日	インフルエンザ	FB080C	北里第一三共	なし		なし	皮疹	平成27年11月12日	2	関連あり	重くない	平成27年11月25日	軽快
90	82	女	平成27年11月10日	インフルエンザ	538-B	デンカ	なし		なし	発熱、鼻汁、咳嗽、呂律緩慢、下肢筋力低下	平成27年11月10日	0	評価不能	重くない	平成27年12月5日	未回復
91	2	男	平成27年11月10日 平成27年12月10日	インフルエンザ	HA150E、 HA150E	阪大微研	なし		なし	①熱発38.4、接種部位の発赤、腫脹 ②熱発、接種部位の腫脹	①平成27年11月11日 ②平成27年12月11日	1	関連あり	重くない	①平成27年11月14日 ②平成27年12月14日	①軽快 ②不明
92	18	男	平成27年11月11日	インフルエンザ	538-B	デンカ	なし		なし	血管迷走神経反射	平成27年11月11日	0	関連あり	重くない	平成27年11月11日	回復
93	55	女	平成27年11月11日	インフルエンザ	HA152B	阪大微研	なし		なし	発疹	平成27年11月13日	2	評価不能	重くない	不明	不明
94	44	女	平成27年11月11日	インフルエンザ	HA153D	阪大微研	なし		なし	接種後約30分後より胸部圧迫感	平成27年11月11日	0	評価不能	重くない	平成27年11月11日	回復
95	3	男	平成27年11月11日	インフルエンザ	390B	化血研	なし		なし	発赤、腫脹	平成27年11月12日	1	関連あり	重くない	平成27年11月13日	未回復
96	66	男	平成27年11月11日	インフルエンザ	HA155B	阪大微研	なし		便秘症、頻尿、逆流性胃炎など 内服 ベタニス、フリバス、マグラックス、センソジド、ランソプラゾール、ウルソデオキシコール、メイラックス	左足に異和感、左足のいたみ、張った感じあり。右足にもはった感じあり、左手親指付近に内出血+腫れ	平成27年11月11日	0	関連あり	重くない	平成27年11月17日	軽快
97	3	男	平成27年11月11日	インフルエンザ	389C	化血研	なし		卵アレルギー+	発熱、腫脹++	平成27年11月12日	1	関連あり	重くない	不明	回復
98	48	女	平成27年11月11日	インフルエンザ	FM040A	北里第一三共	なし		なし	両側眼瞼部の掻痒があり、その後浮腫あり、口唇の腫脹	平成27年11月11日	0	関連あり	重くない	平成27年11月16日	回復
99	34	女	平成27年11月11日	インフルエンザ	385B	化血研	なし		なし	注射部位の腫脹、倦怠感、肩こり、首の痛み、腕の痛み、下痢の症状	平成27年11月11日	0	関連あり	重くない	不明	不明
100	12	女	平成27年11月11日	インフルエンザ	HA150B	阪大微研	なし		同年10月14日に2種混合ワクチン接種。薬、食品でのアレルギー歴なし。	上半身(腹部～胸部と背部)に発赤疹出現。掻痒感強い。	平成27年11月11日	0	評価不能	重くない	平成27年11月30日	不明
101	69	女	平成27年11月12日	インフルエンザ	543-A	デンカ	なし		アレルギー性鼻炎	予防接種部中心に発赤、腫脹	平成27年11月12日	0	関連あり	重くない	不明	不明
102	81	女	平成27年11月12日	インフルエンザ	HA154E	阪大微研	なし		糖尿病、高血圧症、結核性腹膜炎、子宮癌術后	全身の掻痒感	平成27年11月13日	1	関連あり	重くない	不明	軽快
103	5	男	平成27年11月13日	インフルエンザ	391A	化血研	なし		なし	接種した腕(上腕)がバインバンに腫れてきて、全身にじんま疹(発疹)が出現、発疹出現時37.1℃だった、嘔吐、嘔吐時顔面蒼白になり口唇も腫れていた	平成27年11月13日	0	関連あり	重くない	平成27年11月14日	軽快
104	3	女	平成27年11月13日	インフルエンザ	543-A	デンカ	なし		ヒブ、ブレベナー、日脳でも発熱	紅斑上に水疱	平成27年11月14日	1	関連あり	重くない	平成27年11月17日	回復
105	3	女	平成27年11月13日	インフルエンザ	386A	化血研	なし		喘息+、アトピー(軽度)+、今までのインフルエンザワクチンでは特に異常なし	接種側指先までの発赤、腫脹、熱感	平成27年11月14日	1	関連あり	重くない	平成27年11月19日	回復
106	90	男	平成27年11月13日	インフルエンザ	395B	化血研	なし		心房細動、慢性心不全、COPD(HOT)	顔面蒼白、冷汗、嘔気、嘔吐	平成27年11月13日	0	関連あり	重くない	平成27年11月13日	回復
107	33	女	平成27年11月13日	インフルエンザ	389A	化血研	なし		なし	腕の痺れ	平成27年11月13日	0	関連あり	重くない	平成27年12月9日	不明
108	6	男	平成27年11月14日	インフルエンザ	390A	化血研	なし		最近1ヵ月以内に病氣(カゼ)にかかった。	蜂巣炎	平成27年11月15日	1	関連あり	重くない	不明	不明

No	年齢	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	製造販売業者名	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生までの日数	因果関係 (報告医評価)	重篤度 (報告医評価)	転帰日	転帰内容
109	1	女	平成27年11月14日	インフルエンザ	FM038D	北里第一三共	なし		なし	発熱、嘔吐	平成27年11月14日	0	評価不能	重くない	不明	不明
110	7	女	平成27年11月14日	インフルエンザ	392A	化血研	なし		なし	尋麻疹様湿疹	平成27年11月20日	6	評価不能	重くない	平成27年11月25日 軽快傾向	軽快
111	6	男	平成27年11月14日	インフルエンザ	548-B	デンカ	なし		牛乳アレルギー	蜂巣炎	平成27年11月14日	0	評価不能	重くない	平成27年11月25日	回復
112	3	女	平成27年11月16日	インフルエンザ	547-B	デンカ	なし		なし	生あくび、嘔吐、口唇色すぐれず	平成27年11月16日	0	評価不能	重くない	平成27年11月16日	回復
113	50	女	平成27年11月16日	インフルエンザ	HA149B	阪大微研	なし		なし	かゆみ、発赤	平成27年11月16日	0	関連あり	重くない	平成27年11月21日	軽快
114	16	男	平成27年11月16日	インフルエンザ	395B	化血研	なし		なし	蜂窩織炎	平成27年11月17日	1	関連あり	重くない	不明	軽快
115	30	男	平成27年11月16日	インフルエンザ	HA153C	阪大微研	なし		なし	微熱、全身発赤	平成27年11月17日	1	関連あり	重くない	不明	不明
116	71	男	平成27年11月16日	インフルエンザ	HE53A	阪大微研	なし		脳梗塞後高血圧症	皮膚粘膜眼症候群	平成27年11月18日	2	関連あり	重くない	平成27年11月27日	回復
117	29	女	平成27年11月16日	インフルエンザ	392B	化血研	なし		慢性尋麻疹	アナフィラキシーの疑い	平成27年11月16日	0	関連あり	重くない	平成27年11月16日	回復
118	43	女	平成27年11月17日	インフルエンザ	HK27A	阪大微研	なし		インフルエンザ予防	発赤疹	平成27年11月17日	0	関連あり	重くない	平成27年11月17日	軽快
119	7	女	平成27年11月17日	インフルエンザ	不明	化血研	なし		クレチン症、喘息様気管支炎 2009年入院あり	アナフィラキシー	平成27年11月17日	0	記載なし	重くない	不明	回復
120	83	男	平成27年11月17日	インフルエンザ	292A	化血研	なし		なし	顔面浮腫、38.0℃を超える発熱	平成27年11月19日	2	評価不能	重くない	平成27年11月20日	軽快
121	66	女	平成27年11月18日	インフルエンザ	FM037A	北里第一三共	なし		なし	吐気	平成27年11月18日	0	関連あり	重くない	平成27年11月18日	回復
122	16	男	平成27年11月18日	インフルエンザ	396B	化血研	なし		なし	(血管)迷走神経反射	平成27年11月18日	0	関連なし	重くない	平成27年11月18日	回復
123	34	男	平成27年11月18日	インフルエンザ	536-A	デンカ	なし		なし	頭痛、嘔吐	平成27年11月18日	0	記載なし	重くない	平成27年11月19日	回復
124	28	女	平成27年11月18日	インフルエンザ	393B	化血研	なし		なし	紅斑、熱感、疼痛、腫脹、掻痒感	平成27年11月18日	0	関連あり	重くない	平成27年11月26日	軽快
125	66	男	平成27年11月19日	インフルエンザ	HK25A	阪大微研	なし		なし	両眼瞼の腫脹感、左前腕屈側の1mm程度の皮疹(数ヶ所)	平成27年11月19日	0	関連あり	重くない	平成27年11月19日	回復
126	27	男	平成27年11月19日	インフルエンザ	HA157E	阪大微研	なし		なし	血管迷走神経反射、顔面蒼白、冷汗、BP80/39、HR40/分	平成27年11月19日	0	評価不能	重くない	平成27年11月19日	回復
127	35	男	平成27年11月19日	インフルエンザ	HK25D	阪大微研	なし		なし	末梢神経障害	平成27年11月20日	1	関連あり	重くない	平成27年12月1日	未回復
128	65	男	平成27年11月19日	インフルエンザ	540-A	デンカ	なし		糖尿病	左橈骨神経	平成27年11月20日	1	評価不能	重くない	平成27年12月7日	軽快
129	4	男	平成27年11月19日	インフルエンザ	389C	化血研	なし		2015年10月に肺炎球菌ワクチンで発熱	嘔吐	平成27年11月20日	1	評価不能	重くない	不明	不明
130	8	男	平成27年11月20日	インフルエンザ	HA155C	阪大微研	なし		0歳 大動脈縮窄複合手術	血管迷走神経反射疑い	平成27年11月20日	0	評価不能	重くない	平成27年11月20日	軽快
131	41	女	平成27年11月20日	インフルエンザ	397B	化血研	なし		なし	局所の腫脹、接種部～手関節部に違和感、肘屈曲で上肢外側に(筋肉痛様と本人は言う)痛み	平成27年11月21日	1	関連あり	重くない	不明	不明

No	年齢	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	製造販売業者名	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生までの日数	因果関係 (報告医評価)	重篤度 (報告医評価)	転帰日	転帰内容
132	41	女	平成27年11月20日	インフルエンザ	393C	化血研	なし		なし	末梢神経障害、左手指、前腕内側、手掌部のしびれ	平成27年11月20日	0	評価不能	重くない	平成27年12月11日	軽快
133	70	男	平成27年11月20日	インフルエンザ	537-A	デンカ	なし		なし	肝機能障害、じんま疹	平成27年11月23日	3	評価不能	重くない	不明	不明
134	19	男	平成27年11月21日	インフルエンザ	396B	化血研	なし		なし	フラツと倒れそうになり、顔面蒼白、BP 78/43、P=52、気分不良	平成27年11月21日	0	関連あり	重くない	平成27年11月21日	回復
135	4	男	平成27年11月21日	インフルエンザ	392B	化血研	なし		今回ワクチン接種後に全身性の尋麻疹出現あり。	アレルギー性紫斑病	平成27年12月1日	10	関連あり	重くない	平成28年1月12日	軽快
136	61	女	平成27年11月24日	インフルエンザ	FB083B	北里第一三共	なし		高脂血症、コレステロール117/1×内服中。熱性けいれん(幼少の頃)	尋麻疹	平成27年11月25日	1	記載なし	重くない	平成27年11月30日	不明
137	71	女	平成27年11月24日	インフルエンザ	HA155B	阪大微研	なし		なし	血管炎	平成27年11月24日	0	関連あり	重くない	平成27年11月28日	回復
138	5	男	平成27年11月25日	インフルエンザ	396A	化血研	なし		インフルワクチンにて発赤あり 今回、肘下にまで発赤腫脹あり。	注射部位の発赤、腫脹、痛み、発熱	平成27年11月25日～26日	0	関連あり	重くない	平成27年11月27日	未回復
139	52	女	平成27年11月25日	インフルエンザ	537-A	デンカ	なし		喘息、不整脈 ヨーグルト(発疹) HBワクチン→発熱、下痢、嘔吐→入院	全身(部分的に移動)発赤、掻痒感、声がれ	平成27年11月26日 or27日	1	関連あり	重くない	平成27年12月14日	軽快
140	50	女	平成27年11月26日	インフルエンザ	HA157A	阪大微研	なし		なし	咳嗽	平成27年11月26日	0	関連あり	重くない	平成27年12月1日	軽快
141	68	女	平成27年11月27日	インフルエンザ	398A	化血研	なし		なし	注射部位(左上腕)を中心にΦ6cmの発赤、腫脹あり。掻痒感あり。	平成27年11月30日	3	関連あり	重くない	平成27年11月30日	未回復
142	3	男	平成27年11月28日	インフルエンザ	HK26A	阪大微研	なし		なし	肘を超える局所の異常腫脹	平成27年11月28日	0	関連あり	重くない	平成27年11月30日	軽快
143	79	女	平成27年11月28日	インフルエンザ	385B	化血研	なし		糖尿病で内服あり	発熱、全身倦怠感	平成27年11月29日	1	関連あり	重くない	平成27年11月30日	回復
144	41	男	平成27年11月28日	インフルエンザ	388B	化血研	なし		なし	一過性の高熱	平成27年11月28日	0	関連あり	重くない	平成27年12月5日	回復
145	76	男	平成27年11月28日	インフルエンザ	549-A	デンカ	なし		ひきつけを起こしたことあり	右下頸部痛	平成27年12月初旬	-	評価不能	重くない	不明	不明
146	62	女	平成27年11月30日	インフルエンザ	552-A	デンカ	なし		降圧薬服用中。パセドウ病の既往あり。	高血圧	平成27年11月30日	0	評価不能	重くない	平成27年11月30日	軽快
147	16	女	平成27年11月30日	インフルエンザ	HA159A	阪大微研	なし		なし	血管迷走神経反射	平成27年11月30日	0	関連あり	重くない	平成27年11月30日	回復
148	4	男	平成27年11月30日	インフルエンザ	HA151E	阪大微研	なし		なし	全身の発疹、アナフィラキシー	平成27年11月30日	0	関連あり	重くない	平成27年11月30日	回復
149	9	女	平成27年11月30日	インフルエンザ	392A	化血研	なし		なし	顔や腕 足等全身にかゆみを伴う発疹	平成27年12月2日	2	評価不能	重くない	不明	不明
150	42	女	平成27年11月30日	インフルエンザ	399B	化血研	なし		なし	左腕全体の重だるい感じ	平成27年11月30日	0	記載なし	記載なし	不明	不明
151	47	女	平成27年11月30日	インフルエンザ	552-B	デンカ	なし		特記すべきことなし	回転性めまい	平成27年11月30日	0	関連あり	重くない	平成27年12月10日	軽快
152	7	男	平成27年11月30日	インフルエンザ	389B	化血研	なし		数年来、化血研のインフルエンザワクチンを接種してきたが、2014年度の接種時に腫脹が強かった	肘を超える局所の異常腫脹	平成27年12月7日	7	関連あり	重くない	平成27年12月7日	回復
153	39	男	平成27年11月30日	インフルエンザ	547-A	デンカ	なし		上腕外側下1/3部 12/25チェック時部位不明	筋肉痛	平成27年12月5日?	5	記載なし	重くない	平成27年12月28日 来院せず	不明
154	23	女	平成27年12月1日	インフルエンザ	FB084A	北里第一三共	なし		なし	ふらつき、血圧測定の結果83/38と接種前より20程度低下	平成27年12月1日	0	評価不能	重くない	平成27年12月1日	回復

No	年齢	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	製造販売業者名	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生までの日数	因果関係 (報告医評価)	重篤度 (報告医評価)	転帰日	転帰内容
155	43	女	平成27年12月1日	インフルエンザ	HA157B	阪大微研	なし		花粉症 他なし、卵アレルギーなし	ワクチン接種後すぐにかゆみ出現、 頭部から耳後方かけて発疹	平成27年12月1日	0	関連あり	重くない	平成27年12月1日	回復
156	47	女	平成27年12月1日	インフルエンザ	HA155B	阪大微研	なし		なし	注射部位紅斑	平成27年12月4日	3	関連あり	重くない	不明	不明
157	58	女	平成27年12月2日	インフルエンザ	389A	化血研	なし		なし	頭痛、嘔吐	平成27年12月3日	1	関連あり	重くない	平成27年12月7日	軽快
158	68	男	平成27年12月2日	インフルエンザ	HA155A	阪大微研	なし		なし	末梢神経障害	平成27年12月2日	0	関連あり	重くない	不明	未回復
159	37	女	平成27年12月4日	インフルエンザ	396C	化血研	なし		ツムラ37半夏白朮天麻湯でじんましの既往あり	口唇が腫れ、咽頭がかゆくなり、息苦しくなった、接種部は5cm径の皮膚発赤	平成27年12月4日	0	関連あり	重くない	平成27年12月7日	回復
160	38	女	平成27年12月4日	インフルエンザ	385B	化血研	なし		なし	38℃台の発熱、頭痛(頸部痛)、嘔気	平成27年12月5日	1	関連あり	重くない	平成27年12月10日	軽快
161	38	男	平成27年12月5日	インフルエンザ	HA158B	阪大微研	なし		なし	両手指の痺れ	平成27年12月5日	0	評価不能	重くない	不明	不明
162	76	女	平成27年12月7日	インフルエンザ	HA157E	阪大微研	なし		甲状腺癌術後のため甲状腺ホルモン補充療法を行なっている(チラージンス錠)。	尋麻疹	平成27年12月8日	1	関連あり	重くない	平成27年12月10日	回復
163	16	男	平成27年12月7日	インフルエンザ	398B	化血研	なし		気管支喘息(キプレス、オルベスコ 内服中) やや心因性の要素があるそうです(他院情報)	末梢神経障害	平成27年12月7日	0	記載なし	重くない	平成27年12月14日 時点	未回復
164	79	女	平成27年12月7日	インフルエンザ	HA154D	阪大微研	なし		コロナール錠、PL配合顆粒にて不明熱の可能性あり	37℃台の長期発熱、接種後18日以上継続	平成27年12月10日	3	評価不能	重くない	不明	未回復
165	26	女	平成27年12月8日	インフルエンザ	HA156E	阪大微研	なし		なし	発熱、関節痛	平成27年12月8日	0	評価不能	重くない	平成27年12月10日	軽快
166	75	男	平成27年12月8日	インフルエンザ	553-A	デンカ	なし		現在糖尿病で、治療(投薬など)を受けている。 これまでにインフルエンザの予防接種を受けたことがある。	皮疹	平成27年12月9日	1	関連あり	重くない	不明	不明
167	6	男	平成27年12月8日	インフルエンザ	396A	化血研	なし		貧血(フェロミア内服中) 今回受けるインフルエンザ予防接種は今シーズン2回目である。 平成26年2月頃(に)間質性肺炎や気管支喘息等の呼吸器系疾患と診断されたことがある。現在治療していない。 これまでに肺炎球菌の予防接種を受けて発熱したことがある。	アナフィラキシー	平成27年12月8日	0	関連あり	重くない	不明	不明
168	47	男	平成27年12月9日	インフルエンザ	FB082C	北里第一三共	なし		なし	湿疹、かゆみ	平成27年12月9日	0	関連あり	重くない	平成28年1月18日	軽快
169	28	女	平成27年12月10日	インフルエンザ	HA152A	阪大微研	なし		なし	急性胃腸炎様症状	平成27年12月10日	0	評価不能	重くない	平成27年12月14日	軽快
170	6	女	平成27年12月10日	インフルエンザ	396A	化血研	なし		なし	全身性じんま疹	平成27年12月10日	0	評価不能	重くない	不明	回復
171	28	女	平成27年12月11日	インフルエンザ	386A	化血研	なし		多のう胞性卵巣症候群	血管迷走神経反射、血圧低下、徐脈	平成27年12月11日	0	評価不能	重くない	平成27年12月11日	回復
172	76	女	平成27年12月11日	インフルエンザ	396C	化血研	なし		なし	じん麻疹	平成27年12月11日	0	評価不能	重くない	平成28年1月14日	軽快
173	59	女	平成27年12月11日	インフルエンザ	556-B	デンカ	なし		なし	神経症状痛	平成27年12月11日	0	評価不能	重くない	平成28年4月11日	軽快
174	15	女	平成27年12月12日	インフルエンザ	396C	化血研	なし		尋麻疹	注射部位疼痛、注射部位腫脹、感覚鈍麻、四肢痛、末梢性浮腫、皮膚変色	平成27年12月12日	0	関連あり	重くない	平成27年12月22日	回復
175	15	男	平成27年12月12日	インフルエンザ	HA158B	阪大微研	なし		なし	知覚異常	平成27年12月12日	0	関連あり	重くない	平成27年12月12日	軽快

No	年齢	性別	接種日	ワクチン名	ロット番号	製造販売業者名	同時接種	同時接種ワクチン	基礎疾患等	症状名	発生日	接種から症状発生までの日数	因果関係 (報告医評価)	重篤度 (報告医評価)	転帰日	転帰内容
176	9	男	平成27年12月14日	インフルエンザ	FB084B	北里第一三共	なし		なし	じんま疹	平成27年12月14日	0	関連あり	重くない	平成27年12月15日	軽快
177	9	男	平成27年12月18日	インフルエンザ	556-B	デンカ	なし		なし	接種部の腫脹	平成27年12月19日	1	関連あり	重くない	不明	不明
178	75	女	平成27年12月18日	インフルエンザ	398A	化血研	なし		レックリングハウゼン病あり	全身に丘疹、かゆみ+	平成27年12月19日	1	関連あり	重くない	不明	不明
179	35	女	平成27年12月18日	インフルエンザ	556-A	デンカ	なし		慢性蕁麻疹、逆流性食道炎、エビナスチン、ネキシウム服用中。	左上腕(ワクチン接種部位)の発赤、腫脹と痛み、左前腕外側と手関節の痛み	平成27年12月18日	0	関連あり	重くない	平成28年2月20日	軽快
180	6	男	平成28年1月12日	インフルエンザ	不明	化血研	なし		なし	接種部位の腫脹	平成28年1月13日	1	記載なし	重くない	不明	不明
181	47	女	平成28年1月31日	インフルエンザ	533-A	デンカ	なし		なし	注射部の炎症とその後の疼痛	平成28年1月31日	0	関連あり	重くない	不明	不明
182	75	女	平成28年2月6日	インフルエンザ	FB083C	北里第一三共	なし		なし	接種部の腫脹	平成28年2月7日	1	関連あり	重くない	平成28年2月12日	軽快
183	72	女	不明	インフルエンザ	不明	不明	なし		不明	鼻汁、左頬部痛	平成27年11月28日	不明	評価不能	重くない	平成27年12月5日	軽快
184	35	男	不明	インフルエンザ	HK25D	阪大微研	なし		なし	倦怠感	平成27年12月14日	不明	記載なし	記載なし	不明	不明
185	85	女	平成27年10月24日	ニューモバックスNP	9MR07R	MSD	あり	インフルエンザ(デンカ、540-B)	2日前腹痛	発熱、右前腕～上腕に到る発赤、熱感、腫脹	平成27年10月24日	0	関連あり	重くない	平成27年11月24日	回復
186	70	男	平成27年11月7日	ニューモバックスNP	9MR06R	MSD	あり	インフルエンザ(阪大微研、HA155B)	なし	接種部位～肘の上まで腫脹、手首(左ニューモバックス接種部位)まで腫脹、痛み	平成27年11月8日	1	関連あり	重くない	不明	不明
187	1	女	平成27年11月27日	MR	Y194	武田薬品工業	あり	おたふくかぜ(武田薬品工業、G601) 水痘(阪大微研、VZ141) インフルエンザ(阪大微研、HA154C)	5種類のワクチンを接種した時 熱がでた	ワクチン接種後の12月2日から熱がでて、解熱後の5日に発疹が出現した。	平成27年12月5日	8	評価不能	重くない	平成27年12月7日	軽快
188	1	女	平成28年2月12日	プレベナー13	14J02A	ファイザー	あり	水痘(阪大微研、VZ165) インフルエンザ(デンカ、533-A)	早産児	皮フびらん	平成28年2月12日	0	関連あり	重くない	平成28年2月26日	回復

※複数の製造販売業者から重複して報告されている症例が含まれている可能性がある。

インフルエンザワクチンの副反応報告
アナフィラキシーの可能性のある症例についてのブライトン分類評価

	ロット番号	出荷数量(万回(接種回数))	報告数[重篤]	レベル3以上の報告数[重篤] (専門委員評価を加えたもの)	レベル3以上の報告頻度[重篤] (報告数/10万回)
北里研	FB080D	28.1	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	FB082B	27.6	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	FM038B	13.5	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	FM038C	12.3	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	FM038D	10.1	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	FM039A	17.7	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	FM040B	18.9	1 [1]	1 [1]	0.5 [0.5]
	FM040C	16.3	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
化血研	385A	39.5	1 [1]	1 [1]	0.3 [0.3]
	386A	39.5	1 [0]	0 [0]	0.0 [0.0]
	387A	39.5	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	391A	39.8	1 [1]	1 [0]	0.3 [0.0]
	391B	39.9	1 [1]	1 [1]	0.3 [0.3]
	392B	39.9	1 [0]	1 [0]	0.3 [0.0]
	392C	22.4	1 [0]	1 [0]	0.4 [0.0]
	393B	39.9	1 [1]	1 [1]	0.3 [0.3]
	396A	39.8	1 [0]	0 [0]	0.0 [0.0]
	396C	23.2	1 [0]	0 [0]	0.0 [0.0]
デンカ生研	535-B	34.6	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	537-A	34.6	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	537-B	34.8	2 [1]	1 [1]	0.3 [0.3]
	539-A	34.6	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	540-A	34.6	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	540-B	34.6	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
微研会	HA149C	27.2	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	HA149E	27.7	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	HA151E	28.1	1 [0]	0 [0]	0.0 [0.0]
	HA153A	28.0	1 [0]	1 [0]	0.4 [0.0]
	HA154E	28.2	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	HA156B	28.1	2 [0]	0 [0]	0.0 [0.0]
	HA157A	28.0	1 [0]	0 [0]	0.0 [0.0]
	HA157B	28.1	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	HE51A	16.3	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
合計		955.4	35 [24]	9 [5]	0.1 [0.1]

※ロット番号不明の症例を含めて、頻度を算出した。

・2016年4月30日までに入手した情報について、ブライトン分類に基づき企業評価を実施、専門家の評価を加えたもの。

・追加情報の入手や症状の評価及び解釈などにより変更される可能性がある。

過去のワクチンのアナフィラキシーの報告頻度
インフルエンザワクチン(平成26年10月～平成27年6月報告分)
(平成27年11月27日調査会資料より)

	ロット番号	出荷数量(万回(接種回数))	報告数[重篤]	レベル3以上の報告数[重篤] (専門委員評価を加えたもの)	レベル3以上の報告頻度[重篤] (報告数/10万回)
北里研	FB076C	27.8	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	FB076D	27.7	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	FB077A	28.5	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	FM032D	12.3	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	FM034A	15.8	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	FM036B	15.7	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	FL006A	10.3	1 [1]	1 [1]	1.0 [1.0]
化血研	368A	43.6	2 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	370B	39.8	1 [0]	0 [0]	0.0 [0.0]
	371A	39.8	1 [1]	1 [1]	0.3 [0.3]
	373A	20.2	1 [1]	1 [1]	0.5 [0.5]
	373C	44.6	1 [0]	1 [0]	0.2 [0.0]
	375A	39.8	1 [1]	1 [1]	0.3 [0.3]
	376C	22.8	1 [0]	1 [0]	0.4 [0.0]
	378A	39.8	1 [0]	1 [0]	0.3 [0.0]
	378B	40.0	1 [0]	1 [0]	0.3 [0.0]
	382A	39.8	2 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
デンカ生研	509-B	34.6	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
	514-A	34.4	1 [1]	1 [1]	0.3 [0.3]
	518-A	34.4	1 [1]	1 [1]	0.3 [0.3]
	526-B	34.6	3 [3]	0 [0]	0.0 [0.0]
	529-B	34.6	1 [0]	0 [0]	0.0 [0.0]
	530-B	32.8	1 [1]	0 [0]	0.0 [0.0]
微研会	HA138A	27.8	1 [0]	0 [0]	0.0 [0.0]
合計		741.5	28 [19]	10 [6]	0.1 [0.1]

・2015年6月30日までに入手した情報について、ブライトン分類に基づき企業評価を実施、専門家の評価を加えたもの。

・追加情報の入手や症状の評価及び解釈などにより変更される可能性がある。

ワクチン接種後のアナフィラキシー(※)が疑われる症例

※【選択基準】
症状名が、「アナフィラキシー」、「アナフィラキシー反応」、「アナフィラキシーショック」、「アナフィラキシー様反応」、「アナフィラキシー様ショック」として報告された症例。

平成27年10月1日～平成28年4月30日入手分まで

* 平成28年4月12日の調査会資料に掲載している症例										下線部：平成28年4月12日の調査会時から、新たに情報が追加された箇所			
No.	No.	年齢・性別	基礎疾患等	経過	症状名	ロット	転帰	ブライトン 分類レベル (企業評価)	専門家の評価			事務局総合評価	
									ブライトン分類 レベル	因果関係	意見		
微研-1	1* 医 重 No.22	18歳・女性	アトピー性皮膚炎	接種前の体温36.5℃。インフルエンザHAワクチン1回目接種直後、1～2分の痙攣、10分間の意識消失、顔面に薬疹、浮腫が発現。当日中に回復。	アナフィラキシーショク	HA149E	回復	4	○A委員：4 ○B委員：5 ○C委員：4	○A委員：因果関係は否定できない ○B委員：因果関係は否定できない ○C委員：因果関係は否定できない	○A委員：十分な情報がなく、症例定義に合致するかどうか判断できない。 ○B委員：アナフィラキシーでは接種直後に痙攣はしないと思われ、迷走神経反射が疑われるが、顔面の発疹が薬疹として矛盾しないものであれば、その症状はアレルギー反応の可能性はある。	アナフィラキシーとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。	
微研-2	2* 医 非 No.40	4歳・女性	なし	接種前の体温36.9℃。インフルエンザHAワクチン1回目接種約1時間後、注射部位腫脹、咳嗽、喘鳴が発現。入浴後、悪化したため再来院。来院時、喘鳴著明、SpO ₂ 96～97%、注射部位腫脹、顔面に軽度の蕁麻疹を認めた。吸入、抗アレルギー剤、ステロイドを服用。接種2日後、軽快した。	アナフィラキシーショック 注射部位腫脹 咳嗽 喘鳴 蕁麻疹	HA153A	軽快	5	○A委員：2または5 ○B委員：1 ○C委員：1	○A委員：因果関係は否定できない ○B委員：因果関係は否定できない ○C委員：因果関係は否定できない	○A委員：喘鳴を呼吸器症状のMajor基準に該当する。蕁麻疹は認められるが、顔面に軽度であり、全身でも接種局所でもないため、厳密には皮膚症状は該当しないため、アナフィラキシーとは判断できない。 ○B委員：アナフィラキシーと考える。	ブライトン分類3以上のアナフィラキシー症例。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。	
微研-3	3* 医 重 No.42	60歳・女性	既往歴：口唇腫脹（卵アレルギーの疑い）、甲状腺機能亢進症、子宮平滑筋腫、胃腺腫 合併症：高血圧、脂質異常症、腎炎、慢性腎臓病、副甲状腺機能亢進症	接種2時間前より、A病院にて血液透析開始。接種前の体温36.1℃。血液透析中、右腕にインフルエンザHAワクチン1回目を接種。接種後、血圧150/89mmHg、脈拍数75回/分。 接種1時間後、気分不快が発現。血圧163/74mmHg、心拍数99回/分。徐水off。生食100mL補液するが症状変わらず、血液透析終了。体のふるえ、息苦しさあり。SpO ₂ 99%、呼吸数18回/分、血圧188/76mmHg、体温36.7℃、意識レベルクリア。 接種1時間半後、グリチルリチン・グリシン・L-システイン20mLを静注投与し、ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム250mg+生食100mLを点滴静注投与。 心拍数114回/分、O ₂ =3Lマスク開始。一時的に体のふるえ、息苦しさ軽減するが、状態おちつかず。 接種2時間後、ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム250mg+生食50mLを点滴静注投与。O ₂ 投与終了。 接種2時間45分後、体温36.5℃、脈拍110回/分、血圧158/89mmHg、SpO ₂ 99%。症状改善せず。 接種2時間半後、B病院へ救急車にて搬送。 接種7時間半後、状態がおちついたため、帰宅。 接種2日後、血液透析開始。 透析開始45分後、悪寒、体のふるえが発現。何となく息苦しいと訴えあり。血圧 175/96mmHg、脈拍99回/分、体温36.6℃、SpO ₂ 99%。 診察後、血液透析終了し、翌日の透析予定となる。ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム250mg+生食50mLを点滴静注投与。 プレドニゾン5mg 2錠3日分を処方。 その後息苦しさ軽減。血圧146/87mmHg、脈拍83回/分、体温37.8℃、SpO ₂ 99%。 透析開始4時間半後、状態おちつき帰宅。 接種5日後、プレドニゾン5mg 1錠3日分を処方。	アナフィラキシー反応	HA154E	軽快	5	○A委員：5 ○B委員：5 ○C委員：5	○A委員：因果関係は否定できない ○B委員：因果関係は情報不足で評価できない ○C委員：因果関係は不明	○A委員：記載されている呼吸器症状だけでは、診断の必須条件を満たさない。 ○B委員：接種前後の記載しかなく、基礎疾患の状態や平素の状態が不明なため、評価できないが、アナフィラキシーでないことは言えると考える。	アナフィラキシーとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は不明。	
微研-4	4* 医 非 No.75	11歳・男性	なし	接種前の体温36.3℃。インフルエンザHAワクチン接種2分後に意識消失となった。血圧70mmHg。 約1分後に意識回復。 1時間病室で経過観察し、異常なく帰宅。帰宅後も異常なし。	アナフィラキシー反応	HA156B	回復	5	○A委員：5 ○B委員：5 ○C委員：5	○A委員：因果関係は否定できない ○B委員：因果関係は否定できない ○C委員：因果関係は否定できない	○A委員：血管迷走神経反射の可能性もある。 ○B委員：迷走神経反射と考える。	アナフィラキシーとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。	
微研-5	5* 医 非 No.76	8歳・男性	なし	接種前の体温36.3℃。インフルエンザHAワクチン接種4分後に意識消失、転倒し後頭部を打撲。血圧74mmHg。直後に意識回復した。血圧90mmHg。当日中に回復した。	アナフィラキシー反応	HA156B	回復	5	○A委員：5 ○B委員：5 ○C委員：5	○A委員：因果関係は否定できない ○B委員：因果関係は否定できない ○C委員：因果関係は否定できない	○A委員：血管迷走神経反射の可能性もある。 ○B委員：迷走神経反射と考える。	アナフィラキシーとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。	
微研-6	6* 医 非 No.148	4歳・男性	なし	接種前の体温36.8℃。インフルエンザHAワクチン2回目接種30分後、全身に痒疹が発現。ルート確保し、ヒドロキシジンバモ酸塩、プレドニロンを点滴投与。 約1時間後には皮膚疹消失し、帰宅。 皮膚症状以外の症状は認めなかった。	全身性皮膚疹 アナフィラキシー反応	HA151E	回復	5	○A委員：5 ○B委員：5 ○C委員：4	○A委員：因果関係は否定できない ○B委員：因果関係は否定できない ○C委員：因果関係は否定できない	○A委員：皮膚症状だけでは、診断の必須条件を満たさない。 ○B委員：ワクチンによる即時型アレルギー反応と考えるが、アナフィラキシーではない。	アナフィラキシーとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。	

ワクチン接種後のアナフィラキシー(※)が疑われる症例

※【選択基準】
症状名が、「アナフィラキシー」、「アナフィラキシー反応」、「アナフィラキシーショック」、「アナフィラキシー様反応」、「アナフィラキシー様ショック」として報告された症例。

平成27年10月1日～平成28年4月30日入手分まで

* 平成28年4月12日の調査会資料に掲載している症例

下線部：平成28年4月12日の調査会時から、新たに情報が追加された箇所

No.	No.	年齢・性別	基礎疾患等	経過	症状名	ロット	転帰	ブライトン 分類レベル (企業評価)	専門家の評価			事務局総合評価
									ブライトン分類 レベル	因果関係	意見	
微研-7	7* 企 No.10	2歳・男性	気管支喘息(2013年11月)	<u>接種当日、A病院にてインフルエンザHAワクチン1回目、乾燥弱毒生ウイルスワクチン2回目を同時接種。</u> <u>接種15分後、嘔気、腹痛、顔面蒼白が発現し、徐脈、酸素飽和度低下、血圧低下を認めた。</u> <u>接種22分後、酸素4Lマスク吸入し、酸素飽和度98%に上昇。脈拍低下あるため10倍希釈アドレナリンを静注投与。</u> <u>接種27分後、徐脈改善しないため再度アドレナリンを静注投与。</u> <u>接種29分後、嘔吐が発現。</u> <u>接種30分後、救急車にてB病院に搬送。救急車に搬送中、脈拍も正常化。</u> <u>B病院到着時には全身状態は改善した。</u>	アナフィラキシー反応	HA149C	回復	2	OA委員:5 OB委員:5 OC委員:4	OA委員:因果関係は否定できない OB委員:因果関係は否定できない OC委員:因果関係は否定できない	OA委員:腹痛・嘔気は、消化器症状のMinor基準に該当するが、その他の症状から、診断の必須条件を満たさない。 OB委員:迷走神経反射と考える。 OC委員:徐脈なのでアナフィラキシーとは考えにくい。喘息発作?	アナフィラキシーとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。
微研-8	8* 医 重 No.86	30歳・男性	なし	接種前の体温36.4℃。インフルエンザHAワクチン1回目接種後、処置室を出て5mほど歩き受付の前の長椅子に座っていた。 接種5分後、問いかけに気分が悪いと訴えあり。顔色不良、手足末梢の冷感を認め、血圧測定不能。1～2分の意識消失が発現。 呼びかけに反応し廊下を歩いて診察室にて仰臥位となる。血圧72/40mmHg。口唇、末梢蒼白は変化なし。 接種10分後、アドレナリン1mg/mLを筋注投与。 接種20分後、血圧96/50mmHg。血管確保のため乳酸リンゲル液250mLを点滴投与。 接種30分後、点滴内にヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウムを注入。 接種50分後、血圧136/70mmHg。 接種1時間25分後、血圧124/66mmHg。顔色、口唇色回復。 接種2時間後、帰宅。 接種当日深夜、37.5℃まで発熱が発現し、B病院救急外来を受診後、帰宅。	アナフィラキシー反応 発熱	HE51A	回復	5	OA委員:5 OB委員:5 OC委員:4	OA委員:因果関係は否定できない OB委員:因果関係は否定できない OC委員:因果関係は否定できない	OA委員:血管迷走神経反射の可能性もある。 OB委員:迷走神経反射と考える。	アナフィラキシーとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。
微研-9	9 企 No.81	87歳・男性	既往歴:脳梗塞 合併症:高血圧症、認知症	インフルエンザHAワクチンを接種約1時間後、外来待合室ソファにて座位状態であったが、声かけに反応なし。すぐに救急処置室へ移動。 発現5分後、血圧88/42mmHg、心拍数49～50回/分、意識レベルGCS E3V1M5、四肢脱力状態。 発現15分後、血圧109/81 mmHg、心拍数46回/分。静脈ルート確保し、アドレナリン0.2mgを静注投与し、以後0.05mgずつ2回静注。 発現20分後、血圧146/86mmHg、心拍数98回/分、酸素4L/分下にてSpO2 99～100%、意識レベルGCS E4V3M5(通常通り)、運動麻痺なし、心電図ST変化なし。ドパミン塩酸塩を持続静注投与。アミノ酸・糖・ビタミン(4)1000mLを持続点滴投与、画像検査、採血等にて他に血圧低下の原因となる病像ないためアナフィラキシーショックと判断。ドパミン塩酸塩は随時増量、12mL/hvにてコントロール。血圧100～120台mmHgとなり入院。 発現5時間後、血圧120台mmHg。 接種2日後、血圧125～135台mmHgにて安定。ドパミン塩酸塩を徐々に減量。 接種3日後、ドパミン塩酸塩投与中止。 接種6日後、バイタルサイン安定。食事も摂取(介助状態。入院前と同じ)を確認。 接種7日後、退院。	アナフィラキシーショック	HA157B	回復	5	OA委員:5 OB委員:5 OC委員:5	OA委員:因果関係は否定できない OB委員:因果関係は否定できない OC委員:因果関係は否定できない	OA委員:血管迷走神経反射の可能性もある。 OB委員:迷走神経反射と考える。	アナフィラキシーとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。
微研-10	10 医 重 No.87	42歳・女性	なし	接種当日、接種前の体温36.6℃。A病院にてインフルエンザHAワクチン1回目を接種。 接種15分後、口渇感、めまいが発現。 座してしばらくして落ち着いたが、その後気分不快、嘔気、顔面紅潮が発現。 乳酸リンゲル液500mLを点滴投与しルート確保。塩酸メトクロプラミド 10mg、d-クロルフェニラミンマレイン酸塩注射液5mg、グリチルリチン酸-アンモニウム・グリシン・L-システイン20mLを静注投与。 接種35分後、消化器症状改善。 接種1時間20分後、症状改善し、帰宅。	アナフィラキシー反応	HA157A	回復	5	OA委員:5 OB委員:5 OC委員:4	OA委員:因果関係は否定できない OB委員:因果関係は否定できない OC委員:因果関係は否定できない	OA委員:嘔気は消化器のMinor基準と解釈しても、その他の症状は該当せず、必須条件を満たさない。 OB委員:迷走神経反射と考える。 OC委員:過敏反応の可能性はあるが、アナフィラキシーとは言えない。	アナフィラキシーとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。
デンカ-1	11* 医 重 No.14	6歳・男性	喘息	ワクチン接種前、咳が前日から強かったが、本人の訴え(しんどさなど)なく元気であった。診察所見異常なし。 左上腕にインフルエンザワクチン接種。 ワクチン接種47分後、ワクチン接種部の腫脹が1.9cm×2.2cmあるが、全身状態良く帰宅。帰宅途中で車中で(ワクチン接種後約1時間余り)しゃがみこむ。顔色が白くなり、母が問うと「頭痛い。しんどい。」と言う。尿や便の失禁や意識消失なし。 ワクチン接種86分後、病院へ再び到着時は、顔色は戻る。咳など呼吸症状は強くない。(前日からの咳と同程度)。頭痛が残っている。36.7℃。 アドレナリンの吸入施行。エピナステリン塩酸塩内服。血液検査で炎症反応あり、入院(経過観察目的)。 ワクチン接種1日後、夜間は咳があるが睡眠して翌朝には頭痛消失するが、朝から37.5℃が続く。レントゲンで気管支炎の診断でトスフロキサシントシル酸塩水和物追加。鼻閉が強い。 ワクチン接種2日後、耳鼻科でアレルギー性鼻炎+鼻副鼻腔炎軽度としてフォローとなる。下熱し、一般状態よく退院。 ワクチン接種21日後、外来のレントゲンで気管支影は消失。	アナフィラキシー反応	539-A	回復	5	OA委員:5 OB委員:5 OC委員:5	OA委員:因果関係は否定できない OB委員:因果関係は否定できない OC委員:局所反応について因果関係は否定できない	OA委員:記載されている症状だけでは、診断の必須条件を満たさない。 OB委員:迷走神経反射と考える。	アナフィラキシーとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。

ワクチン接種後のアナフィラキシー(※)が疑われる症例

※【選択基準】
症状名が、「アナフィラキシー」、「アナフィラキシー反応」、「アナフィラキシーショック」、「アナフィラキシー様反応」、「アナフィラキシー様ショック」として報告された症例。

平成27年10月1日～平成28年4月30日入手分まで

* 平成28年4月12日の調査会資料に掲載している症例												下線部：平成28年4月12日の調査会時から、新たに情報が追加された箇所											
No.	No.	年齢・性別	基礎疾患等	経過	症状名	ロット	転帰	ブライトン 分類レベル (企業評価)	専門家の評価			事務局総合評価											
									ブライトン分類 レベル	因果関係	意見												
デンカ-2	12 * 企 No.24	11歳・男性	喘息、アレルギー性 鼻炎	A病院にてインフルエンザワクチン接種。 ワクチン接種10分後、吐き気を催し、顔面蒼白、手先白く、意識喪失した。酸素吸入をして救急車を呼ぶ。 ワクチン接種15分後、意識戻り、救急車にてB病院へ搬送。入院をしたかどうかは不明。	アナフィラキシーショツク	540-A	回復	4	○A委員：5 ○B委員：5 ○C委員：5	○A委員：因果関係 は否定できない ○B委員：因果関係 は否定できない ○C委員：因果関係 は否定できない	○A委員：血管迷走神経反射の可能性 もある。 ○B委員：迷走神経反射と考える。	アナフィラキシーとは判 断できない。 ワクチン接種との因果関 係は否定できない。											
デンカ-3	13 * 医 重 No.23	9歳・男性	なし	A病院にてインフルエンザワクチン接種。 ワクチン接種7分後、嘔気、喉の違和感が出現。 ワクチン接種10分後、嘔吐し、SpO2/±90%前後に低下。 ワクチン接種13分後、アドレナリン0.15mg筋注。O2 8Lで投与開始し、末梢ルート確保後、メチルプレドニゾロンコハク酸エ ステルナトリウム125mg+生理食塩水100mLの点滴静注を行い、B病院へ転院搬送。同日より経過観察目的に入院。 ワクチン接種2日後、症状回復し、退院。	アナフィラキシー反応	537-B	回復	3	○A委員：3 ○B委員：5 ○C委員：2	○A委員：因果関係 は否定できない ○B委員：因果関係 は否定できない ○C委員：因果関係 は否定できない	○A委員：嘔気を消化器のMinor症状、 喉の違和感を呼吸器のMinor症状とす るとレベル3。 ○B委員：ワクチンによる即時型アレルギー 反応と考えるが、アナフィラキシー ではない。	ブライトン分類3以上のアナ フィラキシー症例。 ワクチン接種との因果関 係は否定できない。											
デンカ-4	14 * 医 非 No.52	6歳・女性	喘息、熱性痙攣	ワクチン接種前、体温36.7℃。 A病院にてインフルエンザワクチン接種。 直前に兄がアナフィラキシーで処置を受けているのを目の前で見ていた。 ワクチン接種21分後、嘔吐。SpO2：98％、胸部聴診上wheezeなし。血圧84/40、脈拍88。O2 8Lで投与開始し、末梢ルート 確保後、サルブタモール硫酸塩0.2mL+生理食塩水2mLの吸入を行い、B病院へ転院搬送。メチルプレドニゾロンコハク酸 エステルナトリウムの静注を行い帰宅。 その後も症状の悪化なく回復。	アナフィラキシー疑い	537-B	回復	2	○A委員：5 ○B委員：5 ○C委員：4	○A委員：因果関係 は否定できない ○B委員：因果関係 は否定できない ○C委員：因果関係 は否定できない	○A委員：嘔吐のみでは診断の必須条 件を満たさない。 ○B委員：兄の処置を見ての恐怖から の嘔吐もしくは迷走神経反射と考 える。	アナフィラキシーとは判 断できない。 ワクチン接種との因果関 係は否定できない。											
デンカ-6	15 * 企 No.56	39歳・女性	交通事故、脳挫傷、 寝たきり、胆嚢炎	インフルエンザワクチン接種までは特別変わりなく経過。体温調節障害のため、ほぼ毎週発熱がみられる患者で、ワクチ ン接種3日前にも37℃台後半の発熱あったが特に症状も無くその日のうちに自然に解熱。 インフルエンザワクチン接種。ワクチン接種時は特に異常は見られなかった。 ワクチン接種2時間後、全身蒼白、努力様呼吸、SpO2低下（room air 85%）、時々発作的に体の硬直見られると看護師から 報告あり。診察時、体温 37.7℃、血圧 109/77mmHg、両肺野で気道狭窄音聴取。状況からワクチン接種によるアナフィ キシーショックが疑われたため絶食、補液、抗生剤点滴（DRPM：ドリベナム水和物 0.25g×2回/日）、ステロイド点滴（ヒドロ コルチゾンコハク酸エステルナトリウム300mg）、酸素療法開始。 ワクチン接種5時間後、体温39℃台まで上昇、SpO2 80%台（酸素マスク10L）と低下あり。ヒドロコルチゾンコハク酸エス テルナトリウム600mg追加投与。 その後朝にかけて解熱、呼吸状態も徐々に安定。 ワクチン接種1日後、採血で高度炎症反応（WBC15690/mm3、CRP 18.07mg/dL）、胸部X線で両肺野にびまん性に浸潤影 が見られた。補液、抗生剤点滴、酸素療法を継続し、徐々に状態は改善。 ワクチン接種7日後、検査では炎症反応および両肺野の浸潤影はほぼ消失。酸素も2Lカマラまで減量したがSpO2 90% 台後半を維持しており、ほぼ軽快したと考えられた。	アナフィラキシーショツク	540-B	回復	5	○A委員：5 ○B委員：5 ○C委員：5	○A委員：因果関係 は否定できない ○B委員：因果関係 は否定できない ○C委員：因果関係 は不明	○A委員：記載されている気道狭窄所 見だけでは、診断の必須条件を満たさ ない。肺炎の一症状の可能性もある。 ○B委員：直後から喘鳴が生じ、肺炎 像、CRP高度上昇からは誤嚥など、ワ クチンとは関係ないとする。	アナフィラキシーとは判 断できない。 ワクチン接種との因果関 係は否定できない。											
デンカ-7	16 企 No.89	5歳・男性	食物アレルギー（卵）	1回目、自社インフルエンザワクチン接種。 2回目、他社インフルエンザワクチン接種後、目の充血・息苦しさ・喉のイガイガが発現し、アドレナリン筋注。 ワクチン接種1日後、軽快。	アナフィラキシー様症 状	535-B	回復	3	○A委員：3 ○B委員：4 ○C委員：4	○A委員：因果関係 は否定できない ○B委員：因果関係 は否定できない ○C委員：因果関係 は否定できない	○A委員：目の充血を皮膚症状のMinor 症状、息苦しさ・喉のイガイガを呼吸器 のMinor症状と解釈すればレベル3。 ○B委員：アナフィラキシーの基準を満 たさない即時型アレルギーと思われる が、接種から症状までの時間経過が分 からないので評価できない。	アナフィラキシーとは判 断できない。 ワクチン接種との因果関 係は否定できない。											

ワクチン接種後のアナフィラキシー(※)が疑われる症例

※【選択基準】
症状名が、「アナフィラキシー」、「アナフィラキシー反応」、「アナフィラキシーショック」、「アナフィラキシー様反応」、「アナフィラキシー様ショック」として報告された症例。

平成27年10月1日～平成28年4月30日入手分まで

＊平成28年4月12日の調査会資料に掲載している症例					下線部：平成28年4月12日の調査会時から、新たに情報が追加された箇所							
No.	No.	年齢・性別	基礎疾患等	経過	症状名	ロット	転帰	ブライトン分類レベル (企業評価)	専門家の評価			事務局総合評価
									ブライトン分類レベル	因果関係	意見	
デンカ-8	17＊ 医 重 No.6	75歳・女性	なし	医師より、75歳女性患者の情報を入手。 予診票での留意点(基礎疾患、アレルギー、発育状況、妊娠中の場合妊娠週数等、最近1ヵ月以内のワクチン接種歴、最近1ヵ月以内の既往歴、投薬中の薬、過去の副作用歴、副反応歴)は無。家族歴は報告されていない。 肺炎球菌感染予防のため、肺炎球菌ワクチン注射剤を腕に初回皮下接種した。(ロット番号：9MR07R、接種量は報告されていない。) その他の被疑薬として、インフルエンザHAワクチン注射剤(接種量：0.5mg×1回/日、ロット番号：537-A、使用理由：インフルエンザ感染予防)があった。 接種当日、報告者病院の定期受診時に肺炎球菌ワクチン、インフルエンザHAワクチン(皮下)を両腕にそれぞれ同時初回接種した(前述)。接種前の体温：34.6℃。熱発があった。昼過ぎ(接種3時間後頃)には生汗、ふらつき、めまいもあり、食事もできなかった。(「アナフィラキシー；めまい」が発現。)歩行困難となり、夕方報告者病院受診。初診時の所見：頭痛、嘔気なし、眼振なし、構音障害なし、意識障害なし。検査内容：総蛋白 6.7、アルブミン4.2、CPK(CK)(クレアチンホスホキナーゼ)123、GOT(AST)(アスパラギン酸アミノトランスフェラーゼ)19、GPT(ALT)(アラニンアミノトランスフェラーゼ)21、LDH(乳酸脱水素酵素)283↑、ALP(アルカリホスファターゼ)285、γ-GTP(γ-グルタミルトランスフェラーゼ)56↑、総ビリルビン0.2、クンケル4.1、チモール1.4、コリンエステラーゼ470↑、アミラーゼ66、血糖(血糖)130↑、総コレステロール212、HDL-C(高比重リポ蛋白-コレステロール)79.4、LDL-C(低比重リポ蛋白-コレステロール)(計算値)111、中性脂肪106、尿素窒素21.0↑、クレアチニン0.65、尿酸5.2、Na(ナトリウム)141、K(カリウム)4.01、Cl(クロール)105、Ca(カルシウム)9.0、無機リン3.7、血清鉄49、CRP(C-反応性蛋白)定量0.07。顔面腫脹を認める以外は皮疹や呼吸困難などなく、採血データでも大きな異常は認めなかった。心配であれば入院してはどうかと提案し、経過観察の意味を込め一泊入院とした。入院後、バイタル、身体所見に異常認めず自覚症状は改善。 接種翌日、患者は軽快したため退院。発熱、「食事がとれない」は回復。(発熱の回復日は接種翌月頃も報告あり。」「アナフィラキシー；めまい」は軽快。 日付不明、「アナフィラキシー；めまい」は回復。 接種16日後、再びめまいの主訴を起こしたため入院。 入院中、めまいは快方に向かっていた。 接種20日後、入院継続。 接種22日後、特段の副作用も見られなかった為退院(めまいは回復)。 接種約3ヶ月後、特段の問題も見られなかった。	アナフィラキシー反応 摂食障害 発熱 浮動性めまい	537-A	回復	5	○A委員：5 ○B委員：5 ○C委員：4	○A委員：因果関係は否定できない ○B委員：因果関係は否定できない ○C委員：因果関係は否定できない	○A委員：生汗、ふらつき、めまいなどの症状は、診断の必須条件を満たさない。 ○B委員：アナフィラキシーの基準は満たさないが、ワクチン接種に伴う反応と思われる。 ○C委員：インフルエンザワクチンによる可能性もある。顔面腫脹は血管浮腫か？	アナフィラキシーとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。
化血-1	18＊ 医 重 No.34	86歳・男性	高血圧 変形性膝関節症 前立腺肥大	86歳の男性。 基礎疾患として、高血圧、変形性膝関節症、前立腺肥大を有していた。A施設でのデイケアに週2回通っていた。 接種当日、デイケアを利用中、ワクチン接種のためBクリニックを受診。午後、インフルエンザHAワクチン1回目を単独で皮下接種。接種前体温36.5℃、血圧118/59mmHg。問診及び診察にて特に異常は認められなかった。接種後、若干の出血がありテープ貼付。接種後10分程度状態を観察されたが異常はなく、介助者とともにデイケアに戻るため移動。 ワクチン接種15分後、デイケアへの移動途中、しゃがみこみ、突然意識消失。呼吸困難や嘔吐等の症状は認められなかった。看護師及び介助者によりストレッチャーにてBクリニックの処置室に搬送された。接種20分後、心肺停止したため、直ちに心臓マッサージ、気管内挿管、人工呼吸、酸素投与が行われ、AED装着にて蘇生が試みられたが、心拍再開しなかった。心臓マッサージが継続され、アドレナリン静注されるも反応なし。皮膚症状、消化器症状は認められなかった。接種25分後、救急要請され、接種30分後、救急車到着。医師、看護師同乗のうえ、C病院へ搬送された。接種48分後、C病院到着時には心肺停止状態であった。咽頭浮腫は認められなかった。心肺蘇生処置が行われた。処置薬として、乳酸リンゲルによる静脈路確保に加え、アドレナリン、アトロピン塩酸塩、炭酸水素ナトリウム、ドパミン塩酸塩が投与された。心肺蘇生処置にて、心肺再開。採血、胸部レントゲン施行中に再度、心肺停止。接種103分後、死亡確認。死因は不明とされた。死亡時画像診断及び剖検は実施されなかった。 ○接種時までの治療等の状況 アレルギー歴、1ヶ月以内のワクチン接種、過去の副作用歴いずれもなし。昨シーズンにBクリニックにてインフルエンザHAワクチンを接種されたが、副反応は認められなかった。要介護3であり、移動は歩行器、日常生活には一部介助が必要であったが、意思決定は可能、行動障害もなし。 高血圧にて近医よりアムロジピンベシル酸塩5mg/日を処方されていたが、血圧は日により変動がみられていた。脳心事故の既往はなかった。 ワクチン接種4日前、血圧159/72mmHg。	アナフィラキシー反応 意識消失 心停止	387A	死亡	5	○A委員：5 ○B委員：5 ○C委員：5	○A委員：情報不足で評価できない。 ○B委員：因果関係は否定できない ○C委員：因果関係は不明	○A委員：接種後、呼吸困難や嘔吐等の症状はなかったと記載されており、診断の必須条件を満たさない。 ○B委員：ワクチンとの時間的な因果関係はあるが、薬剤副反応か否かは判断できない。	アナフィラキシーとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は不明である。
化血-2	19＊ 医 非 No.119	7歳・女性	クレチン症、喘息様気管支炎	基礎疾患としてクレチン症あり。レボチロキシンナトリウム散剤生後まもなくより使用。クレチン症については大学病院にてフォローしていて現在投薬中止。 アレルギー歴なし。 1歳よりインフルエンザワクチン毎年接種あり。インフルエンザワクチンも過去に実施。若干の腫れは診られていたが、許容範囲であった。腫脹は毎回あった。他重篤な反応歴なし。 昨シーズン、インフルエンザワクチン接種あり(1回目他社品、2回目)。 インフルエンザHAワクチン接種。 ワクチン接種30分後、咳嗽、顔色不良、体に尋麻疹出現。 ワクチン接種1時間後、咳嗽軽度、嘔吐ないが呼吸苦訴えあり、体幹全体に膨隆疹あり、全身状態は悪くなし。 注射用ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム、アミフィリン注射液、ダクロールフェニルマレイン酸塩点滴施行。 ワクチン接種1時間40分後、症状軽減あり、帰宅可となる。 アナフィラキシーは回復。 ワクチン接種2日後、症状の再発はなく元に戻った。	アナフィラキシー反応	392C	回復	2	○A委員：2 ○B委員：1 ○C委員：2	○A委員：因果関係は否定できない ○B委員：因果関係は否定できない ○C委員：因果関係は否定できない	○A委員：気道症状は、呼吸器のMinor症状、尋麻疹は皮膚のMajor症状とするとレベル2。 ○B委員：アナフィラキシーと考える。	ブライトン分類3以上のアナフィラキシー症例。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。

ワクチン接種後のアナフィラキシー(※)が疑われる症例

※【選択基準】
症状名が、「アナフィラキシー」、「アナフィラキシー反応」、「アナフィラキシーショック」、「アナフィラキシー様反応」、「アナフィラキシー様ショック」として報告された症例。

平成27年10月1日～平成28年4月30日入手分まで

* 平成28年4月12日の調査会資料に掲載している症例												下線部：平成28年4月12日の調査会時から、新たに情報が追加された箇所		
No.	No.	年齢・性別	基礎疾患等	経過	症状名	ロット	転帰	ブライトン 分類レベル (企業評価)	専門家の評価			事務局総合評価		
									ブライトン分類 レベル	因果関係	意見			
化血-3	20 * 医 非 No.58	16歳・男性	甲殻類アレルギーあり	医薬品副作用歴不明。 昨シーズン、インフルエンザワクチン接種の有無は不明。 過去に4回接種している。 甲殻類アレルギーあり。エビ、カニ弱陽性。卵白アレルギーは陰性。 接種前体温:35.6℃ 1回目 インフルエンザHAワクチン接種。 ワクチン接種4時間30分後 帰宅後、呼吸苦あり。 受診。アナフィラキシーに対し、ステロイド内服＋筋注＋点滴で改善。 ワクチン接種翌日 再診。アナフィラキシーは回復。 ワクチンDLST検査。コントロールに対し、6.16倍と陽性(1.8倍以上)。	アナフィラキシー反応	386A	回復	5	○A委員：5 ○B委員：5 ○C委員：4	○A委員：因果関係は否定できない ○B委員：因果関係は否定できない ○C委員：因果関係は不明	○A委員：記載されている呼吸器症状だけでは、診断の必須条件を満たさない。 ○B委員：心因反応の可能性とアナフィラキシーの基準を満たさない即時型アレルギー反応の可能性があると考ええる。 ○C委員：因果関係は不明	アナフィラキシーとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。		
化血-4	21 * 医 重 No.55	4歳・男性	乳児喘息	昨シーズンのインフルエンザワクチンは、1回目、2回目とも他社品接種。 乳児喘息で、4年前から3年前までブランルカスト水和物定期内服＋ブデソニド吸入剤吸入、現在は症状・治療無し。食物アレルギーは無し。 母方のいとこが喘息、父方のいとこがアトピー性皮膚炎。 昨年、日本脳炎ワクチン初回接種後に39.1℃発熱あり。副作用の可能性否定できず。 昨年、インフルエンザワクチン接種後に37.7℃発熱あり。副作用の可能性否定できず。 接種前体温：36.8℃ 1回目 インフルエンザHAワクチン接種。 ワクチン接種2～3分後 顔面～上半身に発赤を伴う膨疹あり。全身に拡大す。 咳嗽も出現し、救急受診される(体温:37.3℃)。 入院。上記以外の症状なし。 合成副腎皮質ホルモン剤静注、O2吸入、サルブタモール硫酸塩吸入、抗ヒスタミン剤静注。 ワクチン接種1時間後 発疹消褪あり。 ワクチン接種翌日 退院。 ワクチン接種6日後 体温:37.1℃。アナフィラキシーは回復。	アナフィラキシー反応	393B	回復	2	○A委員：2 ○B委員：2 ○C委員：2	○A委員：因果関係は否定できない ○B委員：因果関係は否定できない ○C委員：因果関係は否定できない	○A委員：顔面～上半身に発赤を伴う膨疹は皮膚のMajor症状、喘鳴など気道狭窄症状は記載されていないが咳嗽を呼吸器のMinor症状とすると、レベル2。 ○B委員：アナフィラキシーと考える。	ブライトン分類3以上のアナフィラキシー症例。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。		
化血-5	22 * 医 非 No.117	29歳・女性	慢性蕁麻疹	慢性じんましんあり。 接種前体温:36.7℃ 1回目 インフルエンザHAワクチン接種。 ワクチン接種30分後 両上肢に紅斑出現。 次第に全身(特に頸部、上肢、大腿部)に拡がり、発赤著明でそう痒も伴ったため受診した。 咽頭違和感も認められ、注射用メチルプレドニゾンコハク酸エステルナトリウム、ファモチジン、d-クロルフェニラミンマレイン酸塩、デキサメタゾンリン酸エステルナトリウムを点滴または静注にて投与。 投与後30分以内に症状消失し、遅発性アレルギー反応もみられなかった。 アナフィラキシー疑いは回復。	アナフィラキシーの疑い	392B	回復	2	○A委員：2または5 ○B委員：4 ○C委員：2	○A委員：因果関係は否定できない ○B委員：因果関係は否定できない ○C委員：因果関係は否定できない	○A委員：基礎疾患に慢性蕁麻疹があり、接種後の皮膚症状が基礎疾患によるものか、ワクチン接種によるものか判断が難しい。喉頭違和感を呼吸器のMinor症状、記載されている皮膚症状をMajor症状と解釈すれば、レベル2。 ○B委員：アナフィラキシーの可能性はあるが、慢性じんましの経過が不明(例えば毎日でいたのかなど)のため、評価できない。	ブライトン分類3以上のアナフィラキシー症例。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。		
化血-6	23 * 企 No.65	5歳・男性	卵アレルギー	卵アレルギーあり。 昨シーズン、インフルエンザワクチン接種の有無は不明。 インフルエンザワクチンは毎年接種している。 日付不明 1回目インフルエンザHAワクチン(他社品)接種。 2回目 インフルエンザHAワクチン接種。 ワクチン接種5分後 蕁麻疹が全身に現れた。アドレナリンを使用。 ワクチン接種15分後 病院に搬送中には、症状は軽くなってきた。 病院に来た時には、目の充血、息苦しい、喉のイガイガというような症状。 メチルプレドニゾン、ファモチジンを処方された。 ワクチン接種翌日 午後にはアナフィラキシーは軽快。	アナフィラキシー反応	391B	軽快	2	○A委員：2 ○B委員：2 ○C委員：2	○A委員：因果関係は否定できない ○B委員：因果関係は否定できない ○C委員：因果関係は否定できない	○A委員：全身蕁麻疹は、皮膚のMajor症状、息苦しさ・喉のイガイガは呼吸器のMinor症状と解釈すればレベル2。 ○B委員：アナフィラキシーと考える。	ブライトン分類3以上のアナフィラキシー症例。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。		
化血-7	24 * 医 非 No.159	37歳・女性	ツムラ37半夏白朮天麻湯でじんましの既往あり	半夏白朮天麻湯で蕁麻疹の既往あり。アレルギー歴なし。 1ヶ月以内に家族に38℃の発熱あり。 昨シーズン、インフルエンザワクチン接種の有無は不明。 今シーズンの接種回数情報なし。 接種前体温:36.4℃ インフルエンザHAワクチン接種。 ワクチン接種90分後頃 口唇が腫れ、咽頭がかゆくなり息苦しくなった。 家に帰ってジフェンヒドラミン塩酸塩を服用したら少し落ち着いた。 ワクチン接種2日後 アナフィラキシーは回復。	アナフィラキシー反応	396C	回復	5	○A委員：2 ○B委員：5 ○C委員：4	○A委員：因果関係は否定できない ○B委員：因果関係は否定できない ○C委員：因果関係は否定できない	○A委員：口唇の腫れを皮膚のMajor症状、咽頭がかゆくなり息苦しくなった症状を呼吸器のMinor症状とするとレベル2。 ○B委員：アナフィラキシーの基準を満たさない即時型アレルギーと思われる。	アナフィラキシーとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。		

ワクチン接種後のアナフィラキシー(※)が疑われる症例

※【選択基準】
症状名が、「アナフィラキシー」、「アナフィラキシー反応」、「アナフィラキシーショック」、「アナフィラキシー様反応」、「アナフィラキシー様ショック」として報告された症例。

平成27年10月1日～平成28年4月30日入手分まで

* 平成28年4月12日の調査会資料に掲載している症例										下線部：平成28年4月12日の調査会時から、新たに情報が追加された箇所			
No.	No.	年齢・性別	基礎疾患等	経過	症状名	ロット	転帰	ブライトン 分類レベル (企業評価)	専門家の評価			事務局総合評価	
									ブライトン分類 レベル	因果関係	意見		
化血-8	25 * 医 非 No.167	6歳・男性	貧血 呼吸器系疾患	貧血(クエン酸第一鉄ナトリウム製剤内服中) 昨年、呼吸器系疾患と診断(現在治療していない)。 アレルギー歴不明。 肺炎球菌ワクチンで発熱の副作用歴あり。 昨シーズン、インフルエンザワクチン接種の有無は不明。 ワクチン接種21日前 1回目 インフルエンザワクチン(メーカー名不明)接種。 2回目 インフルエンザHAワクチン接種。接種前体温36.8℃。 ワクチン接種20分後頃 全身に発赤が出現。 ワクチン接種50分後頃 再来院。血圧:82/60、体温:36.8℃、SpO2:99% 全身発赤が出現。呼吸困難なし。 ワクチン接種1時間35分後 院内で経過観察したが症状憎悪なし。抗アレルギー薬内服処方をして帰宅。	アナフィラキシー反応	396A	不明	5	○A委員:5 ○B委員:4 ○C委員:4	○A委員:因果関係 は否定できない ○B委員:因果関係 は否定できない ○C委員:因果関係 は否定できない	○A委員:全身の発赤だけでは、診断 の必須条件を満たさない。 ○B委員:全身発赤と低血圧であれば アナフィラキシーの基準を満たすが、低 血圧による症状の有無が記載されてい ないため、血圧測定の正確性が確認で きず、評価できない。	アナフィラキシーとは判 断できない。 ワクチン接種との因果関 係は否定できない。	
化血-9	26 企 No.51	5歳・女性	なし	アレルギー歴なし。卵アレルギーはない。 2011年より毎年インフルエンザワクチン接種(2回/年)。 化血研インフルエンザワクチンは2011年と2015年。 1回目インフルエンザHAワクチン“化血研”接種。 ワクチン接種30分後 荨麻疹。 ワクチン2時間後 顔面蒼白、意識消失、嘔吐、腹痛。 発症時の処置:なし 様子を見るようにいわれた。 ワクチン接種翌日 アナフィラキシーは回復。 ワクチン接種4ヵ月16日後 【DLST】 インフルエンザHAワクチン:陽性(測定値18219cpm、S.I.87.6) チメロサル液:陰性(測定値316cpm、S.I.1.6) ホルマリン液:疑陽性(測定値363cpm、S.I.1.7)	アナフィラキシー反応	391A	回復	1	○A委員:1または 3または4 ○B委員:1 ○C委員:4	○A委員:因果関係 は否定できない ○B委員:因果関係 は否定できない ○C委員:因果関係 は否定できない	○A委員:荨麻疹が全身が接種局所か が不明であり、記載されている所見だ けでは、判断できない。 ○B委員:2相性の臨床像を呈したアナ フィラキシーと考えるが、ワクチンの DLSTはアレルギーを示唆する検査とし ては使えないと思われる。 ○C委員:情報不足	アナフィラキシーとは判 断できない。 ワクチン接種との因果関 係は否定できない。	
化血-10	27 医 重 No.73	6歳・男性	基礎疾患:VSD+右 胸心。気管支喘息は 治療後現在なし。	基礎疾患:VSD+右胸心。気管支喘息は治療後現在なし。 1回目インフルエンザワクチン接種後、接種部位の腫れ。 アレルギー歴不明。 昨シーズン、化血研インフルエンザワクチン接種の有無は不明。 接種前体温:36.1℃ 2回目インフルエンザHAワクチン“化血研”接種。 ワクチン接種20分後(待ち合いで静かにテレビをみていた)で、咳がとまらない、と報告あり。 SpO2.96→その後93。聴診で喘鳴聴取。直ちに酸素と:サルブタモール硫酸塩吸入。眼球充血あり。 ワクチン接種40分後 全身紅斑出現(吸入で咳はとまった)。 ワクチン接種45分後 ラインkeepし、ヒドロコルチゾンコハク酸エステルナトリウム100mg+ブドウ糖-電解質液 200mL点滴開始。 ワクチン接種50分後 d-クロルフェニラミンマレイン酸塩2mgも混注。 ワクチン接種3時間半 ほぼ全身の症状、所見消失。帰宅(モンテルカストナトリウム、プロカテロール塩酸塩水和物、レボセチリジン塩酸塩処方)。 ワクチン接種翌日 症状なし。アナフィラキシーは回復。	アナフィラキシー反応	385A	回復	1	○A委員:1 ○B委員:1 ○C委員:1	○A委員:因果関係 は否定できない ○B委員:因果関係 は否定できない ○C委員:因果関係 は否定できない	○A委員:喘鳴を呼吸器症状のMajor基 準、全身紅斑を皮膚症状のMajor基準 に該当すると判断するとレベル1。 ○B委員:アナフィラキシーと考える。	ブライトン分類3以上のアナ フィラキシー症例。 ワクチン接種との因果関 係は否定できない。	
北里-1	28 * 医 重 No.4	3歳・女性	食物アレルギー	ワクチン接種5分後、母親に自ら眠気を訴え啼泣。のち徐々に傾眠、顔色不良が出現。母親より医療スタッフに声がかかり、診察したところ顔面蒼白、橈骨動脈の触れも微弱、アナフィラキシーを疑い、診察室へ移動、SpO2モニター装着。(SpO2 92%、HR 91)、O2投与開始。 ワクチン接種10分後頃、アドレナリン0.15mL 大腿に筋注。筋注後、血圧96/58。皮膚症状、顔面の浮腫なし。喘鳴もなかった。 ワクチン接種12分後、末梢血管ルート確保し、輸液開始(100mL/h)。呼名応答(+)となるも、傾眠がかわらず。血圧100台/50～60台推移、以後、血圧低下なし。HR100～120、SpO2 100%(酸素マスク 3L/min→中止後も)。その後、水様鼻汁、くしゃみ(+)。 ワクチン接種50分後過ぎ、座位をとれるようになり、発語も出現。 ワクチン接種1時間50分後過ぎ、アナフィラキシー後の観察目的で他院へ搬送し、入院。 ワクチン接種翌日 退院(回復)。	アナフィラキシー反応	FM038B	回復	3	○A委員:5 ○B委員:5 ○C委員:2	○A委員:因果関係 は否定できない ○B委員:因果関係 は否定できない ○C委員:因果関係 は否定できない	○A委員:記載されている症状だけで は、診断の必須条件を満たさない。 ○B委員:迷走神経反射と考える。	アナフィラキシーとは判 断できない。 ワクチン接種との因果関 係は否定できない。	
北里-2	29 * 企 No.15	2歳・男性	なし	ワクチン接種6分後、接種が終了し診察室外へ退出した。直後母親より「ふらふらする」との報告があり、処置室へ入室。看護師の問いに返答するなど意識清明。入室後、顔面蒼白となり眼球上転、全身脱力。体位を仰臥位としたところ開眼した。収縮期血圧72mmHgと低下、JCSI3と軽度の意識障害を呈した(会話の混乱、傾眠)。 アドレナリン10mg筋注投与後から顔色改善、意識清明(JCSI15)となった。末梢静脈路確保の上、ヒドロコルチゾン100mg静注投与。 ワクチン接種36分後、収縮期血圧94mmHgと改善。意識レベルの回復を認めた。	ショック	FM038D	回復	4	○A委員:4または 5 ○B委員:5 ○C委員:5	○A委員:因果関係 は否定できない ○B委員:因果関係 は否定できない ○C委員:因果関係 は否定できない	○A委員:接種後のけいれん・意識障 害で、アナフィラキシーの症例定義に は合致しない。 ○B委員:迷走神経反射と考える。	アナフィラキシーとは判 断できない。 ワクチン接種との因果関 係は否定できない。	

ワクチン接種後のアナフィラキシー(※)が疑われる症例

※【選択基準】
症状名が、「アナフィラキシー」、「アナフィラキシー反応」、「アナフィラキシーショック」、「アナフィラキシー様反応」、「アナフィラキシー様ショック」として報告された症例。

平成27年10月1日～平成28年4月30日入手分まで

* 平成28年4月12日の調査会資料に掲載している症例												下線部：平成28年4月12日の調査会時から、新たに情報が追加された箇所			
No.	No.	年齢・性別	基礎疾患等	経過	症状名	ロット	転帰	ブライトン 分類レベル (企業評価)	専門家の評価			事務局総合評価			
									ブライトン分類 レベル	因果関係	意見				
北里-3	30 * 医 重 No.38	81歳・女性	関節リウマチ 心室細動 尿路感染	ワクチン接種30分後、水分補給困難、口唇色不良、チアノーゼ出現。酸素飽和度50%台のため酸素投与開始。喀痰吸引。 ワクチン接種65分後、酸素投与10L/分、生食500mL、ヒドロコルチゾン300mgで酸素飽和度改善したが呼吸音減弱、頻呼吸あり。 ワクチン接種120分後、アドレナリン0.5mL皮下注射。 ワクチン接種150分後、心不全の増悪予防目的で、フロセミド1mL静注、呼吸状態改善。 ワクチン接種340分後、呼吸ほぼ正常化。アナフィラキシーによる急性呼吸不全は改善。回復と判断する。 ワクチン接種1日後、CT他諸検査の後、肺炎及び胸水の診断にて、スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム 6.0g/日、フロセミド1mL、デキサメタゾンでの対応続ける。 ワクチン接種7日後、経口摂取困難のため栄養管理（経嚥造設術施行）、肺炎、胸水、頻脈などの治療目的で他の医療機関へ転医となる。	急性呼吸不全、低血圧、肺炎、胸水	FB082B	回復	4	○A委員：5 ○B委員：5 ○C委員：4	○A委員：因果関係は否定できない ○B委員：因果関係は否定できない ○C委員：因果関係は不明	○A委員：記載されているのは、呼吸器症状のみで、必須条件である複数臓器の症状が認められない。 ○B委員：アナフィラキシーの基準は満たさないが、ワクチンに関連した症状と考える。 ○C委員：呼吸器major(+)、循環器minorと評価。アナフィラキシーと考える。 呼吸器症状はあるが、心不全によるものか。	アナフィラキシーとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。			
北里-4	31 * 企 No.25	3歳・男性	なし	ワクチン接種当日、帰りに具合が悪くなり(蕁麻疹、喘鳴、息苦しい)、他院を受診し薬を処方され、当日回復し帰宅した。	アナフィラキシー反応	FM040B	回復	2	○A委員：1 ○B委員：1 ○C委員：1	○A委員：因果関係は否定できない ○B委員：因果関係は否定できない ○C委員：因果関係は否定できない	○A委員：蕁麻疹および喘鳴は、皮膚および呼吸器のMajor症状。 ○B委員：アナフィラキシーと考える。	ブライトン分類3以上のアナフィラキシー症例。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。			
北里-5	32 * 医 重 No.43	45歳・女性	なし	ワクチン接種30分後、全身の熱感、頻拍を感じ、徐々にのどのひりひり感を訴えた。	アナフィラキシー反応	FM040C	回復	4	○A委員：4 ○B委員：5 ○C委員：4	○A委員：因果関係は否定できない ○B委員：因果関係は否定できない ○C委員：因果関係は否定できない	○A委員：十分な情報がなく、症例定義に合致するかどうか判断できない。 ○B委員：アナフィラキシーの基準は満たさないが、ワクチンに関連した症状と考える。即時型アレルギー反応かどうかは客観的な所見が記載されていないので、評価できない。	アナフィラキシーとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。			
北里-6	33 * 医 重 No.7	5歳・男性	けいれん	ワクチン接種3分後、待合室にて数秒間意識消失。直後BP 93/58、SpO2 73%、ベッドに臥床し安静にする。 ワクチン接種30分後、BP 100/60、SpO2 97%、受け答えはしっかりしており、手足の脱力や麻痺なし。	アナフィラキシー反応	FB080D	回復	4	○A委員：4 ○B委員：5 ○C委員：4	○A委員：因果関係は否定できない ○B委員：因果関係は否定できない ○C委員：因果関係は否定できない	○A委員：十分な情報がなく、症例定義に合致するかどうか判断できない。血管迷走神経反射の可能性もある。 ○B委員：迷走神経反射と考える。 ○C委員：SpO2の低下は説明できないが、安静のみでの改善は血管迷走神経反射を示唆している。	アナフィラキシーとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。			
北里-7	34 * 医 重 No.82	34歳・男性	過敏性腸症候群	ワクチン接種18分後、意識消失にて転倒。発汗著明、脈拍触診不可。かかえてベッド上に仰臥位とする。意識レベルII-30 ワクチン接種19分後、血圧触診60、SpO2測定不可にて補液点滴開始。開始後、心拍40台、意識は緩徐に戻り始めた。 ワクチン接種後23分後、末梢循環不全のため、細胞外液及びステロイド静注を追加。その後、補液追加。補液量は850mL。 ワクチン接種後103分後、血圧60mmHgから100mmHgと回復。意識清明となり、自立歩行にて帰宅。	アナフィラキシーショック	FM039A	軽快	4	○A委員：4 ○B委員：5 ○C委員：4	○A委員：因果関係は否定できない ○B委員：因果関係は否定できない ○C委員：因果関係は否定できない	○A委員：十分な情報がなく、症例定義に合致するかどうか判断できない。血管迷走神経反射の可能性もある。 ○B委員：迷走神経反射と考える。	アナフィラキシーとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。			
北里-8	35 * 医 重 No.93	6歳・女性	なし	ワクチン接種5分後、くらぐらすると倒れこむ。顔面蒼白で心拍50前後、心音弱く、BP 87/59、SpO2 98。当該ワクチンによるショックと判断し、直ちにアドレナリン0.1%を0.25mL筋注し、約10-15分で心拍数60～70、BP 90/60に回復。意識清明となる。念のため点滴とヒドロコルチゾン、ハク酸エステルナトリウム静注。 ワクチン接種30分後、心拍数100、BP 96/61に回復した。経過観察のため近くの医療機関に入院（一泊）。 ワクチン接種翌日、退院。（元氣） ワクチン接種2日後、回復。（元氣）	ショック	FM038C	回復	4	○A委員：5 ○B委員：5 ○C委員：5	○A委員：因果関係は否定できない ○B委員：因果関係は否定できない ○C委員：因果関係は否定できない	○A委員：記載されている症状だけでは、診断の必須条件を満たさない。血管迷走神経反射の可能性もある。 ○B委員：迷走神経反射と考える。 ○C委員：迷走神経反射	アナフィラキシーとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。			

インフルエンザワクチン接種後のGBS/ADEMの可能性のある症例まとめ

平成27年10月1日～平成28年4月30日入手分まで

【選択基準】

○GBS、ADEMの症状名で報告された症例

○経過からGBS、ADEMが疑われる症例

報告元	症例数	専門家の評価によりGBS/ADEMとして否定できないとされたとされた症例	
		GBS	ADEM
医療機関	10	6	5
製造販売業者	7	2	1

専門家の評価によりGBS/ADEMとして否定できないとされた症例リスト

報告元	No.	年齢	性別	基礎疾患等	ワクチン接種からの日数
製造販売業者	1	3歳	男	低酸素性虚血性脳症、慢性呼吸不全、四肢麻痺、てんかん、胃食道逆流性疾患、胃痙、筋緊張亢進、低カリウム血症、低ナトリウム血症、ビタミン欠乏症、細菌感染	8日後
製造販売業者	4	63歳	男	HIV感染、CD4リンパ球減少、節外性辺縁帯B細胞リンパ腫(MALT型)	2日後
医療機関	8	36歳	女	なし	6日後

医療機関	9	72歳	男	椎間板障害、高血圧、高脂血症、良性前立腺肥大症	6日後
医療機関	11	76歳	男	高血圧	数日後
医療機関	12	79歳	女	アルツハイマー型認知症、椎間板突出、糖尿病、高血圧、脂質異常	接種翌日
医療機関	13	14歳	男	水痘、ムンプス	9日後
医療機関	14	7歳	男	食物アレルギー	3日後
医療機関	15	66歳	男	糖尿病、高血圧	接種当日
医療機関	16	87歳	女	慢性関節リウマチ	7日後
医療機関	17	85歳	男	浮動性めまい	5日後

ワクチン接種後の急性散在性脳脊髄炎 (ADEM)、ギランバレー症候群 (GBS) の可能性のある症例一覧

2015年10月1日～2016年4月30日入手分

* 平成28年4月12日の調査会資料に掲載している症例

下線部: 平成28年4月12日の調査会時から、新たに情報が追加された箇所

No.	ワクチン名	年齢・性別	基礎疾患等	経過	症状名	重篤/ 非重篤	ロット	転帰	専門家の意見	ワクチンと副反応との 因果関係評価 (事務局評価)
1 企 No.43	ビケンHA	3歳・男性	低酸素性虚 血性脳症 慢性呼吸不 全 四肢麻痺 てんかん 胃食道逆流 性疾患 胃痙 筋緊張亢進 低カリウム 血症 低ナトリウ ム血症 ビタミン欠 乏症 細菌感染	接種当日 A病院にてインフルエンザHAワクチンを左上腕に接種。 接種8日後 おむつ替えの際に、両下肢が弛緩しており、外側、内側に動きやすくなっていることに気付かれた。 接種9日後 診察にて両下肢の触覚、痛覚の鈍麻、両下肢弛緩性麻痺とされた。血液検査、頭部CT検査の結果、異常なし。 接種10日後 髄液検査の結果、異常なし。 接種11日後 頭部、脊髄MRI検査の結果、異常なし。脳萎縮は以前と同程度。 接種15日後 脳波検査の結果、これまでと著変なし。 接種21日後 髄液検査の結果、異常なし。 接種43日後 誘発筋電図の結果、左右脛骨神経で潜時増大、MCV低下、振幅低下しており、末梢神経炎と診断。 症状は持続しているが、バイタル変化なし、悪化傾向なし。もともと重症心身障害児であること、治療に伴い症状の改善が得られたとしても全体的な障害レベルが変わらないこと、薬剤の副作用を考慮し、無治療で経過観察。 接種57日後 症状不変。全身状態不変。 接種3ヶ月後 両下肢の弛緩性麻痺は軽快し、以前のように痙性が見られるようになった。知覚鈍麻についても軽快し、刺激への反応が見られるようになった。	麻痺	重篤	HA149C	軽快	○A委員:突然の下肢麻痺、電気生理学的な検査で末梢神経障害。ワクチン接種後9日目などを合わせて考えると、ワクチン接種によるGBSとして矛盾しない。 ○B委員:接種8日後に症状が発現しており、他に明らかに原因と考えられる情報がないことからワクチン接種との関連性を否定することはできない。ただし、重症心身障害児で多数の薬も内服していることや、以前の検査所見、以前の下肢の症状、神経学的所見の変動がなかったか等さらに確認すべきことがあると考える。 ○C委員:もともと痙性麻痺だった患者がワクチン接種後に弛緩性麻痺となっている。この事実と末梢神経伝導度検査などの所をも含めギランバレー症候群をおこしたと考えることができる。	GBSの可能性は否定できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。
2* 企 No.49	インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」	56歳・男性	なし	接種当日 当該ワクチン接種。体温36.0度、副鼻腔炎あり。 接種1時間後、発赤、呼吸症状といった即時型アレルギー症状認めず、帰宅。 接種8時間後 両足先端しびれ、疼痛あり、自宅で経過。徐々に遠位から近位、両大腿部、腹部、胸部へ拡大。夜間感覚障害あり、麻痺や筋力低下認めず、顔面症状なし。 接種翌日 医療機関を受診。症状よりギラン・バレーの初期症状疑い、プレドニゾロン(5)追加。脳血管疾患の鑑別及び診断のため他院を紹介、受診。重篤ではなく、症状軽快、経過観察。 接種6日後 症状消失。回復とした。	ギラン・バレー症候群	重篤	FB080B	回復	○A委員:GBSの診断に必要な、髄液所見、電気生理学的な所見がない。 ○B委員:ワクチン接種から発症まで時間が短く、GBSの診断の妥当性については詳細を検討する必要があるが、ワクチン接種の副反応である可能性は否定できない。 ○C委員:GBSの初期というのも記載からは判断不能。非重篤のワクチン後の副反応と思われる。	GBSとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。
3* 企 No.57	ビケンHA	3歳・男性	なし	接種当日、A医院にて乾燥細胞培養日本脳炎ワクチン1期1回目及びインフルエンザHAワクチン1回目を同時接種。 接種3～4時間後、42℃台の発熱が発現。 接種4～5時間後、四肢強直性の痙攣重積が発現し、B病院を受診。 ジアゼパム0.5mg/kg投与で止痙せず、ミダゾラム0.2mg/kgを静注投与し止痙。ミダゾラム0.2mg/kg/時を持続して静注投与。頭部CT、血液検査で明らかな異常所見なし。 接種7～8時間後頃、再度痙攣が発現し、ミダゾラム0.3mg/kgを静注投与し、止痙。ミダゾラム0.3mg/kg/時を持続して静注投与。 髄液検査異常なし。頭部MRI検査で異常なし。 接種8～9時間後、脳波検査で汎汎性高振幅徐波を認め、脳症と診断。再度痙攣が発現し、自然止痙した。 ホスフェニトインナトリウム水和物22.5mg/kg、D-マンニトール150mLを静注投与。アシクロビル900mg/日、スルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム2250mg/日、ファモチジン10mg/日、ヘパリンナトリウム1600単位/日の静注投与を開始。 メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム450mg/日の静注投与によるステロイドパルス療法を開始。 接種16～17時間後、再痙攣を認めないことを確認し、ミダゾラム持続投与量を漸減。 接種2日後、ミダゾラム18mgを静注投与。ミダゾラムの投与中止後に覚醒し、明らかな神経学的後遺障害は認めなかった。 接種3日後、ステロイドパルス療法を終了。 脳波検査で正常睡眠時脳派であることを確認。 接種4日後、ファモチジン10mg/日、ヘパリンナトリウム1600単位/日の静注投与を終了。 接種7日後、アシクロビル900mg/日及びスルバクタムナトリウム・アンピシリンナトリウム2250mg/日の静注投与を終了。 接種8日後、頭部MRI検査で両側前頭葉と左後頭葉の皮質下白質にDWIで高信号となる病変の出現を認め、痙攣重積型急性脳症と診断。 接種13日後、明らかな後遺障害なく、退院。外来で経過観察中。	脳症	重篤		回復	○A委員:時間的観点から脳炎・脳症の可能性はある。ADEM、GBSは否定できる。 ○B委員:日本脳炎ワクチンあるいはインフルエンザHAワクチン接種後初期発病型の二次性脳症と考えられる。頭部MRI検査で両側前頭葉と左後頭葉の皮質下白質にDWIで高信号となる病変の出現を認め、痙攣重積型急性脳症と診断されており、因果関係はあると思われる。 ○C委員:ワクチン接種後の脳炎または脳症によるけいれん重積状態であると考えられる。	ADEMとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。

4 企 No.90	インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」	63歳・男性	HIV感染 CD4リンパ球減少 節外性辺縁帯B細胞リンパ腫 (MALT型)	当該ワクチン接種。 2日後 発熱持続。 3日後 尿排出障害。 6日後 右下肢筋力低下。 9日後 医療機関再診、尿閉・発熱もあり入院。 髄液一般異常あり。 11日に他院転院。 発熱に対してアセトアミノフェン頓服。 13日より発熱は自然消退。 1週後の髄液一般異常も軽減し理学訓練のみ施行。右下肢筋力低下・歩行障害が軽減、監視下歩行可能にて4週後退院。 50日、膀胱カテーテル抜去。	脊髄炎	重篤	軽快	○A委員:接種後数日で神経症状が出現しているので、ADEM、GBSの疑いが残る。しかし検査所見などの記載がなく、因果関係は判定できない。 ○B委員:ワクチン接種と発症時期より副反応である可能性は否定できない。 ○C委員:ワクチン接種後の脊髄炎の可能性が高い。HIV感染もあり、各種神経合併症をおこす背景もある。	ADEM、GBSの可能性は否定できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。
5 企 No.91	インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」	8歳・男性	なし	第1病日朝、学校に行きたくないと泣きじゃくり、夕方帰宅後にもかんしゃくを起こしてぐずっていた。 第2病日、嫌がって泣きながら登校したが、5時間目に突然泣き始めて発語がなくなった。帰宅後も会話せず、食事もしずに入眠した。失禁あり。 第3病日朝、覚醒せず反応が乏しいため、医療機関へ救急搬送された。体温36.9度、心拍数72回/分、血圧107/68mmHg、呼吸数18回/分、SpO2 96%(室内気)。座位で開眼しているが呼びかけに反応なく、臥位では閉眼する(Glasgow Coma Scale:E4V2M5)。瞳孔4.0mm/4.0mm、対光反射+/+、眼球偏位なし。頭頸部・胸腹部異常なし。項部硬直なし。脳神経所見異常なし。深部腱反射正常、病的反射なし。 入院時検査所見 血液検査ではNa128mEq/Lと低値である以外、異常なかった。髄液検査では、細胞数70/3/μL(多核球:単核球=1:11)と単核球優位に軽度増加していた。髄液糖、蛋白は正常範囲内、オリゴクローナルバンドは陰性、髄液IgG index 0.001未満と上昇はなかった。血清の各種ウイルスIgM抗体はすべて陰性であった。入院時の髄液で抗NMDA型GluR抗体を測定し、GluN2B-NT2、GluN2B-CT、GluN1-NT、GluD2-NT抗体の上昇を認めた。入院日(第3病日)の脳波検査では全般性高振幅徐波に多焦点性の棘波が混在し、頭部MRIでは右側頭葉皮質に沿ってT2WI/T2FLAIR高信号域を、両側尾状核頭部にT2WI高信号域を認めた。右側頭葉皮質はDWI高信号/ADC map低信号であり、また両側前頭葉皮質にも複数の小さなDWI高信号域を認めた。 入院後経過 急性脳炎の診断で、入院当日よりメチルプレドニゾン(mPSL)パルス療法を開始し、エダラボン、D-マンニトールも併用した。またヘルペス脳炎等を考慮してアシクロビル(ACV)と大量γグロブリン療法(IVIg)を開始した。治療開始後、徐々に開眼している時間が長くなり、質問にも頷くようになった。 第8病日に食事を開始した。 第9病日にはゆっくりした会話が可能となり、第12病日には意識ほぼ清明、歩行可能となった。 第13病日には会話・反応も活発となり、髄液細胞数は20/3/μLと減少し、脳波・MRI所見も改善傾向であったため、mPSLパルス療法は2コースで終了し、その後メチルプレドニゾンを漸減した。 ACVは髄液の単純ヘルペスウイルスPCR検査2回陰性を確認し、14日間投与後に終了した。てんかん発作予防として、第13病日よりカルバマゼピン内服を開始し、退院後も継続した。 第26病日の脳血流SPECTでは、病変部に一致して右側頭葉および左前頭葉に血流低下域を認めた。その後も辺縁系症状の再燃やてんかん発作は認めず、学校生活も問題なく、外来定期通院を継続している。	脳炎	重篤	不明	○A委員:ワクチン接種後2週目に症状が出現したとあるが、正確な接種日は不明である。2週目が正しいとするならば、ワクチン関連の脳炎・脳症は完全には否定できない。NMDA型GluR抗体の上昇があるので、免疫介在性の脳炎が否定できない。 ADEM、GBSは否定的。 ○B委員:2週間前にインフルエンザワクチンを接種しており、その他に先行症状を認めていないようで、ワクチン接種が発症に関連している可能性が推測され、因果関係は否定できず、抗NMDA 型GluR 抗体の関与する脳炎と考えられる。 ○C委員:ワクチン接種後の自己免疫性脳炎でよい。ADEMと自己免疫性脳炎は区別する意味はないと思われる。	ADEMとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。

6 企 No.92	インフルエンザHAワクチン * 化血研	6歳・女性	なし	* 特記すべき既往歴なし、発育発達に問題なし。異常行動、不随意運動、意識レベル低下のため小児科に入院した。 症状出現1週間前にインフルエンザワクチン(メーカー名不明)接種を行っていた。 MRI・髄液検査で特記すべき異常所見なく、非ヘルペス性急性辺縁系脳炎(non-herpetic acute limbic encephalitis:NHALE)を疑い、ステロイドパルス3日間、γグロブリン大量療法を行うが症状改善認めず、血漿交換目的でICUに入室した。 脳炎症状により体動が激しく、カテーテル自己抜去の防止および血漿交換中の安静、てんかん治療のため、ミダゾラム、チオペンタール、デクスメトミジン塩酸塩持続静注、抱水クロラール坐薬で鎮静管理を行った。 気道分泌物増加により低酸素血症を認め、ICU入室7日目より6日間の気管挿管、人工呼吸管理を要した。原疾患に対しては持続脳波モニタリング下、集中治療管理を行い、血漿交換を3日間施行後、再度γグロブリン大量療法、シクロスポリン、リツキシマブによる加療を行い、意識レベル、不随意運動とも徐々に改善傾向を認めた。その後は鎮静薬を漸減中止し、てんかんによる無呼吸に対し抗けいれん薬を増量し、入室63日目にICUを退室した。免疫抑制剤、抗けいれん薬の内服を継続し、自閉症様の症状は残るもののそれ以外は病前状態まで回復し、入院218日目に自宅退院した。	自己免疫性脳炎	重篤	軽快	○A委員: ワクチン接種後1週間目の事象でワクチンによる脳炎・脳症の可能性は残る。NMDA型GluR抗体測定値がないので、自己免疫性脳炎と診断するには情報不足。 ○B委員: 症状出現1週間前にインフルエンザワクチン接種を行っており、非ヘルペス性急性辺縁系脳炎と考えられることから、ワクチン接種との因果関係は否定できない。 ○C委員: ワクチン接種後の自己免疫性脳炎またはADEM	ADEMとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。
7 企 No.95	インフルエンザHAワクチン * 化血研	62歳・男性	なし	* A医院にて、1回目インフルエンザHAワクチン接種。 接種後約1週間経過して筋肉の脱力感を感じた。 ギラン・バレー症候群が発現。 B病院を受診した後にC病院に紹介となった。 その後C病院で治療を受け、患者様は回復され元気になった。 その後は回復しており、リハビリも終わりそう。	ギラン・バレー症候群	重篤	回復	○A委員: 臨床所見の記載に乏しく、検査所見もなくGBSかどうか判定できない。 ○B委員: 診断がGBSであればワクチン接種と発症時期より副反応である可能性は否定できない。 ○C委員: ギランバレー症候群の可能性があるので、断定するには情報がたりない。	情報不足で判断できない。
8 医 重 No.19	ビケンHA	36歳・女性	なし	接種当日、A医院にてインフルエンザHAワクチンを左上腕に接種。局所反応の有無は不明。 接種6日後、四肢の痛み、しびれ感、脱力感が発現。 接種7日後、全身の筋痛が発現。 接種12日後、顔面神経麻痺が発現。B医院を受診。メコバラミンを処方され、帰宅。 接種2週間後、大腿部、臀部の痛みが発現。 接種14日後、A医院を受診。両腕の痛み、しびれ感は消失。大腿部、臀部の痛みも回復。右側顔面の違和感を訴えたためメコバラミン3錠/日を処方。 接種17日後、C病院を受診し、閉眼力低下、両側兎眼、四肢筋力低下、下肢腱反射減弱を認めた。 接種22日後、C病院へ入院。瞳孔不同。髄液検査で蛋白細胞解離、電気生理検査で末梢神経伝導速度の遅延を認めた。 接種23日後、ギラン・バレー症候群と診断し、ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン20g/日の静注投与を開始。 接種27日後、ポリエチレングリコール処理人免疫グロブリン20g/日の静注投与を終了。 接種39日後、症状軽快のため退院。 接種81日後、C病院を外来受診。下肢のしびれは軽度残存するが、日常生活は問題なし。終診。	ギラン・バレー症候群	重篤	HA149C 軽快	○A委員: 臨床症状、検査所見などGBSと診断できる。時間的経過からワクチンとの因果関係は否定できない。ADEMは否定的。 ○B委員: ワクチン接種と発症時期より副反応である可能性は否定できない。 ○C委員: ワクチン接種後の典型的ギランバレー症候群	GBSの可能性は否定できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。
9 医 重 No.29	ビケンHA	72歳・男性	椎間板障害 高血圧 高脂血症 良性前立腺肥大症	接種当日、接種前の体温36.4℃。A病院にて、左肩にインフルエンザHAワクチン1回目を接種。 接種6日後、脱力が強く起き上がりが不能。 接種7日後、40℃の発熱が発現。上下肢の脱力、寝返り不能、寝たきり状態となる。 接種8日後、体温37.3℃。歩行可能。起き上がり困難。下肢脱力。 接種9日後、下肢脱力のため歩行やや困難。B病院紹介。歩行可。 接種11日後、B病院受診後、A病院を受診。 接種翌月、脱力のため歩行障害あり。上肢の脱力はほぼ消失。 接種61日後、下肢に低周波治療により経過観察中。	ギラン・バレー症候群	重篤	HA150B 不明	○A委員: ワクチン接種後の時間、症状からGBSが疑われるが、電気生理学的所見などなく、診断は確定できない、発熱があるので、肺炎の可能性もある。ADEMは否定的。 ○B委員: ワクチン接種と発症時期より副反応である可能性は否定できない。 ○C委員: ワクチン接種後のギランバレー、ADEMの可能性あり。	GBSの可能性は否定できない。 ワクチン接種との因果関係は情報不足で判断できない。
10 * 医 重 No.30	インフルエンザHAワクチン 「北里第一三共」	52歳・女性	メニエール病 食物アレルギー	接種当日 当該ワクチンを接種。 接種6日後 左肩周囲の痛みが出現。その日の夜には、上腕の強いうずき感も伴うようになり、痛みのために全不眠となった。 接種7日後 肩、背中、左上腕等に感覚障害がみられ、場所は毎日のように変化した。下肢脱力。 接種13日後 痛み、感覚障害はかなり改善したが、左前腕のみ感覚障害が残存し、遷延している。 現在の感覚障害は、左C5-C6の神経分布に一致している。 接種13日後以降、通院せず、状況不明。	疼痛 感覚障害	重篤	FB080B 後遺症	○A委員: ワクチン接種後5日目の事象で局所反応でもない。痛みの場所は移動し、一定していない。ワクチンとの関連性は考えられない。ADEM、GBSは当然否定的。 ○B委員: 所見からGBSが示唆されるわけではないが、疼痛と感覚障害とすれば、ワクチン接種の副反応である可能性は否定できない。 ○C委員: GBSではない。ワクチン接種後の脊髄炎の可能性は否定できない。	GBSとは判断できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。

11 医 重 No.46	インフルエンザHAワクチン *デンカ生研	76歳・男性	高血圧	接種当日 A病院にてインフルエンザワクチン接種。 インフルエンザワクチン接種数日後より頭痛、全身倦怠感出現。徐々に下肢の運動障害が出現(右下肢>左下肢)。 接種1ヶ月後 意識障害が出現。 接種44日後 B病院へ入院。脳脊髄液では細胞数増加、蛋白増加が見られ、脊髄神経には炎症性プラークが多発していた。ステロイドパルス療法にて症状軽快したが、下肢の神経症状は残存している。 接種96日後 B病院退院。退院時、未回復(歩行障害あり)。同日C病院へ転院。	急性散在性脳脊髄炎	重篤	547-B	未回復	○A委員:発症時期はワクチンとの関連を示唆する。神経症状、画像所見からADEMが疑わしい。 ○B委員:ワクチン接種と発症時期より副反応である可能性は否定できない。 ○C委員:ワクチン接種後の脊髄炎	ADEMの可能性は否定できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。
12 医 重 No.51	ビケンHA	79歳・女性	アルツハイマー型認知症 椎間板突出 糖尿病 高血圧 脂質異常症	接種当日 接種前の体温36.1℃。A医院にてインフルエンザHAワクチンを接種。 接種翌日 左手にしびれ感が発現。 接種2日後 右手にしびれ感が発現。 接種4日後 両肩から手にかけての疼痛を訴え、A医院を受診。痛み止めを注射するが、改善せず。 接種数日後 B医院を受診。 接種18日後 C病院神経内科を紹介受診。両上肢遠位筋の筋力低下あり。反射は保たれていた。神経伝導速度検査は一部のみ行い、感覚神経伝導速度の低下が疑われた。 接種19日後 階段歩行不能。起立困難。 接種20日後 トイレも行けなくなる。 接種22日後 両臀部から両大腿後部のしびれ感、感覚鈍麻が発現し、C病院救急外来を受診。 頭部MRI検査の結果、異常なし。 症状は変わらず、歩行不能、寝返り不能。 接種25日後 精査治療目的でC病院へ入院。意識清明。言語正常。眼球運動正常。眼振なし。顔面の運動・感覚とも正常。握力は両側とも0kg、上腕二頭筋0/0、上腕三頭筋0/0、三角筋0/0、腸腰筋-3/-3、大腿四頭筋0/0-1、Hamstrings-2/-2、前脛骨筋0/0、腓腹筋0/0、指鼻試験正常。回内回外正常。深部腱反射:上腕二頭筋腱0/0、上腕三頭筋腱0/0、膝蓋腱反射-1/-1、アキレス腱反射-1/-1。感覚:両肘から遠位、両臀部から大腿後部、左下腿にしびれ感を認めた。 接種3週間後 四肢筋力低下が憎悪、深部腱反射も減弱。 接種27日後 髄液検査にて細胞数3/3/μL(全てリンパ球)、蛋白96.3mg/dLと蛋白細胞解離を認めた。神経伝導速度ではSNAPが導出されず、CMAPの振幅も低い。 接種28日後-32日後 ギラン・バレー症候群の可能性を考え、免疫グロブリン療法を施行。 接種35日後 筋力の軽度の改善を認めた。リハビリテーションも併せて実施。 接種69日後 症状の改善乏しく、腓腹神経生検を施行。急性軸索変性ニューロパチーの所見。脱髄所見はなし。疾患としては軸索型ギラン・バレー症候群の他、血管炎やビタミンB群欠乏などが考えられる。血管周囲のわずかな細胞浸潤が示唆された。血管閉塞はなく、focalityもない。 接種81日後-接種85日後 再度免疫グロブリン療法を施行し、症状の改善傾向を認めた。 接種89日後 食事摂取不良のため中心静脈栄養を挿入。 接種103日後 髄液検査にて蛋白52.7mg/dLとやや低下。 接種104日後 脳血流SPECTでは典型的なAD patternを呈していた。 接種111日後 ステロイドパルス療法を開始。その後、60mgより漸減。 接種123日後 入院後、抗精神病薬にて過鎮静となりやすく、排尿障害や起立性低血圧もあるためDATスキャンを施行。集積の低下を認め、レビー小体型認知症と考えられた。 臥床状態であり、日常生活全般にわたり介助を要する。	末梢性ニューロパチー	重篤	HA157C	未回復	○A委員:ワクチン接種後2日目の事象で発症が早すぎるが、神経学的所見、検査所見はGBSである。 ○B委員:ワクチン接種と発症時期より副反応である可能性は否定できない。 ○C委員:ワクチン接種後のギランバレー症候群。レビー小体型認知症を単純合併。	GBSの可能性は否定できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。
13 * 医 重 No.63	インフルエンザHAワクチン *化血研	14歳・男性	水痘 ムンプス	原疾患:なし、合併症:なし、医薬品副作用歴:なし 医薬品以外のアレルギー歴:なし、家族歴:なし 水痘、ムンプスの既往歴あり。 接種当日 近医にて、インフルエンザHAワクチン(ロット番号393A)接種。 接種9日後* 強い腰痛が出現。 接種14日後 下半身の知覚低下を自覚。走りにくくなった。 接種17日後 知覚低下が胸の高さまで上行。排尿困難感出現。歩行しにくくなる。 接種19日後 強い歩きとなり、当院整形外科受診。 胸椎MRIにて第6頸椎～第9胸椎レベルの脊髄に炎症が疑われ、神経内科に紹介入院となった。 急性脊髄炎と診断し、同日よりメチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム1000mg/日のパルス療法を開始。5日間投与したが、終了時には広基性ながら独歩可能となった。 抗アкупリン4抗体陰性 接種20日後 オリゴクローナルバンド:陰性 接種27日後 接種27日後～31日後、メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム1000mg×5日のパルス療法2クール目施行。 温痛覚が上方より次第に改善。尿意が分るようになり膀胱カテーテル抜去。 接種32日後 プレドニゾロン50mg×3日、40mg×3日、30mgと内服を漸減投与した。 軽度肝機能障害、血糖上昇が一過性に見られた。 AST:87、ALT:198、LDH:220、血糖値:127 接種38日後 退院。 両下肢の知覚障害及び軽度の痺痛、感覚性運動失調は残存するものの日常生活には支障ない状態。 接種47日後 外来受診1回目。 知覚障害は両下腿以下となり筋力も5と改善していたが、ステロイド副作用が悪化していた。 また両下肢の発汗低下によると思われる乾燥性皮膚出現。 接種50日後 プレドニゾロン終了。 接種67日後 外来受診2回目。 接種65日後の胸椎MRIにて病巣は縮小していたが残存。 両下腿以下の知覚障害は残存していたが、走る事が可能となった。右下肢が付きやすいとの訴えあり。 急性脊髄炎は未回復。	脊髄炎	重篤	393A	未回復	○A委員:ワクチン接種後約10日目の事象で、下肢麻痺、知覚障害などGBSの所見に一致する。またMRIも診断を支持している。 ○B委員:インフルエンザワクチン接種後9日で症状が出現しており、時間的にも関連が疑われる。急性脊髄炎の原因はいくつかあるが、ワクチン接種後のADEMと考えてもおかしくない。 ○C委員:脊髄炎中心のADEMでよい。	ADEM、GBSの可能性は否定できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。

14 *	医 重 No.65	ビケンHA	7歳・男性	食物アレルギー	接種当日、接種前の体温36.3℃。A医院にてインフルエンザHAワクチン1回目を接種。 接種3日後未明頃、発熱が発現。 朝、咳、鼻汁を認め、傾眠であった。 接種3日後夕方、B医院を受診。意識低下、全身脱力をきたし、C病院へ緊急搬送。入院。 頭部MRI検査の結果、T2強調像、FLAIRで中脳被蓋左側、左前頭部皮質下髄質、頸髄C2-4レベルに異常信号を認めた。 ステロイドパルス3日間施行。その後、内服療法を継続。 入院2日後から意識清明、連日異常なし。 接種17日後、退院。	急性散在性脳脊髄炎	重篤	HA154D	軽快	○A委員:臨床症状も、画像所見もADEMIに一致する。 ○B委員:インフルエンザHAワクチン接種後3日でADEMの発症としてはやや早い可能性もあるが、現在の情報から因果関係は否定できない。 ○C委員:典型的なワクチン接種後のADEMといえる。	ADEMの可能性は否定できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。
15	医 重 No.68	インフルエンザHAワクチン * デンカ生研	66歳・男性	糖尿病 高血圧	接種当日 A病院にてインフルエンザワクチン接種。 当日夕方から腹部に全周性の痺れ感出現。パンツの腰紐の触れるのがわからなかった。異常感ほ上下方向に拡大。 接種6日後 B病院受診し便秘薬処方。 接種7日後 その頃から歩行困難、歯磨き、箸の扱い、携帯電話使用も困難となり、排便も困難となる。 接種9日後 C病院へ紹介。骨髓検査で細胞数16、蛋白量81、神経学的所見で深部反射の明らかな低下を認め、症状の進行の速さからギラン・バレー症候群を疑った。 接種14日後 症状の進行認めたため、ヒト免疫グロブリン大量療法(400mg/kg)5日間を実施。 接種19日後、接種20日後 手指巧緻機能、上肢の測定障害は改善を認めた。両上肢の異常感覚、上下肢麻痺持続、運動失調が著明。その後接種後2ヶ月後にかけてしびれ感、手の巧緻機能とも明らかな改善あり。(ピーク時の50%程度) MRI(T2)で中位から下位胸髄にリング状あるいは、灰白質のあるレベルに不規則、対称性の高信号を認め、MSや脊髄梗塞は否定的と考えられ、脊髄炎が疑われた。他、傍腫瘍症候群、ANCA関連疾患、NMO、MS、悪性リンパ腫、膠原病、橋本病などとの鑑別のため、検体検査を実施。誘発電位検査(SFP、BAEP)では中極での電導障害を示唆する結果であった。 後遺症症状:歩行はほぼ独歩自立、箸の操作もややぎこちないが出来る。感覚障害、しびれ感は中等度残存。下肢筋力低下は残存。独歩可能だが易疲労感強い。運動失調軽度残存。	脊髄炎	重篤	546-A	後遺症	○A委員:接種後約1週後に現れた神経症状。髄液でのタンパク・細胞解離、電気生理での神経伝導速度遅延などGBSに一致する。 ○B委員:ワクチン接種と発症時期より副反応である可能性は否定できない。 ○C委員:当初ギランバレーが疑われていたが、脊髄炎と診断された症例	ADEM、GBSの可能性は否定できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。
16	医 重 No.78	インフルエンザHAワクチン * デンカ生研	87歳・女性	慢性関節リウマチ	p.57参照	倦怠感 気分不良 食欲不振 歩行困難 発熱 意識レベルの低下 急性散在性脳脊髄炎	重篤	396B	死亡	p.57参照	ADEMの可能性は否定できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。
17	医 重 No.84	インフルエンザHAワクチン * 化血研	85歳・男性	浮動性めまい	原疾患:めまい(接種662日前発症)、合併症:なし、既往歴:なし 医薬品副作用歴:なし、医薬品以外のアレルギー歴:なし、家族歴:なし 喫煙:吸わない、飲酒:数回/月 接種当日 予診票での留意点:なし、接種前体温:36.2℃ A医院にて、1回目インフルエンザHAワクチン(ロット番号393A)左腕接種。 接種5日後* 両上肢の脱力出現。 ギラン・バレー症候群が発現。 接種7日後 四肢の脱力進行し、当院入院。 他に症状なし。 接種11日後 髄液細胞数:6/3、髄液蛋白定量:57mg/dL 接種25日後 【筋電図検査所見】 右上下肢でNCSS施行。CMAPの著明な低下、MCVの軽度低下を認めた。SCVは正常。 ギラン・バレー症候群の診断にて、IVIg(乾燥スルホ化人免疫グロブリン-I 5000mg 4瓶 5日間)接種25日後～29日後。 メチルプレドニゾンコハク酸エステルナトリウム1000mg 1日1回 接種25日後、26日後、27日後。 接種41日後 四肢麻痺残存のため、リハビリ目的に転院した。 ギラン・バレー症候群の転帰は後遺症あり(症状:四肢麻痺)。	ギラン・バレー症候群	重篤	393A	後遺症	○A委員:臨床症状、検査所見ともGBSと診断できる。時間的にもワクチンが関与している可能性が高い。 ○B委員:ワクチン接種と発症時期より副反応である可能性は否定できない。 ○C委員:ワクチン接種後のギランバレー症候群でよい。	GBSの可能性は否定できない。 ワクチン接種との因果関係は否定できない。

ワクチン接種後の後遺症症例

2015年10月1日～2016年4月30日入手分

* 平成28年4月12日の調査会資料に掲載している症例

下線部：平成28年4月12日の調査会時から、新たに情報が追加された箇所

No.	ワクチン名	年齢・性別	基礎疾患等	経過	症状名	重篤/ 非重篤	ロット	転帰	専門家の意見
1 医 重 No.8	インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」	84歳・女性	喘息 高血圧 脂質異常症	接種当日 当該ワクチン接種。 接種7日後 腹痛、下痢。 接種17日後 皮疹。 接種19日後 ゆで卵摂取後、四肢に紫斑。ピタバスタチンカルシウム水和物、オルメサルタンメドキシミル中止。 接種2週間後～ 四肢のしびれ。下肢筋力低下。左上下肢の脱力。 接種30日後頃～ 歩行困難出現。 接種1ヶ月後～ 左上下肢の麻痺。 接種42日後 他医療機関紹介受診。 MRIで両側多発性の急性期脳梗塞認め入院。 入院後両下肢遠位の筋力低下が進行、垂れ足の状態。 接種54日後 気管支喘息既往、好酸球増多、多発性単神経炎、炎症高値などから、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症(EGPA)と診断。リウマチ科転科。 接種56日後～60日後 IVIG17.5g(400mg/kg) 接種84日後～88日後 IVIG17.5g(400mg/kg) 接種56日後～84日後 PSL45mg(1mg/kg)その後PSL11mgまで漸減、左手屈曲障害と四肢しびれは軽度改善。両側腓骨神経麻痺は改善せず。 接種4ヶ月後時点、医療機関による入院加療中にて、回復傾向にはある状況。 接種138日後 理学療法継続のため転院。後遺症として両側腓骨神経麻痺を認める。 接種142日後時点、すでに退院している。	アレルギー性肉芽腫性血管炎 (後遺症：両側腓骨神経麻痺)	重篤	FB080A	後遺症	○A委員：アレルギー性肉芽腫性血管炎の発症要因として何らかの抗原に対するアレルギー反応が関わっていることは以前から推定されていた。その抗原の候補としてスーパー抗原(B型肝炎ワクチンなど)、アスペルギルスなどが報告されている。本症例は、気管支喘息という免疫異常が明らかな患者において、インフルエンザワクチン接種後1週間で初期症状である下痢、約2週間で皮疹、紫斑、末梢神経障害、急性脳梗塞などが顕性化していることよりワクチン接種に関連する有害事象が否定できない。他のインフルエンザワクチンに関して本症例と同様に接種後1週間でアレルギー性肉芽腫性血管炎を発症したケースが報告されている。(Acta Neurol Taiwan. 2014 Sep;23(3):95-101.) ○B委員：下肢筋力低下で発症しているので、GBSがうたがわれるが、多くの点でGBSは否定的である。脳梗塞のMRI所見があること、左片麻痺であること、好酸球性多発血管炎性肉芽腫症を合併していること、などである。ワクチンが多彩な症状の引き金になった可能性はきわめて低い。ADEMIは臨床症状、画像所見から否定できる。 ○C委員：ワクチン接種後副反応出現まで時間を有しており、医薬品との因果関係は肯定も否定もできない。
2* 医 重 No.30	インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」	52歳・女性	<u>メニエール病</u> <u>食物アレルギー</u>	接種当日 当該ワクチンを接種。 接種6日後 左肩周囲の痛みが出現。その日の夜には、上腕の強いうずき感も伴うようになり、痛みのために全不眠となった。 接種7日後 肩、背中、左上腕等に感覚障害がみられ、場所は毎日のように変化した。 <u>接種13日後 痛み、感覚障害はかなり改善したが、左前腕のみ感覚障害が残存し、遷延している。</u> <u>現在の感覚障害は、左)C5-C6の神経分布に一致している。</u> 接種13日後以降、通院せず、状況不明。	<u>疼痛</u> <u>感覚障害</u> (後遺症：左前腕の感覚障害)	重篤	FB080B	後遺症	<u>○A委員：ワクチン接種後5日目の事象で局所反応でもない。痛みの場所は移動し、一定していない。ワクチンとの関連性は考えられない。ADEM、GBSは当然否定的。</u> <u>○B委員：所見からGBSが示唆されるわけではないが、疼痛と感覚障害とすれば、ワクチン接種の副反応である可能性は否定できない。</u> <u>○C委員：GBSではない。ワクチン接種後の脊髄炎の可能性は否定できない。</u>

3 医 重 No.47	インフルエンザHAワクチン「北里第一三共」	73歳・男性	高血圧 脳梗塞	接種当日 当該ワクチン接種。 接種7日後 両下肢の浮腫出現。 接種9日後 顔面にも汲んだため、脳外科受診。腎臓内科へ紹介し精査開始された。腎機能障害、尿タンパク4+。ネフローゼ症候群と診断。外来で追跡予定であった。 接種10日後 頭痛・嘔吐が出現し、医療機関へ救急搬送。頭部CT検査中に、昏睡に陥り、呼吸停止となった。GCS E1VT(1)M1 CT:後頭蓋窩中心に高度のクモ膜下出血あり。 接種11日後 GCS E1VT(1)M4まで回復。CTアンギオで左椎骨動脈解離が原因と判明。 接種15日後 血管内治療でコイル塞栓術を実施。 接種16日後 持続脊髄ドレナージ術施行。 接種34日後 CTで両側小脳半球。脳梁膨大部、両側後頭葉に脳梗塞を確認。クモ膜下出血に続発した脳血管れん縮が原因と考えた。 接種48日後 気管切開術を施行。 以降も全身管理を中心に加療。 自然開眼は認めるものの、意志疎通不可、四肢麻痺。常に自発呼吸では高炭酸血症に陥るため、機械的補助換気が必要。経鼻管栄養中。	ネフローゼ症候群 くも膜下出血 (後遺症:意識障害、四肢麻痺)	重篤	FB082A	回復 後遺症	○A委員:ネフローゼ症候群および腎機能障害はワクチン接種後1週間で発症しており、ワクチン接種により引き起こされた可能性が高い。一方、椎骨動脈解離(クモ膜下出血)自体がワクチン接種によって誘発されることは通常は考えにくい。しかし、本事例の発症のタイミング、そして間接的影響の可能性なども総合的に勘案すると、その因果関係は否定できない。 ○B委員:椎骨動脈解離が以前からあり、腎機能障害を来し、血圧の変化を誘発して破裂・くも膜下出血を来したとも推察されるが、ワクチン接種と椎骨動脈破裂・クモ膜下出血は一般的には関係ない。 ○C委員:くも膜下出血の原因が椎骨動脈の解離であるとされている。椎骨動脈解離の誘因は、病歴からは喫煙、高血圧や動脈硬化がある。ワクチンを使用して、短期間でこのようなことを生じさせることは通常考えにくい。
4 医 重 No.68	インフルエンザHAワクチン*デンカ生研	66歳・男性	糖尿病 高血圧	接種当日 A病院にてインフルエンザワクチン接種。 当日夕方から腹部に全周性の痺れ感出現。パンツの腰紐の触れるのがわからなかった。異常感は上下方向に拡大。 接種6日後 B病院受診し便秘薬処方。 接種7日後 その頃から歩行困難、歯磨き、箸の扱い、携帯電話使用も困難となり、排便も困難となる。 接種9日後 C病院へ紹介。骨髄検査で細胞数16、蛋白量81、神経学的所見で深部反射の明らかな低下を認め、症状の進行の速さからギラン・バレー症候群を疑った。 接種14日後 症状の進行認めたため、ヒト免疫グロブリン大量療法(400mg/kg)5日間を実施。 接種19日後、接種20日後 手指巧緻機能、上肢の測定障害は改善を認めた。両上肢の異常感覚、上下肢麻痺持続、運動失調が著明。その後接種後2ヶ月後にかけてしびれ感、手の巧緻機能とも明らかな改善あり。(ピーク時の50%程度)。 MRI(T2)で中位から下位胸髄にリング状あるいは、灰白質のあるレベルに不規則、対称性の高信号を認め、MSや脊髄梗塞は否定的と考えられ、脊髄炎が疑われた。他、傍腫瘍症候群、ANCA関連疾患、NMO、MS、悪性リンパ腫、膠原病、橋本病などとの鑑別のため、検体検査を実施。誘発電位検査(SFP、BAEP)では中枢での電導障害を示唆する結果であった。 後遺症症状:歩行はほぼ独歩自立、箸の操作もややこちないが出来る。感覚障害、しびれ感は中等度残存。下肢筋力低下は残存。独歩可能だが易疲労感強い。運動失調軽度残存。	脊髄炎 (後遺症:感覚障害、しびれ感、下肢筋力低下、軽度運動失調)	重篤	546-A	後遺症	○A委員:接種後約1週後に現れた神経症状。髄液でのタンパク・細胞解離、電気生理での神経伝導速度遅延などGBSに一致する。 ○B委員:ワクチン接種と発症時期より副反応である可能性は否定できない。 ○C委員:当初ギランバレーが疑われていたが、脊髄炎と診断された症例
5 医 重 No.77	インフルエンザHAワクチン*デンカ生研	76歳・女性	高血圧 高脂血症	接種当日 病院受診し、インフルエンザワクチン接種。 帰宅後、左上肢の接種部位の発赤・腫脹が出現。 接種2日後 左上肢全体から頸部に疼痛が出現。市販の痛み止めで約1ヵ月してから痛みが軽減。 接種57日後 接種部位の圧痛のため、左横臥位にできず、左上肢挙上制限あり。 接種87日後 左横臥位で接種部位のしびれあり。 後遺症:左上肢接種部位のしびれ	注射部位腫脹 疼痛 筋骨格障害 (後遺症:左上肢接種部位のしびれ)	重篤	551-A	後遺症 後遺症 後遺症	○A委員:疼痛のみで、ほかに異常なし。ADEM、GBSは否定的。これだけの情報では評価できない。 ○B委員:免疫神経学的異常とはいいいにくい。接種部位の発赤、腫脹、疼痛、しびれの因果関係は否定できない。 ○C委員:局所症状が接種直後、接種部に生じていることよりワクチン接種との因果関係は否定できない。

6 医 重 No.84	インフルエン ザHAワクチ ン* 化血研	85歳・男性	浮動性めまい	原疾患:めまい(接種662日前発症)、合併症:なし、既往歴:なし 医薬品副作用歴:なし、医薬品以外のアレルギー歴:なし、家族歴:なし 喫煙:吸わない、飲酒:数回/月 接種当日 予診票での留意点:なし、接種前体温:36.2℃ A医院にて、1回目インフルエンザHAワクチン(ロット番号393A)左腕接種。 接種5日後* 両上肢の脱力出現。 ギラン・バレー症候群が発現。 接種7日後 四肢の脱力進行し、当院入院。 他に症状なし。 接種11日後 髄液細胞数:6/3、髄液蛋白定量:57mg/dL 接種25日後 【筋電図検査所見】 右上下肢でNCS施行。CMAPの著明な低下、MCVの軽度低下を認めた。SCVは正常。 ギラン・バレー症候群の診断にて、IVIg(乾燥スルホ化人免疫グロブリン-I 5000mg 4瓶 5日間)接種25日後～29日後。 メチルプレドニゾロンコハク酸エステルナトリウム1000mg 1日1回 接種25日後、26日後、27日後。 接種41日後 四肢麻痺残存のため、リハビリ目的に転院した。 ギラン・バレー症候群の転帰は後遺症あり(症状:四肢麻痺)。	ギラン・バレー症候群 (後遺症:四肢麻痺)	重篤	393A	後遺症	○A委員:臨床症状、検査所見ともGBSと診断できる。時間的にもワクチンが関与している可能性が高い ○B委員:ワクチン接種と発症時期より副反応である可能性は否定できない。 ○C委員:ワクチン接種後のギランバレー症候群でよい。
----------------------	----------------------------	--------	--------	---	--------------------------	----	------	-----	--

2015-2016 シーズンインフルエンザHA ワクチン死亡報告一覧

平成 28 年 6 月 16 日現在

症例一覧表

No.	年齢・性別	基礎疾患（持病）など	接種日・経過	報告医評価	製造販売業者 ロット	調査の結果	死亡症例として 報告を受けた日付 調査会評価
① 医 重 No. 48	3 歳・男		平成 27 年 11 月 12 日接種 接種当日の夜、発熱し、翌日の早 朝、体が冷たい状態で発見され た。同日、搬送先にて死亡確認。	評価不能	デンカ生研 537-B	情報不足のため、ワク チン接種との因果関係 は判断できない。	平成 27 年 11 月 16 日 平成 28 年 4 月 12 日調査会 （報告） 平成 28 年 7 月 8 日調査会
② 医 重 No. 34	86 歳・男	高血圧、変形性膝関節症、 前立腺肥大	平成 27 年 11 月 6 日接種 接種 15 分後、しゃがみこみ、突 然意識消失。接種 20 分後に心肺 停止、救急搬送された。接種約 1 時間 40 分後に搬送先にて死亡確 認。死因は不明とされた。剖検は 実施されなかった。	評価不能	化血研 387A	アナフィラキシーショ ックの可能性は完全に 否定できないが、死因 は不明であり、ワクチ ン接種との因果関係は 不明である。	平成 27 年 11 月 16 日 平成 28 年 4 月 12 日調査会 （報告） 平成 28 年 7 月 8 日調査会
③ 企 No. 52	91 歳・女	胆管癌、糖尿病、高血圧、 喘息、心房細動、認知症	平成 27 年 11 月 13 日接種 接種 4 日後、食欲低下、軽い喘鳴 が認められた。接種 5 日後、意識 レベルが低下して搬送され、下血 も認められた。接種 6 日後、死亡 確認。死因は腫瘍からの出血疑い とされた。剖検は実施されなかつ た。	評価不能	阪大微研 HA153E	胆管癌が進行し、腫瘍 からの出血により貧血 及び全身状態が悪化し て死亡したと考えられ た。ワクチン接種との 因果関係は否定的であ る。	平成 27 年 12 月 3 日 平成 28 年 4 月 12 日調査会 （報告） 平成 28 年 7 月 8 日調査会

4 企 No. 63	86 歳・男	心肥大、喘息、脳梗塞、 高脂血症、変形性関節症	平成 27 年 11 月 18 日接種 接種 2 日後、死亡。	入手不可	阪大微研 HK29D	情報不足のため、ワク チン接種との因果関係 は判断できない。	平成 27 年 12 月 9 日 平成 28 年 4 月 12 日調査会
5 企 No. 73	83 歳・女	肺気腫、高血圧、譫妄、 不眠症	平成 27 年接種（日付不明） 接種後、容態が悪化。同年 11 月 20 日、死亡。	関連あり	不明	情報不足のため、ワク チン接種との因果関係 は判断できない。	平成 28 年 1 月 7 日 平成 28 年 4 月 12 日調査会
⑥ 医 重 No. 78	87 歳・女	慢性関節リウマチ	平成 27 年 11 月 30 日接種 接種 7 日後、倦怠感、気分不良、 食欲不振を訴え、その後、歩行困 難となった。接種 9 日後、発熱及 び意識レベルの低下が認められ、 救急搬送。接種 10 日後、右季肋 部痛が認められ、エコー検査及び 内視鏡的逆行性胆道膵管造影の 結果、化膿性胆管炎疑い及び急性 胆嚢炎と診断された。接種 11 日 後、MRI 検査及び髄液検査等の結 果から、急性散在性脳脊髄炎 （ADEM）と診断された。接種 13 日後、死亡確認。死因は ADEM と された。剖検は実施されなかつ た。	関連あり	化血研 396B	化膿性胆管炎疑い及び 急性胆嚢炎は改善傾向 となっており、直接死 因とは考えられない。 臨床経過及び検査所見 から、ADEM の可能性は 否定できず、ワクチン 接種と死亡との因果関 係も否定できない。	平成 28 年 3 月 17 日 平成 28 年 4 月 12 日調査会 （報告） 平成 28 年 7 月 8 日調査会

⑦ 医 重 No. 61	68 歳・男	脳梗塞、急性心筋梗塞、 蘇生後脳症、難治性仙骨 部褥瘡、低アルブミン血 症、胸水貯留	平成 27 年 11 月 19 日接種 接種 30 分後、顔面浮腫が出現し、 血圧低下が認められた。血圧低下 による多臓器不全となり、その 後、播種性血管内凝固症候群、敗 血症を発症。接種 27 日後、死亡 確認。	関連あり	デンカ 533-B	ワクチン接種によるア レルギー反応や基礎疾 患の影響が疑われる が、情報不足のため、 ワクチン接種との因果 関係は判断できない。	平成 28 年 3 月 25 日 平成 28 年 4 月 12 日調査会 (報告) 平成 28 年 7 月 8 日調査会
--------------------------	--------	---	---	------	--------------	---	---

※○の付いた症例：前回までの調査会で未評価の症例

委員限り 公表不可

委員限り 公表不可

(症例 インフルNo.2)

1. 報告内容

(1) 事例

86歳の男性。

基礎疾患として、高血圧、変形性膝関節症、前立腺肥大を有していた。A施設のデイケアに週2回通っていた。

平成27年11月6日、デイケアを利用中、ワクチン接種のためBクリニックを受診。午後1時20分、インフルエンザHAワクチン1回目を単独で皮下接種。接種前体温36.5℃、血圧118/59mmHg。問診及び診察にて特に異常は認められなかった。接種後、若干の出血がありテープ貼付。接種後10分程度状態を観察されたが異常はなく、介助者とともにデイケアに戻るため移動。

午後1時35分、デイケアへの移動途中、しゃがみこみ、突然意識消失。呼吸困難や喘鳴等の症状は認められなかった。看護師及び介助者によりストレッチャーにてBクリニックの処置室に搬送された。午後1時40分、心肺停止したため、直ちに心臓マッサージ、気管内挿管、人工呼吸、酸素投与が行われ、AED装着にて蘇生が試みられたが、心拍再開しなかった。心臓マッサージが継続され、アドレナリン静注されるも反応なし。皮膚症状、消化器症状は認められなかった。午後1時45分、救急要請され、午後1時50分、救急車到着。医師、看護師同乗のうえ、C病院へ搬送された。午後2時8分、C病院到着時には心肺停止状態であった。咽頭浮腫は認められなかった。心肺蘇生処置が行われた。処置薬として、乳酸リンゲルによる静脈路確保に加え、アドレナリン、アトロピン塩酸塩、炭酸水素ナトリウム、ドパミン塩酸塩が投与された。心肺蘇生処置にて午後2時40分、心肺再開。採血、胸部レントゲン施行中に再度、心肺停止。午後3時3分、死亡確認。死因は不明とされた。死亡時画像診断及び剖検は実施されなかった。

(2) 接種されたワクチンについて

インフルエンザHAワクチン（化血研 387A）

(3) 接種時までの治療等の状況

アレルギー歴、1ヶ月以内のワクチン接種、過去の副作用歴いずれもなし。昨シーズンにBクリニックにてインフルエンザHAワクチンを接種されたが、副反応は認められなかった。要介護3であり、移動は歩行器、日常生活には一部介助が必要であったが、意思決定は可能、行動障害もなし。

高血圧にて近医よりアムロジピンベシル酸塩5mg/日を処方されていたが、血圧は日により変動がみられていた。脳心事故の既往はなかった。

平成27年11月2日、血圧159/72mmHg。

2. ワクチン接種との因果関係についての報告医等の意見

接種医：当初、アナフィラキシーショックの可能性も否定できないと考えた。死因は脳心事故を疑うが不明。ワクチン接種との因果関係は、時間的経過を踏まえると全くないわけではないが、乏しいと考える。

搬送先担当医：死因は不明。ワクチン接種との因果関係は考えにくい。

3. 専門家の意見

○A 医師：

ワクチン接種後に病態の変化を認めているが、高齢で基礎疾患を有しており、得られた医療情報からはワクチン接種との因果関係は明らかではない。

○B 医師：

因果関係は否定も肯定もできないものとする。死因としてアナフィラキシーは鑑別としてはあがるが、情報不足で判断は困難である。

○C 医師：

ワクチンによるアナフィラキシーショックは完全には否定できない。しかし突然の心肺停止なので、脳梗塞、心筋梗塞などの疾患も否定できない。情報不足でいずれかは判断できない。

委員限り 公表不可

委員限り 公表不可

委員限り 公表不可

委員限り 公表不可

委員限り 公表不可

委員限り 公表不可

委員限り 公表不可

委員限り 公表不可

委員限り 公表不可

委員限り 公表不可

委員限り 公表不可

委員限り 公表不可

委員限り 公表不可

委員限り 公表不可